

■地球温暖化防止

	事業者コード	環境寄附対象団体名称
1	K001	エコ・モビリティ サッポロ
2	K002	北海道環境財団
3	K003	北海道グリーンファンド
4	K004	環境あきた県民フォーラム(秋田県地球温暖化防止活動推進センター)
5	K005	環境ネットやまがた
6	K006	環境ネットワーク埼玉
7	K007	GLOBE Japan(地球環境国際議員連盟)
8	K008	Tuvalu Overview
9	K009	足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ
10	K010	環境エネルギー政策研究所
11	K011	環境イノベーション情報機構
12	K012	自然エネルギー推進市民フォーラム(REPP)
13	K013	ジュレー・ラダック
14	K014	そらべあ基金
15	K015	バイシクル エコロジー ジャパン
16	K016	アクト川崎
17	K017	とやま環境財団
18	K018	地域づくり工房
19	K019	南信州おひさま進歩
20	K020	いびがわみずみずエコステーション
21	K021	気候ネットワーク
22	K022	きょうとグリーンファンド
23	K023	大阪府民環境会議
24	K024	南太平洋協会
25	K025	摂津市人材サポート・ビューロー
26	K026	ひらかた環境ネットワーク会議
27	K027	グリーンアライアンス 海外支援事業部 NGO. 緑の騎士団
28	K028	わかやま環境ネットワーク
29	K029	おかやまエネルギーの未来を考える会
30	K030	おかやま環境ネットワーク
31	K031	INE OASA (い～ね！おおあさ)
32	K032	再生可能エネルギー推進市民フォーラム西日本
33	K033	九州バイオマスフォーラム
34	K034	おきなわアジェンダ21県民会議
35	K182	矢祭町商工会青年部
36	K183	地球温暖化防止ぐんま県民会議
37	K184	川口市民環境会議
38	K185	「環境・持続社会」研究センター(JACSES)
39	K186	エコ・リーグ
40	K187	アース・エコ
41	K188	CO2バンク推進機構
42	K189	五環生活
43	K190	あだーじょ
44	K191	地球環境市民会議(CASA)
45	K192	とよなか市民環境会議アジェンダ21
46	K193	宇部市地球温暖化対策ネットワーク
47	K194	温暖化防止ネット
48	K195	環境ネットワークくまもと

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K001	団体名	特定非営利活動法人エコ・モビリティ サッポロ
連絡先 (電話／メール)	011-788-5480	活動ホームページ (URL)	http://velotaxi-sapporo.jp
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	人と地球にやさしい自転車タクシー(ペロタクシー)の運行事業		
寄附額合計	¥909,493		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥97,377	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では2008年より札幌市中心部で環境に配慮した近距離移動手段として自転車タクシーを運行しています。4年目の運行で延べ36,000人の市民、観光客に利用していただきました。</p> <p>(使途)今回の寄附金は車体の運転席が破れ見た目も悪く、運転にも支障が出てきた為作製費用57,750円を充当させて頂きました。残金39,627円は翌年に繰越し活用いたします。</p> <p>(効果)ドライバーが漕ぐことで環境に配慮した移動手段を提供出来ている為、シートの交換は重要でした。今回、寄附をいただいた事でより安全で快適な運行を実現する事が出来ました。今後も環境に配慮した移動手段を多くの方に提供する活動を行っていきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥159,532	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は2008年より札幌市中心部で環境に配慮した近距離移動手段として自転車タクシーを運行しています。5年目の運行でも市民、観光客の方、約7,000名に乗車していただきました。今年度は高齢者の認知症予防のための運行も視野にいれ、対応やそれに関わる設備の強化をしてきました。</p> <p>(使途)高齢者の方が利用しやすいように踏み台の増設12,802円、気温の変化に対応できるようブランケット2,520円の購入、その他備品の購入(案内表示作成)4,956円等 合計20,278円に充当いたしました。残金の178,881円(前回39,627円+今回139,254円)は次年度のホスピタリティ強化の為の備品購入に充当させていただきます。</p> <p>(効果)高齢者利用の需要に伴い段差の解消やブランケット、見やすい表示作成などホスピタリティを強化することが出来ました。寄附いただき誠にありがとうございます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥320,925	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では2008年より札幌市中心部で環境に配慮した近距離移動手段として自転車タクシーを運行しています。札幌での運行は6年目となり日常的に利用される市民のリピーターも増加、延べ50,000人の方に利用していただき、活動が定着してきました。</p> <p>(使途)今回の寄附金320,925円+前回繰越し178,881円の合計499,806円をバッテリーの購入215,092円 チェーン、ワイヤーその他修理に関わる部品の購入修理費用135,736円 その他備品購入に166,044円 合計516,872円に充当させて頂きました。</p> <p>(効果)バッテリーの容量が少なくなり電動アシストに影響が出てきたため今回の寄附を活用し5台分を新しくすることが出来ました。その他運営備品も購入することができ整備点検を定期的に行うことが出来、継続した移動を提供することができました。皆さまからのご寄附に心より感謝しております。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥195,777	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では2008年より札幌中心部で環境に配慮した自転車のタクシーを活用し近距離移動手段の提供をしています。2015年には少子高齢化が進んでいる「真駒内駅前地区まちづくり指針」に基づき閉校となった真駒内緑小学校の「子ども体験活動の場」の運営協力団体となり、高齢者の外出や地域交流拠点への移動の足として運行する予定です。</p> <p>(使途)中古車両の購入に使用いたしました。今回いただいたご寄附195,777円に当会の資金を補てんし運行が終了した平泉より譲り受けることが出来ました。</p> <p>(効果)新車購入費用や提携料、経年劣化による部品交換が負担となっていました、タイミングよく他地域の車体を購入することが出来、急な故障にも対応が可能となりました。今後は中心部だけではなく真駒内エリアでの連携によりますます地域に貢献した運行が可能となりました。ご寄附いただいた皆様に心より感謝しております。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥135,882		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では市民が車に頼らない移動の選択肢として自転車タクシーを提供しています。近距離移動に車を利用せざるを得ない層への自転車タクシーの提供がCO2を削減し地球温暖化防止につながると考え、中心部だけではなく居住エリアでの運行も試験的に行っていきます。</p> <p>(使途)居住エリアでの運行は平均走行距離が長く、より一層のメンテナンスが重要となりました。今回、ご寄附いただいた135,882円を中古車両部品購入312,000円に補填し他地域の状態のいい中古車両を部品供給用として部品を輸入することなく修理することが可能となりました。</p> <p>(効果)少子高齢化が進む中、高齢者の移動については要望が寄せられているため継続した運行を目指しています。そのためには車体の安全性や改良も必須で今回はその足掛かりを作ることが出来ました。今後も環境だけではなく広い視野での運行を目指して活動を続けていきます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K002	団体名	財団法人北海道環境財団
連絡先 (電話／メール)	011-218-7811	活動ホームページ (URL)	http://www.heco-spc.or.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	北海道環境サポートセンターの運営		
寄附額合計	¥1,636,760		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥118,721	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 地球温暖化防止啓発活動として、寄附金118,721円を経費の一部に充当し、以下の取組みを行いました。</p> <p>(使用)</p> <p>1. 「しあわせをよぶ 冬エコおみくじかるた」の配布経費(かるた代、送料)に約1万円(道内の児童館等50施設に、50セット提供) 2. 道庁、札幌、旭川で実施したキャンドルナイトの実施経費(キャンドル代等)の一部として、約11万円(温暖化防止などの啓発等を目的に各主体と連携して実施)</p> <p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かるた」: 地球温暖化の原因となるCO2の排出抑制を、我慢や節約だけでなく、楽しく温暖化防止に取り組める工夫や知恵を学んでもらいました。 ・キャンドルナイト: 省エネを考えるきっかけになり、子どもが喜んで取り組みました。 ・地球環境、震災後の復興、日本のエネルギー問題などに対して改めて思いをはせる機会になりました(参加者アンケート調査より抜粋)。 	
	平成24年度		
	寄附額	¥209,830	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>温暖化防止、環境学習、環境保全活動などに取り組む産学官民を支援するために、情報、資料、ノウハウ等を提供し、各種相談に対応する北海道環境サポートセンター運営経費の一部として、寄付金全額209,830円を活用しました。</p> <p>(主な実績・効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速印刷機(リソグラフ)貸出: 50件 ・機材貸出(プロジェクター): 5件 ・DVD・映像貸出: 23件 ・環境情報の提供(イベント情報等): 366件 ・家庭の省エネ対策、省エネグッズ情報の提供: 白熱球・電球型蛍光灯・LED電球について、ワットメーターを活用した消費電力量の比較や断熱シートなどの情報を来館者に広く提供し、省エネグッズ購入時の参考としていただいた。 	
	平成25年度		
	寄附額	¥564,143	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境保全活動、環境学習・教育、温暖化防止などに取り組む産学官民を支援するために、情報、資料、ノウハウ等を提供し、各種相談に対応する北海道環境サポートセンター運営経費の一部として、寄附金全額564,143円を活用しました。</p> <p>(主な実績・効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速印刷機(リソグラフ)貸出: 50件 ・機材貸出(プロジェクター): 5件 ・DVD・映像貸出: 18件 ・環境情報の提供(イベント情報等): 425件 ・教材・資材の貸出先が実施した学習会・セミナー等に、DVD等貸出先1,033人、機材貸出先330人が参加しており、道民への環境啓発活動に寄与しました。 	
	平成26年度		
	寄附額	¥518,065	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境保全活動、環境学習・教育、温暖化防止などに取り組む産学官民を支援するために、情報、資料、ノウハウ等を提供し、各種相談に対応する北海道環境サポートセンター運営経費の一部として、寄附金518,065円を活用しました。</p> <p>(主な実績・効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速印刷機(リソグラフ)貸出: 41件 ・機材貸出(プロジェクター): 1件 ・DVD・映像貸出: 14件 ・環境情報の提供(イベント情報等): 342件 ・教材・資材の貸出先が実施した学習会・セミナー等に、DVD等貸出先491人、機材貸出先16人が参加しており、道民への環境啓発活動に寄与しました。 	
	平成27年度		
	寄附額	¥226,001	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境保全活動、環境学習・教育、温暖化防止などに取り組む産学官民を支援するために、情報、資料、ノウハウ等を提供し、各種相談に対応する北海道環境サポートセンター運営経費の一部として、寄附金226,001円を活用しました。</p> <p>(主な実績・効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速印刷機(リソグラフ)貸出: 69件 ・機材貸出(プロジェクター): 1件 ・DVD・映像貸出: 25件 ・環境情報の提供(イベント情報等): 501件 ・教材・資材の貸出先が実施した学習会・セミナー等に、DVD等貸出先1,612人、機材貸出先16人が参加しており、道民への環境啓発活動に寄与しました。 		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K003	団体名	特定非営利活動法人北海道グリーンファンド
連絡先 (電話／メール)	011-280-1870	活動ホームページ (URL)	http://www.h-greenfund.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	省エネルギー・新エネルギー普及促進事業		
寄附額合計	¥407,058		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥80,673	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、誰でも無理なく地球環境の保全に貢献できるグリーン電気料金制度の普及と、風力や太陽光などの自然エネルギー発電所づくりをめざすNPO法人です。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただきました80,673円は、2011年11月に他団体と協力して実施した日本初の市民風車「はまかぜ」ちゃん見学ツアー開催(バス借上げ)に活用させていただきました。</p> <p>(効果)ツアー参加者は17名で、浜頓別町に建っている市民風車をゆっくりと見学することができました。オホーツク海から吹く風を受け回る風車を観て、参加いただいた皆さん感激の面持ちでした。浜頓別町は札幌から500キロも離れており、普段は行く機会のない遠い町ですが、ご寄附により、見学ツアーを実施することが叶いました。本当にありがとうございました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥167,221	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人は、誰でも無理なく地球環境の保全に貢献できるグリーン電気料金制度の普及と、風力や太陽光などの自然エネルギー発電所づくりをめざすNPO法人です。</p> <p>このたびご寄附いただきました167,221円は、今後、2013年～2015年の間に建設が予定されている市民風車建設資金として、グリーン電力基金に積み立てました。2013年～2015年に建設される市民風車のタワーの足元には「住宅エコポイント環境寄附ご提供者様」の記載をさせていただきます。</p> <p>私共はこれからも、持続可能なエネルギー社会の構築に向けて、市民の手による自然エネルギー発電所づくりに取り組んでまいります。たくさんの皆様からご寄附をいただき、本当にありがとうございました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥118,038	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人は、誰でも無理なく地球環境の保全に貢献できるグリーン電気料金制度の普及と、風力や太陽光など、市民が主体となって自然エネルギー発電所づくりをめざすNPO法人です。</p> <p>このたびご寄附いただきました118,038円と繰越金167,221円、合計285,259円は2014年度に石狩市厚田区に建設が予定されている2基の市民風車建設資金として、グリーン電力基金に積み立てました。この市民風車のタワーの足元には「住宅エコポイント環境寄附ご提供者様」の記載をさせていただきます。</p> <p>自然エネルギーのポテンシャルが高い北海道において建設される市民風車は、地球温暖化も原発の不安もない持続可能なエネルギー社会のために、日本海からの風を受けて元気にまわり、安全な電気を供給します。北海道にお越しの際は是非、その姿を見にお立ち寄り下さい。本当にありがとうございました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥24,035	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>このたびご寄附いただきました24,035円は、「自然エネルギー学習会:畜産バイオマスエネルギー」に関するセミナー開催にかかる費用として活用させていただきました。</p> <p>セミナー参加者は16名でした。当法人は自然エネルギーと省エネルギーを同時に推進していくことが、エネルギー自給率の向上につながるとの趣旨から活動に取り組んでおります。今回のセミナーはその一環として開催したものです。</p> <p>北海道の主幹産業である酪農廃棄物を活用した畜産バイオマスエネルギーの生産・活用に関する講師のお話は、普段あまり聴く機会がないもので、熱心な質疑も行われ、参加された皆様からの満足度の高いセミナーを開催することができました。また、昨年度まで積み立てておりました285,259円は2014年12月に石狩市厚田区に建設した2基の市民風車建設資金として活用させていただきました。本当にありがとうございました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥17,091	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人は、誰でも無理なく地球環境の保全に貢献できるグリーン電気料金制度の普及と、市民が主体となった風力や太陽光などの自然エネルギーの拡大と省エネルギーによる持続可能なエネルギー社会づくりに取り組むNPO法人です。地球温暖化への適応、緩和策について話し合われるCOP21が開催された2015年、地球温暖化と市民の暮らしを結ぶテーマのシンポジウムを開催いたしました。シンポジウムは、COP21が最終合意を見たこともあり、120名の参加があり、時機を得たものとなりました。</p> <p>このたびご寄附いただきました17,091円はシンポジウム開催にかかる費用の一部として活用させていただきました。</p> <p>私どもはこれからも、持続可能なエネルギー社会の構築に向けた活動に取り組んでまいります。たくさんの皆様から共感のご寄附をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K004	団体名	特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム(秋田県地球温暖化防止活動推進センター)
連絡先 (電話／メール)	018-839-8309	活動ホームページ (URL)	http://www.eco-akita.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	身近なCO2コソコソ削減普及啓発プロジェクト		
寄附額合計	¥388,304		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥105,730	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	秋田県内の環境に関する活動のネットワーク化と連携や交流することにより、豊かで「循環を基調とした環境あきた」の実現を目指し、地球温暖化防止の普及啓発と循環型社会の構築を課題に、平成14年～あきたエコ&リサイクルフェスティバルの開催時に節電啓発ステッカーとCO2削減エコチェックシートをそれぞれ150枚頒布、クールビズバッジを70個頒布、また、第2回国際フォーラムの開催を7月に予定している。 あきた環境優良事業所認定制度(秋田県版Mini ISO)の推進と認定を行い、秋田県地球温暖化防止活動推進センター(県内3地区に地域デスクを設置)業務においてもオリジナルエコ手帳と節電啓発ステッカーをミニISO認定事業所だけでなく、県内各地域の事業所を訪問した際、地域デスクがそれぞれ1,200枚頒布し、節電とエコ活動のツールとして利用させていただきました。 秋田県・秋田市住宅用太陽光発電補助金受付窓口業務(本年受付業務850件)においても、報告用はがきを送付する際、節電啓発ステッカーとエコ手帳を同封するなどし日常の中に浸透するよう利用させていただき、環境の達人業務、新エネルギー広報・サポート業務(環境学習、出前授業等)においても、小中学生を対象の環境学習で450名にCO2削減エコチェックシートと節電啓発ステッカーを頒布、一般向け環境学習と出前授業で127名に節電啓発ステッカーとエコ手帳、ウォームビズバッジ80個を配布をすることができました。引き続き環境活動の浸透に活用させていただきたいと考えております。	
	平成24年度		
	寄附額	¥155,350	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	秋田県内の環境に関する活動のネットワーク化と連携や交流することにより、豊かで「循環を基調とした環境あきた」の実現を目指し、地球温暖化防止の普及啓発と循環型社会の構築を課題に、ご寄附いただきました金額に、当法人の資金を合わせ全額利用させていただきました。平成14年～あきたエコ&リサイクルフェスティバルの開催時に節電啓発ステッカーとCO2削減エコチェックシートをそれぞれ150枚頒布、クールビズバッジを70個頒布、また、第2回国際フォーラムを7月に開催いたしました。 あきた環境優良事業所認定制度(秋田県版Mini ISO)の推進と認定を行い、秋田県地球温暖化防止活動推進センター(県内3地区に地域デスクを設置)業務においてもオリジナルエコ手帳と節電啓発ステッカーをミニISO認定事業所だけでなく、県内各地域の事業所を訪問した際、地域デスクがそれぞれ450枚頒布し、節電とエコ活動のツールとして利用させていただきました。 秋田県住宅用太陽光発電等新エネ広報・普及・サポート業務においても、報告用はがきを送付する際、節電啓発ステッカーを同封するなどし日常の中に浸透するよう利用させていただき、環境学習、出前授業等においても、小中学生を対象の環境学習で250名にCO2削減エコチェックシートと節電啓発ステッカーを頒布、一般向け環境学習と出前授業で85名に節電啓発ステッカー、ウォームビズバッジ80個を配布をすることができました。引き続き環境活動の浸透と復興支援に活用させていただきたいと考えております。	
	平成25年度		
	寄附額	¥76,301	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	秋田県内の環境に関する活動のネットワーク化と連携や交流することにより、豊かで「循環を基調とした環境あきた」の実現を目指し、地球温暖化防止の普及啓発と循環型社会の構築を課題に、今回の寄附と当法人の資金を合わせ、平成14年から継続して開催しているあきたエコ&リサイクルフェスティバルにおいて、節電啓発ステッカーとCO2削減エコチェックシートをそれぞれ150枚頒布、クールビズバッジを70個頒布、また、第2回国際フォーラムを7月に開催いたしました。 あきた環境優良事業所認定制度(秋田県版Mini ISO)の推進と認定を行い、秋田県地球温暖化防止活動推進センター(県内3地区に地域デスクを設置)業務においてもオリジナルエコ手帳と節電啓発ステッカーをミニISO認定事業所だけでなく、県内各地域の事業所を訪問した際、地域デスクがそれぞれ450枚頒布し、節電とエコ活動のツールとして利用させていただきました。 秋田県住宅用太陽光発電等新エネ広報・普及・サポート業務においても、報告用はがきを送付する際、節電啓発ステッカーを同封するなどし日常の中に浸透するよう利用させていただき、環境学習、出前授業等においても、小中学生を対象の環境学習で250名にCO2削減エコチェックシートと節電啓発ステッカーを頒布、一般向け環境学習と出前授業で85名に節電啓発ステッカー、ウォームビズバッジ80個を配布をすることができました。(今回の寄附は全額使用しました。)引き続き環境活動の浸透と復興支援に活用させていただきたいと考えております。	
	平成26年度		
	寄附額	¥33,056	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	秋田県内の環境活動のネットワーク化と連携や交流することで、豊かで「循環を基調とした環境あきた」の実現を目指し、地球温暖化防止の普及啓発と循環型社会の構築を課題に、今回の寄附と当法人の資金を合わせ、平成14年から、あきたエコ&リサイクルフェスティバルの開催時に節電啓発ステッカーとCO2削減エコチェックシートをそれぞれ200枚頒布、クールビズバッジを80個頒布。 あきた環境優良事業所認定制度(秋田県版Mini ISO)の推進と認定を行い、秋田県地球温暖化防止活動推進センター業務においてもオリジナルエコ手帳と節電啓発ステッカーをミニISO認定事業所、県内の事業所を訪問した際、地域デスクがそれぞれ400枚頒布し、節電とエコ活動のツールとして利用させていただきました。 環境学習、出前授業等においても、小中学生を対象の環境学習で300名にCO2削減エコチェックシートと節電啓発ステッカーを頒布、一般向け環境学習と出前授業で120名に節電啓発ステッカーを配布をすることができました。(今回の寄附は全額使用しました。)引き続き環境活動の浸透と復興支援に活用させていただきたいと考えております。	
	平成27年度		
	寄附額	¥17,867	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	秋田県内の環境活動のネットワーク化と連携や交流することで、豊かで「循環を基調とした環境あきた」の実現を目指し、地球温暖化防止の普及啓発と循環型社会の構築を課題に、今回の寄附と当法人の資金を合わせ、平成14年からあきたエコ&リサイクルフェスティバルの開催時に節電啓発ステッカーとCO2削減エコチェックシートをそれぞれ200枚頒布、クールビズバッジを50個頒布。 秋田県地球温暖化防止活動推進センター業務において、秋田県温暖化防止活動推進員と連携し、節電啓発ステッカーと環境家計簿を、それぞれ300枚頒布し、節電とエコ活動のツールとして利用させていただきました。 環境学習、出前授業等においても、小中学生を対象の環境学習で200名にCO2削減エコチェックシートと節電啓発ステッカーを頒布、一般向け環境学習と出前授業で100名に節電啓発ステッカーを配布をすることができました。(今回の寄附は全額使用しました。)引き続き環境活動の浸透に活用させていただきたいと考えております。		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K005	団体名	特定非営利活動法人環境ネットやまがた
連絡先 (電話／メール)	023-679-3340	活動ホームページ (URL)	http://eny.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	やまがたの自然エネルギー利活用促進事業		
寄附額合計	¥468,437		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥74,937	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	太陽光発電やバイオマスを利用した熱供給システム等を設置する資金がまだ不足しているため、また、設置場所や設備等を検討中のため、来年度実施を目指し全額預金してあります。	
	平成24年度		
	寄附額	¥165,429	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	太陽光発電やバイオマスを利用した熱供給システム等を設置する資金がまだ不足していることと、設置場所や設備等を調査・検討中のため、銀行に全額預金(前回の寄附金74,937円と今回の寄附金165,429円)してあります。 調査・検討としては、平成24年度は、行政機関2カ所のヒアリングのほか、農水省系の補助金を活用し農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査を実施しております。	
	平成25年度		
	寄附額	¥178,118	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	山形市に公共施設への太陽光発電システムの設置を働きかけたところ、今年度、市が大規模太陽光発電事業用に市有地(2.3ha)を貸し出す計画があることが分かりました。本法人は、他の環境NPOや学識経験者、事業者などに呼びかけ「やまがた市民参加型再生可能エネルギー普及推進協議会」を設立し、いただいた寄附や市民の出資、金融機関からの融資等で、メガワットソーラー(約3億円)を設置する計画を作り、8月に市に提案しました。 その後、市は事業実施を希望する事業者を公募で選定することとし、11月に公募が開始され、本協議会も応募し、2次審査まで進みましたが、残念ながら他の事業者が選定される結果となりました。 よって、いただいた寄附金は現在、全額銀行に預金(前々回の寄附金74,937円と前回の寄附金165,429円、今回の寄附金178,118円)してあります。今後、行政機関等と連携し、新たな計画を検討します。	
	平成26年度		
	寄附額	¥28,375	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	平成25年11月の大規模太陽光発電事業に係る山形市の市有地の公募では落選しましたが、平成26年11月に山形県工業技術センター庄内試験場における太陽光発電事業者の公募があり、他の環境NPOや学識経験者、事業者などに呼びかけ、いただいた寄附や市民の出資、金融機関からの融資等で、200kW太陽光発電事業の計画を作り応募しましたが、次点となり事業の実施ができませんでした。 よって、いただいた寄附金は現在、全額銀行に預金(前々々の寄附金74,937円と前々回の寄附金165,429円、前回の寄附金178,118円、今回の寄附金28,375円)してあります。今後、新たな計画を検討します。	
	平成27年度		
	寄附額	¥21,578	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	昨年10月、本法人の連携先の企業より、「山形県川西町で計画していた太陽光発電事業をやめるので、その権利を無償で譲渡するので実施しないか」と打診を受け、関連団体等と検討を行いました。 その結果、FITのルール変更のため事業を断念するのは残念なため、何らかの方法で事業を引き継ぐこととしました。しかし、NPO法人は配当が出来ないことや、直接的なリスクを回避するために、株式会社を設立することとしました。 本法人は、「家電エコポイント制度」及び「住宅エコポイント制度」でも環境寄附をいただいております、これまでのご寄附の約320万円を繰り越して貯金しておりましたので、株式会社設立のための出資金として今回の寄附(21,578円)を含む全額を使用いたしました。 会社名は、やまがた県民自然エネルギー株式会社とし、資本金2,710万円、204kW太陽光発電所を設置し、本年10月7日より売電を開始しました。今後は、普及啓発にも使用していきます。		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K006	団体名	特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉
連絡先 (電話／メール)	048-749-1217	活動ホームページ (URL)	http://www.kannet-sai.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	太陽光市民共同発電所設置による自然エネルギー導入への普及啓発		
寄附額合計	¥289,409		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥43,080	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今年度は、当団体内の市民共同発電所設置を目指すお日さまクラブ活動として、埼玉県内で3号機設置を目指しました。その結果吉川市のつばさ保育園に約5.76kwhのCIS系薄膜太陽電池のパネル64枚を設置することができました。経費的には県の補助金、さらに私たちの呼びかけに賛同した約150人・約93万円の寄附により設置しました。また1号機を設置した与野ひなどり保育園、2号機の鴻巣市の寺谷保育園では、園のイベント(発表会や成長展)と一緒に環境学習を行いました。詳細は当団体ホームページをご参照下さい。 http://www.kannet-sai.org/ohisama/index.html</p> <p>住宅エコポイントの寄附は、スタッフの交通費や消耗品費などに活用させていただきました。</p> <p>さらに24年度も県内に4号機を、また地域の環境団体等が主体的に市民共同発電所を設置できるような支援も行いたいと思っています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥112,548	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今年度は、当団体内の市民共同発電所設置を目指すお日さまクラブ活動として、埼玉県内で3号機設置を目指しました。その結果吉川市のつばさ保育園に5.76kwhのCIS系薄膜太陽電池のパネル64枚を設置することができました。経費的には県の補助金、さらに私たちの呼びかけに賛同した約150人・約90万円の寄附により設置しました。また1号機を設置した与野ひなどり保育園、2号機の鴻巣市の寺谷保育園では、園のイベント(発表会や成長展)と一緒に環境学習を行いました。詳細は当団体ホームページをご参照下さい。 http://www.kannet-sai.org/ohisama/index.html</p> <p>住宅エコポイントの寄附は、スタッフの交通費や消耗品費・印刷費などに2万円活用させていただきました。</p> <p>繰越金は県内に市民共同発電所の設置を推進し、また地域の環境団体等が主体的に市民共同発電所を設置できるような支援に利用したいと思っています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥88,704	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今年度は、当団体内の市民共同発電所設置を目指すお日さまクラブ活動として、埼玉県内で4号機設置を目指しました。その結果熊谷市のごぶき乳児保育園に3.92kwhのCIS系薄膜太陽電池のパネル28枚を設置することができました。経費的には県の補助金、さらに私たちの呼びかけに賛同した約150人・約88万円の寄附により設置しました。また1号機から3号機を設置した保育園では、園のイベント(発表会や成長展)と一緒に環境学習を行いました。詳細は当団体ホームページをご参照下さい。 http://www.kannet-sai.org/ohisama/index.html</p> <p>住宅エコポイントの寄附は、スタッフの交通費や消耗品費・印刷費などに活用させていただきました。</p> <p>さらに県内に市民共同発電所の設置を推進し、また地域の環境団体等が主体的に市民共同発電所を設置できるような支援も行いたいと思っています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥28,470	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体の市民共同発電所設置を目指すお日さまクラブ活動として、埼玉県内で5号機設置を目指し、越谷市の大袋幼稚園に4.4kwhの太陽電池パネル22枚を設置致しました。経費は県の補助金と、私達の呼びかけに賛同した約170人・約105万円の寄附です。また1号機から4号機を設置した保育園では、園のイベントと一緒に環境学習を行いました。詳細は当団体ホームページをご参照下さい。http://www.kannet-sai.org/ohisama/index.html</p> <p>住宅エコポイントの寄附は、スタッフの交通費や消耗品費・印刷費等に活用させていただきました。</p> <p>県内の市民共同発電所設置の推進、地域の環境団体等が主体的に市民共同発電所を設置できるような支援も行いたいと思っています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥16,607	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体の市民共同発電所設置を目指すお日さまクラブ活動として、埼玉県内で6号機設置を目指し、さいたま市の堀崎自治会に5.8kwhの太陽電池パネル24枚を設置致しました。経費は県の補助金と、私達の呼びかけに賛同した約1500人・約100万円の寄附です。また1号機から5号機を設置した保育園では、園のイベントと一緒に環境学習を行いました。詳細は当団体ホームページをご参照下さい。 http://www.kannet-sai.org/ohisama/index.html</p> <p>住宅エコポイントの寄附は、スタッフの交通費や消耗品費・印刷費等に活用させていただきました。</p> <p>県内の市民共同発電所設置の推進、地域の環境団体等が主体的に市民共同発電所を設置できるような支援も行いたいと思っています。また、次号機の設置を目指し、協力者探しも引き続き行っていきたいと思っています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K007	団体名	GLOBE Japan(地球環境国際議員連盟)
連絡先 (電話/メール)	080-4346-0400	活動ホームページ (URL)	http://www.globejapan.org
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	地球環境保全活動(調査研究・政策提言・教育)		
寄附額合計	¥1,307,718		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥389,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)メンバーである立法者の知見を深め、バランスのとれた政策立案を実現するため、国内外の有識者などを招へいし、勉強会やシンポジウムを設けています。深めた知見をもとに各国立法府に対して日本の立場や意見を発信するなど立法情報の共有も行っていきます。</p> <p>(使途)平成22年10月には、名古屋において国会議員100名を集めた議員会合を開催致しました。ご寄附頂いた合計389,364円については、天津およびメキシコで行われたGLOBEの会合に向けた勉強会開催(気候変動国際交渉、また自然資本の経済価値評価について)に伴う費用で使用させて頂きました。</p> <p>(効果)立法府の立場として、環境問題に貢献していく上で、立法者への幅広い情報提供は不可欠であり、その意味で有意義な勉強会となりました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥348,076	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)メンバーである立法者の知見を深め、バランスのとれた政策立案を実現するため、国内外の有識者などを招へいし、勉強会やシンポジウムを設けています。深めた知見をもとに各国立法府に対して日本の立場や意見を発信するなど立法情報の共有も行っていきます。</p> <p>(使途)平成23年南アフリカで行われたGLOBEケープタウン議員会合等国際会合への準備勉強会、資料作成、翻訳費用。また、2012年3月に衆議院第二議員会館の多目的会議室にて行われたシンポジウム「自然生態系と復興、減災、持続可能なまちづくり」の開催、および報告書作成に伴う費用として全額使用致しました。</p> <p>(効果)国際会合に向けての勉強会では、政府間交渉後のフォローアップにおける立法府の役割について、国会議員間での認識を深めました。シンポジウムにおいては、自然生態系の連環作用、経済的価値について議員間で議論をし、縦割行政を超えた海、里、山連環での生態系保護のあり方について認識を深めました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥338,531	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・2013年6月にベルリンにて開催された「GLOBE自然資本立法サミット」に伴い作成された、立法者の行動指針に関する文書の翻訳費(525,162円)の一部(197,126円分)として使用させて頂きました。この文書は、環境資源や生態系の価値をいかに正しく評価し、政策決定に反映させるかについて立法府の役割と責任についてまとめたもので、今後一層大きなテーマとして認識されてくる問題について立法府内の認識を向上させるのに非常に有益な資料となります。</p> <p>・2014年3月に国会内にて行われた「GLOBE気候変動立法イニシアティブ国際会合」への準備資料印刷費(149,810円)の一部として使用させて頂きました。本会合は、中国、イギリス、フランス、ペルー、韓国の5か国から、その国で取り組まれている最新の気候変動関連の立法・政策事例について発表をしてもらい、日本の国会議員や政府関係者で情報を共有し、今後の国内における立法・政策立案の議論の基盤とすることを目的としました。各スピーカーの発表資料の印刷に充当されました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥120,720	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)メンバーである立法者の知見を深め、バランスのとれた政策立案を実現するため、国内外の有識者などを招へいし、勉強会やシンポジウムを設けています。深めた知見をもとに各国立法府に対して日本の立場や意見を発信するなど立法情報の共有も行っていきます。</p> <p>(使途)平成25年11月に、GLOBE Japan勉強会「EUのグリーンインフラ戦略と自然資本」、平成26年3月に「GLOBE Japan気候変動立法イニシアティブ」を行いました。ご寄附頂いた金額については、資料の作成(5,000円)、飲料水の購入(15,000円)、外国招待者の移動・宿泊費用の一部(100,720円)に充当させて頂きました。</p> <p>(効果)立法府の立場として環境問題に貢献していく上で、他国での好事例を含めた立法者への幅広い情報提供は不可欠であり、その意味で有意義な勉強会・会合となりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥111,027	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)メンバーである立法者の知見を深め、バランスのとれた政策立案を実現するため、国内外の有識者などを招へいし、勉強会やシンポジウムを設けています。深めた知見をもとに各国立法府に対して日本の立場や意見を発信するなど立法情報の共有も行っていきます。</p> <p>(使途)平成27年5月から国会内にて日本の優れた環境技術をテーマとした勉強会をシリーズで行い、9月30日にアジアの議員を招いた国際会合を開催いたしました。ご寄附頂いた金額111,027円と当会の資金を併せ、勉強会、及び国際会合の講師(北九州および名古屋より)の招へい費用、講演料に充当させて頂きました。</p> <p>(効果)立法府の立場として環境問題に貢献していく上で、地方自治体や専門家からの幅広い情報提供は不可欠であり、その意味で有意義な勉強会・会合となりました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K008	団体名	特定非営利活動法人Tuvalu Overview
連絡先 (電話／メール)	03-5834-1456	活動ホームページ (URL)	http://www.tuvalu-overview.tv/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	ツバルに生きる一万人の人類事業		
寄附額合計	¥202,626		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,872	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>地球温暖化で沈むといわれる島国ツバルの全国民に取材を行う「ツバルに生きる一万人の人類事業」の取材費用として使用させていただきました。</p> <p>今年度は2012年1月24日～同年3月9日の期間、ツバル国バイツ環礁へ、日本人スタッフ3名とツバル人スタッフ1名の遠征を行い、同島在住のツバル人803名への取材を行いました。また、取材を通して気候変動に関する情報提供が不十分であることが判明し、講演会を島のメインの集会場と公立のセカンダリースクールで計2回開催し、700名を超える島民が参加し高い評価につながりました。ワークショップでは同島独自の地形に合わせた海面上昇への適応策を立案し提案しました。</p> <p>現在この適応策は島自治体によって実施事業が推進しています。インタビュー事業の成果はホームページ、講演会、写真展を通して広く紹介し、地球温暖化防止へのパブリックアウェアネス形成を図ってまいります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,604	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>地球温暖化で沈むといわれる島国ツバルの全国民に取材を行う「ツバルに生きる一万人の人類事業」の取材費用として全額使用させていただきました。</p> <p>昨年度は2012年1月10日～同年3月21日に、ツバル国へ渡航し、日本人スタッフ3名とツバル人スタッフ1名にて同国内のバイツ環礁の住人への取材を行いました。</p> <p>803名への取材を終了し、ツバルの被害と離島の文化と人々の思いを収集し、個々人の写真とともに、当団体のホームページで随時発表すると共に、写真パネルを作成し、日本国内で行われる写真展にて公開し、持続可能な社会形成への啓発を進めて参ります。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥54,063	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>地球温暖化で沈むといわれる島国ツバルの全国民に取材を行う「ツバルに生きる一万人の人類事業」の取材費用として全額使用させていただきました。</p> <p>今年度は2013年2月14日～3月25日の期間、ツバル国首都のフナフチ環礁から200km赤道よりにあるヌイ環礁に遠征を行い、日本人スタッフ2名で、同島在住のツバル人501名への取材を行いました。</p> <p>インタビュー事業の成果はホームページ、講演会、写真展を通して広く紹介し、地球温暖化防止への啓蒙活動を行ってまいります。いただきましたご寄附は全額ツバル遠征費として使用させていただきました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,720	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>地球温暖化で沈むといわれる島国ツバルの全国民に取材を行う「ツバルに生きる一万人の人類事業」の取材費用として全額使用させていただきました。</p> <p>今年度は2015年1月18～同年2月27日の期間、ツバル人約300名が移住しているフィジー国キオア島へ、日本人スタッフ2名とツバル人スタッフ1名の遠征を行い、同島在住のツバル人150名への取材を行いました。また、取材を通して気候変動に関する情報提供が不十分であることが判明し、講演会を島の役場と小学校で計2回開催し、100名を超える島民が参加し高い評価につながりました。</p> <p>インタビュー事業の成果はホームページ、講演会、写真展を通して広く紹介し、地球温暖化防止へのパブリックアウェアネス形成を図ってまいります。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,367	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回の寄附金は、地球温暖化で沈むといわれる島国ツバルの全国民に取材を行う「ツバルに生きる一万人の人類事業」の取材費用として使用させていただきました。</p> <p>今年度は2015年1月29日～同年2月26日の期間で、ツバル国フナフチ環礁へ、日本人スタッフ2名とツバル人スタッフ1名の遠征を行い、同島在住のツバル人150名への取材を行いました。また、取材を通して気候変動に関する情報提供が不十分であることが判明し、講演会を島のメインの集会場と町役場で計2回開催し、120名を超える島民が参加し高い評価につながりました。</p> <p>インタビュー事業の成果はホームページ、講演会、写真展を通して広く紹介し、地球温暖化防止へのパブリックアウェアネス形成を図ってまいります。 ぜひホームページもご覧ください。(http://www.tuvalu-overview.tv/10k/outline/)</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K009	団体名	特定非営利活動法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ
連絡先 (電話／メール)	03-3654-9188	活動ホームページ (URL)	http://www.sokuon-net.org/ハルナのちから/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	環境副読本『ハルナの力』の作成・出版		
寄附額合計	¥217,184		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥39,572	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境絵本『ハルナのちから』作成に向けて、添田亜紀さんに原稿執筆を依頼すると共に、イラストレーターの古林いつ子さんにイラスト作画を依頼した。対象は、小学校高学年以上でその親も読めるものを目指し、仕様としてはA5判30数ページ、フルカラーとした。</p> <p>経費としては、著者への謝礼50,000円、イラストレーターへの謝礼100,000円、印刷経費550,000円と見積もったところである。ところが、以下の点から当初見積もった経費から膨らむことが想定されるため、本対象期間の環境寄附を使わず、次対象期間の環境寄附を加えた金額を充てる予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> より多くの方に読んでいただきたいため、大幅に経費を超えないことを前提に部数を2,000部に変更する。 分かりやすい文章の校正と共に、内容にあわせたイラストを追加する。 長く愛読していただくため、装丁などに工夫を加える。 	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,962	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>前回繰越分39,572円および家電エコポイント環境寄附と合わせて、地球温暖化問題やエネルギー問題への対策の必要性を解説した子ども向け環境副読本『ハルナのちから』の作成および印刷、関係者への献本を実施した。</p> <p>作成にあたり、作画を担当したイラストレーターに謝礼150,000円を支出すると共に、印刷会社に印刷費780,000円を支出した。関係者への献本は書評を請うために行い、メール便業者に12,880円を支出した。また、イラストレーターや印刷会社との打ち合わせ、連絡調整などに要した費用として227,220円を支出した。本事業に要した支出は1,170,100円である。</p> <p>『ハルナのちから』は、2012年6月に開催された江戸川区環境フェアにおいて来場者に配布すると共に、2012年8月と12月に福島県伊達市の寺院「仙林寺」で行われた寺子屋イベントで参加児童に配布した。このほか、当会が出講した講習会やイベントで参加者に配布した。今後もイベント等で配布していく。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥59,063	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>作成した環境副読本『ハルナのちから』について、当会主催イベント等で頒布しているところであるが、発行部数に限りがあるため、さらに広く普及させることを目的に、『ハルナのちから』のストーリーを元に紙芝居を作成することとした。</p> <p>紙芝居の作成にあたり、環境副読本の出版を手がけた印刷会社に、紙芝居に用いる木枠と紙芝居本体を1組として5組の制作を依頼し、その制作費として60,000円を支出した。ところが、全編を紙芝居とするには時間的に制約があり、参加者の理解を得ることが難しいため、全体で20分程度に収まるよう、メンバーで読み合わせをしながら内容の精査を行っているところである。</p> <p>今後は、参加イベント等で試験的に紙芝居を行い、参加者の反応を見ながら、紙芝居の完成に向けて努力していく。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,719	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境副読本『ハルナのちから』を題材とした紙芝居を作成した。ところが、20分以内で話す文章を収めなければならなかったり、紙芝居の材質が弱かったりしたため、文章の簡素化を図ると共に、紙芝居の中に入れる紙を3回作成しました。</p> <p>住宅エコポイントからの環境寄附については全額を、その作成費に充当させていただきました。</p> <p>作成した紙芝居については、環境イベントなどでご紹介させていただき、副読本の趣旨や内容について伝えることができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,868	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2015年6月に行った当会ホームページの全面リニューアルに伴い、環境副読本『ハルナのちから』について周知を図るため、新たに専用ページ(http://www.sokuon-net.org/ハルナのちから/)を作成した。</p> <p>住宅エコポイント事業により付与された環境寄附6,868円については、株式会社オフィス友恵に支払うホームページの作成費用208,890円に充当した。</p> <p>新ホームページ公開後、2016年1月までに約1,700件のアクセスがあり、『ハルナのちから』について周知することができた。また、ホームページ掲載をきっかけに2015年12月19日開催のマザー・アース・フェスティバルへの参加打診があり、来場者約500人に対して当会の活動紹介と共に『ハルナのちから』の頒布を行い、30部を頒布することができた。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K010	団体名	特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所
連絡先 (電話／メール)	03-5942-8937	活動ホームページ (URL)	http://www.isep.or.jp
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	再生可能エネルギーの導入・普及とそのための仕組みづくり		
寄附額合計	¥353,299		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥33,172	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当NPOは、自然エネルギーを普及する政策や制度に関し、幅広い研究と政策提言を行い、地球温暖化問題への取り組みを支援しています。</p> <p>(使途)このたびご寄附頂いた33,172円は、2011年3月に発生した原発事故後の新たなエネルギー戦略に関する政策研究に係る費用の一部(人件費等)に充当させて頂きました。</p> <p>(効果)研究の成果は緊急提言「3.11後のエネルギー戦略ペーパー(No.0～No.5)」等に取りまとめで発表し、多くの反響を頂きました。 (詳しくは: http://scr.bi/IP2HNM)</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥97,457	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当研究所は、自然エネルギーを普及する制作や制度に関し、幅広い研究と政策提言を行い、地球温暖化問題への取り組みを支援しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた97,457円は、「自然エネルギー世界白書2012」の日本語翻訳費用(2013年2月に当NPOから発表)の一部に充当させて頂きました。</p> <p>(効果)「自然エネルギー世界白書」は、フランスに本部のあるREN21(「21世紀のための自然エネルギー政策ネットワーク」、当研究所の飯田所長が理事を務める)が毎年発行しているレポートです。当研究所は本報告書作成に積極的に協力するとともに、初刊から継続的に日本語への翻訳を行っています。本報告書は「第4の革命」ともいわれる自然エネルギーの爆発的な普及状況を包括的に把握する貴重な資料として、広く自然エネルギー関連機関、行政、企業、一般市民の方々に用いられています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥117,863	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当研究所は、自然エネルギーを普及する政策や制度に関し、幅広い研究と政策提言を行い、地球温暖化問題への取り組みを支援しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた117,863円は、平成25年2月25日に山口県宇部市で行った「ISEPコミュニティ・パワー会議2013」の開催費用の一部に充当させて頂きました。これは地域主導型の自然エネルギー事業(コミュニティパワー)に焦点をあてた国際会議で、国内外からこの分野で活躍するキーパーソンが集結しました。</p> <p>(効果)世界、日本各地から地域主導型の自然エネルギー事業の成功事例が共有され、建設的な議論が行われました。この国際会議をきっかけとして、開催地である山口県では今後も継続的に地域の自然エネルギーに取り組む動きが生まれ、全国および世界に広がるネットワークが登壇者と参加者の間に生まれました。このネットワークを通じて今後地域からの自然エネルギー普及の加速が期待されます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,439	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当研究所は、自然エネルギーを普及する政策や制度に関し、幅広い研究と政策提言を行い、地球温暖化問題への取り組みや地域主導型の再生可能エネルギー政策や事業を支援しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた19,439円は、ISEPが運営する論壇ウェブサイトEnergy Democracyの運営費の一部に充当させて頂きました。(http://www.energy-democracy.jp/)これは、地域分散型のエネルギー社会への変化を見据え、環境エネルギー政策に関する論考を集め、発信するメディアです。</p> <p>(効果)Energy Democracyウェブサイトから他のメディアとの連携が行われ、多くの有識者や読者に世界の最新情報や国内の情報を提供し、政策提言の場などにも活用されています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥85,368	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当研究所では自然エネルギーを中心とした持続可能なエネルギー政策の推進に向けて調査研究活動を進めております。その成果を発表し、これまでの活動を振り返る機会として2015年9月11日に「環境エネルギー政策研究所設立15周年記念シンポジウム ～環境エネルギーの大転換期に未来を構想する～」を開催しました。</p> <p>(使途)シンポジウムの開催経費の一部(会場借料、資料印刷代等)にご寄附(85,368円)を使わせて頂きました。その結果、参加費を無料とし、多くの方にご参加いただくことにつながりました。</p> <p>(効果)当日は250名以上の方にご参加いただき、当研究所の調査研究活動の成果を共有することができました。当日の様子は映像資料として公開しておりますので、ご寄附をいただいた皆様もご覧いただけます。 (http://www.isep.or.jp/event/7973)</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K011	団体名	一般財団法人環境イノベーション情報機構
連絡先 (電話／メール)	03-6695-1263	活動ホームページ (URL)	http://www.eic.or.jp/eic/topics/2011/0520.html
対象分野	地球温暖化防止		
事業・プロジェクト名	環境情報提供事業(環境情報提供サイト「EICネット」及びエコライフサポートサイト「エコナビ」)		
寄附額合計	¥210,221		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,872	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化対策と都市・地域づくりをテーマに先進事例として「ドイツの自治体における街灯対策」について、2市を対象に概ね平成22年中に情報収集と取材を実施した。デュッセルドルフ市においては発光ダイオードの導入について、パベンブルク市においては古い街灯の改修について実施した。</p> <p>(使途)寄附金32,856円は、2市とその周辺の情報収集と取材の賃金・謝金に充てた。</p> <p>(効果)寄附金をドイツ2都市とその周辺の情報の収集と取材に充てた結果、具体的事例が得られただけでなく、ドイツ連邦環境省の自治体に対する街灯対策の提言情報も得られた。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,189	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・地球温暖化対策と都市・地域づくりをテーマに海外事例として「建築部門は地域における温暖化対策の主役」、国内事例として「自治体の省電力発電」について情報収集と取材を実施した。</p> <p>・海外事例では、ドイツ(ハノーファー、ミュンスター、ラインベルク市)について結果をとりまとめ、ホームページ掲載用の編集、制作作業を行った。</p> <p>・寄附金92,189円は、事例の情報収集と取材、ホームページ用ファイルの編集・制作に充てた。</p> <p>・寄附金を国内外の事例情報の収集と取材に充てた結果、取り組みの多様性を掘り下げることができた。</p> <p>・寄附金をホームページ用の編集・制作に充てた結果、得られた情報をEICネットに公開することができ、広く一般の閲覧に供することができた。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥58,063	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・地球温暖化対策と都市・地域づくりをテーマに海外事例のため、英語・ドイツ語で発信されているニュースリリースなどから広範な情報収集を行う一方で、IPCCの動きについても注目した。</p> <p>・寄附金58,063円は、事例の情報収集とともに、2014年3月のIPCC総会に注目した情報収集に充てた。</p> <p>・寄附金を情報収集に充てた結果、IPCCワーキンググループの総括リードオフィサーへのインタビュー実施に向け、具体的なスケジュール調整にこぎつけることができた。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,729	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・地球温暖化対策と都市・地域づくりをテーマに海外事例のため、英語・ドイツ語で発信されている政府機関(アメリカ、EU、イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、スウェーデン、デンマーク、カナダ、中国、韓国)、国際機関(UNEP、UNFCCC、IPCC、IPBES、WMO、OECD、IEA、CBD)のニュースリリースなどから広範な情報収集を行った。</p> <p>・寄附金20,729円は、事例の情報収集に充てた。</p> <p>・寄附金を海外の事例情報の収集に充てた結果、平成26年度の具体的事例研究(ヨーロッパ3都市、アメリカ2都市、カナダ1都市)に役立った。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,368		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・地球温暖化対策と都市・地域づくりをテーマに海外事例のため、英語・ドイツ語で発信されている政府機関(アメリカ、EU、イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、スウェーデン、デンマーク、カナダ、中国、韓国)、国際機関(UNEP、UNFCCC、IPCC、IPBES、WMO、OECD、IEA、CBD)のニュースリリースなどから広範な情報収集を行った。</p> <p>・寄附金6,368円は、事例の情報収集及びWebへの情報掲載に充てた。</p> <p>・寄附金を海外の事例情報の収集及びWebへの情報掲載に充てた結果、地球温暖化に関わる自治体の取組み等について気候変動に関する世界自治体サミット1件、研究機関(世界資源研究所(WRI)、イクレイヤー持続可能性をめざす自治体協議会、C40(大都市気候先導グループ))1件、EU1件、ドイツ4件の情報の要約を和訳し、環境情報提供サイト「EICネット」(http://www.eic.or.jp/)海外ニュースに掲載して一般公開した。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K012	団体名	自然エネルギー推進市民フォーラム(REPP)
連絡先 (電話/メール)	03-3834-2427	活動ホームページ (URL)	www.repp2015.jp
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	国内外での太陽光発電、バイオマス利用など自然エネルギーの普及啓発		
寄附額合計	¥233,822		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,272	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)自然エネルギーの利用を市民が実践するためには、自然エネルギーについてより多くの市民に理解してもらうことが大切です。市民が多く参加するイベントに出展することで直接体験していただくのが一番効果的と日比谷公園で開催されたグローバルフェスタや新宿御苑で開催されたライフスタイルフォーラムに出展しました。</p> <p>(使途)その際の運営費として、ご寄附いただいた30,272円をイベントワークショップ材料費・資料代として使わせていただきました。</p> <p>(効果)普段映像で見た程度のソーラークッカー実演に感動する方が多くそこから太陽光発電や熱利用、国内のバイオマスの取り組み事例さらに中国の雲南のバイオガスタンクの話へと進めることが出来ました。関心の高まりと実際に取り組みたい市民が多くなっていることを実感しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥98,120	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)より多くの市民に自然エネルギーを理解していただく為に、様々なイベントで直接体験できるような展示をしました。苗場でのFUJIROCKフェスティバルNGO村、再生可能エネルギー世界展示会(東京ビッグサイトや幕張メッセ)にも出展しました。</p> <p>(使途)その際の運営費ご寄附いただいた98,120円をイベント告知資料代や展示パネル代・WS材料費に充てさせていただきました。</p> <p>(効果)3月11日の東日本大震災以降、エネルギー自給への関心が高まる中で、普段からの取り組みが防災への備えになることがより強く認識したとのアンケート結果などから判りました。また、自然エネルギーの必要性を自覚した市民が多くなり各地での取り組みが以前より増えました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥70,763	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では温暖化防止には、市民への自然エネルギーの普及啓発が大切と考え様々なイベントに出展して直接体験できるプログラムを実施しています。目を引く展示パネルの役割は重要です。</p> <p>(使途)7月に開催された再生可能エネルギー世界展示会やFUJIROCK2013に出展し展示パネル作成費として70,763円を使わせていただきました。より多くの市民に理解されました。</p> <p>(効果)より分かりやすくパネル展示され多くの方の関心を集めることが出来ました。熱心に読んで質問される方が多く交流のきっかけとして効果的でした。身近なところから自然エネルギーに取り組むことや中国雲南省の事例まで、幅広く知っていただけました。次年度のイベントに活用できご寄附をいただいた皆様にもぜひ参加していただけたら幸いです。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,219	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)自然エネルギーを、より多くの市民に理解して頂くには、体験や自ら実践をすることが効果的です。7月に苗場にて開催されたFUJIROCKのNGO村にてソーラークッカーを実演。7月末に開催された再生可能エネルギー世界展示会に市民作成の手づくりロケットストーブなどを展示し好評を得ました。また、NPO法人の依頼を受け、公園にての植樹の時にソーラークッカーを実演、体験して頂きました。</p> <p>(使途)ご寄附頂いた20,219円は、イベント告知資料や展示パネル代として使わせて頂きました。</p> <p>(効果)FUJIROCKでは、幅広い年齢層に伝えることが出来ました。再生可能エネルギー世界展示会では、近年一般市民の見学も増えています。公園での実演では、火を使ってはいけない場所での調理と新たな提案が出来ました。今後も具体的な提案を続けていきたいと考えています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥14,448	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)自然エネルギーの普及啓発のためには、体験や自ら実践することにより、多くの市民に理解を得られます。7月に開催されたFUJIROCKのNGO村にてソーラーパネルを利用し、携帯電話などの充電サービスの実施、また、再生可能エネルギー世界展示会に市民作成の太陽光を利用したオーディオや、災害時に活躍する移動式独立型太陽光発電機を紹介し好評を得ました。また、静岡市民の希望で、25名の親子参加の太陽光・熱利用のワークショップを開催。ソーラークッカーで弾けるポップコーンに驚いて頂きました。</p> <p>(使途)ご寄附頂いた14,448円はワークショップのチラシや資料・資料パネル作成に使わせて頂きました。</p> <p>(効果)FUJIROCKでは、携帯充電サービスに毎年訪ねてくださる方も、太陽に感謝と、自然エネルギーを実感。ソーラークッカーで太陽の光・熱だけでお湯が沸くのを目の前で見て頂き、自然エネルギーを身近に感じて頂きました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K013	団体名	特定非営利活動法人ジュレー・ラダック
連絡先 (電話／メール)	03-3812-3866	活動ホームページ (URL)	http://julayladakh.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	インドヒマラヤ山岳地域ラダックにおけるソーラークッカー普及支援活動		
寄附額合計	¥215,222		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,814	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人ではインド北部のラダック地域の遠隔村にて、平成20年よりソーラークッカーの普及支援と環境教育を行っています。ソーラークッカーは、炊事などに使われる希少な樹木やガスなどの代替に有効であるものの、村までは5,000mの峠を越え数日歩くなど、支援には相当な労力や費用が掛かってきました。</p> <p>(使途)平成23年4月までに寄附いただいた7,019円に均等配分された25,795円、家電エコポイントの寄附金や当会の資金を合わせ、平成23年度には計35台のソーラークッカーを支援することができました。</p> <p>(効果)ソーラークッカー支援によって希少な樹木やガスを燃して発生するCO2の排出を抑えることができ、さらに、村人の薪運びなどの重労働も減少しました。また、今年は新たに事業地域を拡大する事ができ、現在11カ村で支援を行なっています。今後とも、環境に優しい自然エネルギーの普及に取り組んでいきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,960	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人ではインド北部のラダック地域の遠隔村にて、平成20年よりソーラークッカーの普及支援と環境教育を行っています。ソーラークッカーは、炊事などに使われる希少な樹木やガスなどの代替に有効であるものの、村までは5000mの峠を越え数日歩くなど、支援には相当な労力や費用が掛かってきました。</p> <p>(使途)平成24年4月までに寄附いただいた95,960円に、家電エコポイントの寄附金や当会の資金を合わせ、平成23年度～平成24年度の間計43台のソーラークッカーを支援することができました。寄附金は全額使用致しました。</p> <p>(効果)ソーラークッカー支援によって希少な樹木やガスを燃して発生するCO2の排出を抑えることができ、さらに、村人の薪運びなどの重労働も減少しました。また、昨年から新たに事業地域を拡大する事ができ、現在11カ村で支援を行なっています。今後とも、環境に優しい自然エネルギーの普及に取り組んでいきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥62,362	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人ではインド北部ラダック地域の遠隔村にて、平成20年よりソーラークッカーの普及支援と環境教育を行っています。ソーラークッカーは、炊事などに使われる希少な樹木やガスなどの代替に有効であるものの、村までは5000mの峠を越え数日歩くなど、支援には相当な労力や費用が掛かってきました。</p> <p>(使途)平成25年4月までに寄附いただいた62,362円に、家電エコポイントの寄附金や当会の資金を合わせ、平成24年度はラダック東部のタルテット村に8台、西部最奥部のディプリン村に1台、計9台のソーラークッカーを支援することができました。寄附金は全額使用致しました。</p> <p>(効果)ソーラークッカー支援によって希少な樹木やガスを燃して発生するCO2の排出を抑えることができ、さらに、村人の薪運びなどの重労働も減少しました。一昨年から拡大する事ができた新事業地を加えて、現在12カ村で支援を行なっています。今後とも、環境に優しい自然エネルギーの普及に取り組んでまいります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,718	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人ではインド北部ラダック地域の遠隔村にて、平成20年よりソーラークッカーの普及支援と環境教育を行っています。ソーラークッカーは、炊事などに使われる希少な樹木やガスなどの代替に有効であるものの、村までは5000mの峠を越え数日歩くなど、支援には相当な労力や費用が掛かってきました。</p> <p>(使途)平成26年4月までに寄附いただいた17,718円に、当団体の資金を合わせ、平成25年度はラダック東部のカトゥパー村に7台のソーラークッカーを支援することができました。寄附金は全額使用致しました。</p> <p>(効果)ソーラークッカー支援によって希少な樹木やガスを燃して発生するCO2の排出を抑えることができ、さらに、村人の薪運びなどの重労働も減少しました。平成23年から拡大する事ができた新事業地を加えて、現在13カ村で支援を行なっています。今後とも、環境に優しい自然エネルギーの普及に取り組んでまいります。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,368	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人ではインド北部ラダック地域の遠隔村にて、平成20年よりソーラークッカーの普及支援と環境教育を行っています。ソーラークッカーは、炊事などに使われる希少な樹木やガスなどの代替に有効であるものの、村までは5000mの峠を越え数日歩くなど、支援には相当な労力や費用が掛かってきました。</p> <p>(使途)平成27年7月までに寄附いただいた6,368円に当団体の資金を合わせ、平成26～27年度はラダック東部の3カ村に計20台のソーラークッカーを支援することができました。寄附金は全額使用致しました。</p> <p>(効果)ソーラークッカー支援によって希少な樹木やガスを燃して発生するCO2の排出を抑えることができ、さらに、村人の薪運びなどの重労働も減少しました。平成23年から拡大する事ができた新事業地を加えて、現在13カ村で支援を行なっています。今後とも、環境に優しい自然エネルギーの普及に取り組んでまいります。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K014	団体名	特定非営利活動法人そらべあ基金
連絡先 (電話／メール)	03-3504-8166	活動ホームページ (URL)	http://www.solarbear.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	グリーン電力普及啓発事業		
寄附額合計	¥777,562		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥116,362	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、昨年から変更された小学校の学習指導要領により、総合学習の時間が減少することで環境教育の時間も減少することが予想されるため、容易に再生可能エネルギーの理解に取り組めるよう、アニメーションなどを取り入れたDVD環境教育教材を作成しました。本教材は全国の希望をされる小学校へ、先着1000校に無料配布を行っています。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただいた116,362円と、他の企業様からのご寄附を合わせまして、アニメーションの制作費用と実写の撮影費用、DVDのプレス代に充当し作成しています。ご寄附を充当することにより、子どもたちが理解しやすいアニメーションでの表現などが可能になりました。</p> <p>(効果)すでに当基金のネットワークにある幼稚園・保育園300園へ無料配布を行っています。また小学校へは167校の配布済みですが、現在も応募を募集しております。今後は本教材を使用した出前授業も行っていく予定です。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥322,154	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・当法人では、未来を担う子ども達への環境教育を行っています。幼稚園・保育園から環境教育に取り組んでもらうため、当団体のシンボルキャラクターであるホッキョクグマの「そらべあ」をストーリーとした絵本を作成。また、当団体を応援してくれている方やイベントで配布を行っている会報誌「そらべあ便り」を作成し、一般の方々に最新の環境情報をお届けする活動を行っています。</p> <p>・この度ご寄附いただいた265,552円を活用し絵本1000冊と会報誌2000部の制作しました。絵本は幼稚園・保育園の園児に配布し、読み聞かせなどに活用。会報誌は一般の方々やイベント、大学等で配布を行いました。</p> <p>・絵本1000冊、そらべあ便り2000部の配布により大人、子どもに関わらず再生可能エネルギーに興味を持っていただくことができました。今後は実践的に環境教育に取り組むため、様々な場所でワークショップを展開していきます。</p> <p>・繰越となる56,602円は、次回のご寄附と合わせて活動に使用させていただきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥226,800	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)そらべあ基金の個人・法人会員、及び広く一般市民に向けた広報誌「そらべあ便り」を発行し、当基金の活動紹介や、グリーン電力の普及啓発に向けた情報発信を実施しています。また、新規会員の獲得に向けたツールとしても活用しています。</p> <p>(使途)前年度の繰越金と今年度分を合わせた合計283,402円と当基金の資金を合わせて、平成25年度は「そらべあ便り」を3回発行するに至りました。ご寄附の発行に際する経費(原稿料、印刷費、郵送費等)の一部に充てることにより、より多くの方々に当基金の活動を知っていただくきっかけを作ることが出来ました。</p> <p>(効果)「そらべあ便り」の発行により、新規会員のお申し込みもあり、情報発信ツールとしての手ごたえを感じています。当基金の活動を応援していただいている方々は自身の支援が形になって知ることが出来、またこれから支援を検討されている方々には、当基金をご紹介出来る良いツールのひとつとなりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥89,155	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金はグリーン電力の普及啓発に向けて、より多くの方々にグリーン電力についての役立つ情報発信のため、広報誌「そらべあ便り」を年4回作成しています。そこで、より多くの方々にわかりやすい広報誌の作成を目指しており、内容の充実化を図るためにプロのデザイナーへの紙面のデザインを依頼したいと考えていました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた89,155円と当基金の資金を合わせ、平成26年12月に「そらべあ便り」200部を作成し、当基金の会員へお送りしました。また、当基金の活動をご紹介するツールとしても活用し、新規会員獲得に向けた取り組みを実施しました。</p> <p>(効果)当基金のシンボルキャラクター「そらべあ」を活かした紙面作りにより、読者の方々から「可愛いデザインで読みやすい」、「イラストがたくさんあり子どもが興味を持って読んでいた」などのお声をいただき、当初の目的を達成することが出来ました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥23,091		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金はグリーン電力の普及啓発に向けて、より多くの方々にグリーン電力についての役立つ情報発信のため、広報誌「そらべあ便り」を年4回作成しています。そこで、より多くの方々にわかりやすい広報誌の作成を目指しており、内容の充実化をより図るため、紙面のデザインの見直しを行いました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた23,091円と当基金の資金を合わせ、平成27年12月、「そらべあ便りvol.25」200部の制作費と当基金の会員への郵送費として使用しました。その他、当基金の活動をより多くの方々に知ってもらうための広報ツールの一つとして活用しています。</p> <p>(効果)当基金のシンボルキャラクター「そらべあ」を活かした紙面作りにより、読者の方々から「可愛いデザインで読みやすい」、「イラストがたくさんあり子どもが興味を持って読んでいた」などのお声をいただき、当初の目的を達成することが出来ました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K015	団体名	特定非営利活動法人バイシクル エコロジー ジャパン
連絡先 (電話／メール)	03-5875-4334	活動ホームページ (URL)	http://www.bejapan.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	Bike to Work: バイクツーワーク 自転車通勤応援活動		
寄附額合計	¥253,829		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥56,111	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2007年より自転車通勤応援活動バイクツーワークを秋田から福岡まで7都市11会場で実施しています。自転車通勤者の応援活動として、無償で配布している飲料代、簡易メンテナンス用の専用工具購入費、活動ブース増設費及び調査費用として活用させていただきます。2012年までに自転車通勤率約10%から世界最高水準の35%を目指し、自転車から広がるモビリティ・シフトによるサステナブルな都市を提唱しています。</p> <p>(使途)このたびのご寄附金56,111円は、期間中に開催した活動会場へ、自転車通勤者に配布する備品送料経費の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)広く多くの方からのご寄附があったことでメンバーの士気と責任感と連帯感がさらに上がりました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥108,489	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、秋田、金沢、東京、横浜、名古屋、高松、福岡のメンバーを軸に年間20回以上の自転車通勤者を応援する活動を行っています。配布する飲料やバナナの費用と備品、自転車通勤率を調査する費用として資金が必要です。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた108,489円は、ブース増設費や移動式ブース購入費用に使わせていただく予定でしたが、2011年3月11日に起きた東日本大震災による支援活動に使わせていただきました。同3月31日の仙台市周辺視察旅費および同5月宮城県多賀城市と仙台市若林区、栃木県那須市に自転車を届ける旅費に使わせていただきました。</p> <p>(効果)震災発生から2か月たった、春の5月に自転車を届けることができたため、生活に戻る人たちやボランティアの方々の移動手段として活用されました。うち10台はHEARTQUAKE Base Camp(仙台市若林区)に常備されています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥59,412	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、秋田、金沢、東京、横浜、名古屋、高松、福岡のメンバーを軸に年間20回以上の自転車通勤者を応援する活動を行っています。配布する飲料やバナナの費用と備品、自転車通勤率を調査する費用として資金が必要です。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた59,412円は、定例活動資金として、配布物の購入、送料に使わせていただきました。活動の手本とするサンウランシスコのバイクツーワークを5月に視察しそのをもとに冊子を製作し、9月の全国一斉開催に配布しました。会場は全国で4都市5か所で開催。2か所は雨天で中止、自転車店や飲食店など13都市48店舗がサポート参加がありました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,213	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人では2007年より開催している自転車通勤応援活動バイクツーワークを今年度も開催いたしました。秋田、東京、高松を核として9月に一斉開催を行いました。 ・この度ご寄附いただいた21,213円と、当団体の資金により、配布する飲料、軽食を購入することができました。 ・開催地区ごとに恒例となり認知度も上がってきました。 	
平成27年度			
寄附額	¥8,604		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人では2007年より開催している自転車通勤応援活動バイクツーワークを今年度も開催いたしました。秋田、東京、高松を核として9月に一斉開催を行いました。</p> <p>この度ご寄附いただいた8,604円と、当団体の資金により、運営資金として配布する飲料などを購入することができました。</p> <p>開催地区ごとに特色と地域密度が上がり恒例活動として継続していきたいと思っております。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K016	団体名	特定非営利活動法人アクト川崎
連絡先 (電話／メール)	044-813-1313	活動ホームページ (URL)	http://homepage3.nifty.com/act-k/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	地球温暖化防止活動の推進		
寄附額合計	¥294,700		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,961	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は川崎市地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、地球温暖化防止のための市民に対する普及啓発活動、再生可能エネルギーの普及推進、小学校などを中心とした学校への環境学習・環境教育の実施、ライフスタイルの見直しの啓発活動を行っている。今回の環境寄附は、普及啓発、環境学習・環境教育を行う時に用いる視覚教材、参考資料の購入に充当した。</p> <p>(使途)DVD「earth」、「地球交響曲」、書籍「実践！体験！STOP地球温暖化」、「環境白書」などを購入した。</p> <p>(効果)川崎市市内小学校に対して、15回程度の出前授業を行い、地球環境問題の深刻さを訴えることができた。また、スタッフは地球環境問題の深刻さを再認識するとともに、子どもたちへの授業を行う技術向上にもつながった。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥103,291	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は川崎市地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、地球温暖化防止のための市民に対する普及啓発活動、再生可能エネルギーの普及推進、小学校などを中心とした学校への環境学習・環境教育の実施、ライフスタイルの見直しの啓発活動を行っている。今回の環境寄附は、普及啓発、環境学習・環境教育を行う時に用いる視覚教材、参考資料の購入に充当した。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた103,291円と、当法人の資金を合わせて、DVD「HOME」、書籍「夏休みの自由工作」、「環境白書」、「理科年表」などを購入した。</p> <p>(効果)川崎市市内小学校に対して、20回程度の出前授業を行い、地球環境問題の深刻さ、省エネ・節電の大切さを訴えることができた。また、スタッフの温暖化防止への意識向上にもつなげることができた。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥67,742	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は川崎市地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、市民に対して地球温暖化防止、再生可能エネルギー、ライフスタイルの見直しに関する普及啓発活動、小学校などを中心とした学校への環境学習・環境教育の実施を行っている。寄附は普及啓発、環境学習・環境教育を行うための参考資料の購入に充当した。</p> <p>(使途)今回の寄附67,742円と当法人の資金を合わせて、DVD「太陽光発電アドバイザー講座」、書籍「エネルギー環境教育の授業づくり」、「未来をひらくESDの授業づくり」、「環境教育辞典」「図説地球環境の辞典」などを購入した。</p> <p>(効果)市内小学校に対して、30回の環境出前授業を行い、地球環境問題の深刻さ、省エネ・節電とごみ分別の必要性を訴えることができた。また、市内20の町内会・自治会に節電・省エネ、ごみ減量と分別の環境学習を行った。あわせて、スタッフに対して研修会を実施して、スキルの向上を行った。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥82,338	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は川崎市地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、市民に対して地球温暖化防止、再生可能エネルギー、ライフスタイルの見直しに関する普及啓発、小学校などへ環境学習・環境教育の実施を行っている。寄附は普及啓発、環境学習・環境教育を行うための参考資料の購入に充当した。</p> <p>(使途)今回の寄附82,338円と当法人の資金を合わせて、「環境白書 循環型社会白書／生物多様性白書」「よくわかる気象環境と生物のしくみ 理科年表シリーズ」「家庭用エネルギーハンドブック」「水の日本地図」などを購入した。</p> <p>(効果)市内小学校に対して、30数回の環境出前授業を行い、地球環境問題の深刻さ、省エネ・節電とごみ分別の必要性を訴えることができた。また、市内の町内会・自治会に節電・省エネ、ごみ減量と分別の環境学習を10数回行った。あわせて、スタッフに対して研修会を実施して、スキルアップ向上を行った。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥10,368	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は川崎市地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、市民に対して地球温暖化防止、再生可能エネルギー、ライフスタイルの見直しに関する普及啓発、小学校などへ環境学習・環境教育の実施を行っている。寄附は普及啓発、環境学習・環境教育を行うための参考資料の購入に充当した。</p> <p>(使途)今回の寄附10,368円と当法人の資金を合わせて、「100円ショップでわくわく科学実験」「楽しい干潟学」「理科の地図帳(環境・生物編)」などを購入した。</p> <p>(効果)市内小学校に対して、30数回の環境出前授業を行い、地球環境問題の深刻さ、省エネ・節電とごみ分別の必要性を訴えることができた。また、市内の町内会・自治会に節電・省エネ、ごみ減量と分別の環境学習を8回程度行った。あわせて、スタッフに対して研修会を実施して、スキルアップ向上を行った。</p>	

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K017	団体名	財団法人とやま環境財団
連絡先 (電話／メール)	076-431-4607	活動ホームページ (URL)	http://www.tkz.or.jp
対象分野	地球温暖化防止		
事業・プロジェクト名	地球温暖化防止活動推進事業		
寄附額合計	¥301,803		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,413	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(使途)この度ご寄附いただいた34,413円と当財団の資金を合わせ、次代を担う子供たちの環境教材として、エコワット(※1)と温湿度計(※2)を県内小学校8小学校に配布しました。 今後、配布校を増やし、家庭からのCO2削減につなげていきます。</p> <p>(効果)富山県が実施している「とやま環境チャレンジ10事業」(※3)を実施する小学校が毎年60校を超え、この事業が定着するようになりました。</p> <p>※1 コンセントにつなぐだけで、電気料金、使用電力量及びCO2排出量がわかる電力量表示器 ※2 温湿度を表示することにより、最適な空調管理を可能にすることができる温湿度計 ※3 10歳の児童が、地球温暖化問題を学び、家族とともに、家庭における10の目標を定め、10週間実施し、自己評価し家庭における温暖化防止への取り組みの推進を図ることを目的とした事業</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥101,258	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2011年度(23年5月～24年4月)</p> <p>・(概要)この度ご寄附いただいた44,656円と当法人の資金を合わせ、次代を担う子供たちの環境教材としてエコワット(※1)温室と時計(※2)を県内小学校210校に配布しました。 今後、配布教材を増やし、家庭からのCO2削減に繋げていきます。</p> <p>・(効果)富山県が実施している「とやま環境チャレンジ10事業」(※3)に取り組む小学校が毎年60校を超え、この事業が定着するようになりました。</p> <p>※1 コンセントに繋ぐだけで、電気料金、使用電力量及びの排出量がわかる電力表示器 ※2 温湿度を表示することにより、最適な空調管理を可能にすることができる温湿度計 ※3 10歳の児童が地球温暖化問題を学び、家族とともに家庭における10の取組み目標を定め、それを10週間取り組んで自己評価し、家庭における温暖化防止への取り組みの推進を図ることを目的とした事業</p> <p>2012年度(24年5月～9月)</p> <p>・(概要)当法人では、毎年、県民の環境意識の高揚を図るため「とやま環境フェア」を開催しています。 環境教育は、小さい頃からの意識付けが大切だと思っておりますが、親子で環境に配慮したライフスタイルを学ぶため出来るだけ多くのブースを回っていただく仕組みづくりとして、環境スタンプラリーや体験発電機材を設置し、お子さんを含め出来るだけ多くの県民に会場にいらしていただく工夫をしました。</p> <p>・(使途)この度ご寄附いただきました56,602円は当法人の資金を合わせ、スタンプラリーの景品代362,624円及び体験発電機材300,000円に充当させていただきました。</p> <p>・(効果)環境フェアは、10月20～21日の2日間開催しましたが、出展された企業からも好評を得ましたし、何気なく使っている電気も容易く作れないということをお子さんに十分学んでいただけたと思っています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥65,912	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2012年度(24年5月～25年3月)</p> <p>(概要)当法人では、毎年、県民の環境意識の高揚を図るため「とやま環境フェア」を開催しています。環境教育は、小さい頃からの意識付けが大切だと思っておりますが、親子で環境に配慮したライフスタイルを学ぶため出来るだけ多くのブースを回っていただく仕組みづくりとして、環境スタンプラリーや人力発電体験遊具を設置し、お子さんを含め出来るだけ多くの県民に会場にいらしていただく工夫をしました。また、県内の10歳の児童(小学4年生)を対象に地球温暖化問題を学び、家族とともに対策を実践する事業を通じ環境に配慮したライフスタイルを推進する「とやま環境チャレンジ10事業」を実施しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただきました65,912円のうち、24年度分の16,966円は、「とやま環境フェア」の際の人力発電体験遊具レンタル料300,000円の一部、また、10,411円は、「とやま環境チャレンジ10事業」の報告書印刷経費の一部として充当させていただきました。</p> <p>(効果)環境フェアは、10月19～20日の2日間開催しましたが、出展された企業からも好評を得ましたし、何気なく使っている電気も容易く作れないということをお子さんに十分学んでいただけたと思っています。また、「とやま環境チャレンジ10事業」は、児童はもとより、家族の間にも地球温暖化抑制等の意識が醸成されたと考えています。</p> <p>2013年度(平成25年4月)</p> <p>・25年度分としてご寄附いただきました38,535円は、10月19日、20日に開催した「とやま環境フェア2013」の際の人力発電体験遊具レンタル料200,000円の一部に充当しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥23,717	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)県民の環境意識の高揚を図るため、毎年「とやま環境フェア」を開催しており、親子で来場し、体験してもらうため、環境スタンプラリーや人力発電体験遊具を設置しました。 また、10歳の児童(小学4年生)や就学前の幼児を対象に、地球温暖化問題を学び、家族とともに実践する、「とやま環境チャレンジ10事業」と「はじめてのエコライフ教室」を実施しています。</p> <p>(使途)この度のご寄附のうち、5,845円は環境フェアの人力発電体験遊具レンタル料の一部に、3,667円は環境チャレンジ10事業の報告書印刷経費の一部に、14,205円ははじめてのエコライフ教室の工作材料代の一部に充当しました。</p> <p>(効果)環境フェアでは、小さなお子さんに十分学んでもらえ、環境チャレンジ10事業とはじめてのエコライフ事業では、児童、幼児はもとより、家族の間にも地球温暖化抑制等の意識が醸成されたと考えています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥76,503	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)県民の環境意識の高揚を図るため、毎年「とやま環境フェア」を開催しており、親子で来場し、体験していただくため、おもちゃのかえっこパズルを企画運営しました。 また、10歳の児童(小学4年生)や就学前の幼児を対象に、地球温暖化問題を学び、家族とともに実践する、「とやま環境チャレンジ10事業」と「はじめてのエコライフ事業」を実施しています。</p> <p>(使途)27,422円はかえっこパズルのオークション用おもちゃや備品の購入費用の一部に、16,416円は「とやま環境チャレンジ10事業」における環境教材購入やパンフレット作製の一部に、32,665円は「はじめてのエコライフ教室」における募集チラシの作製や事務用品の購入の一部に充当しました。</p> <p>(効果)環境フェアでは小さなお子さんにモノの大切さを学んでいただき、「環境チャレンジ10事業」や「はじめてのエコライフ教室」では、家族の間で地球温暖化抑制等の意識が醸成されました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K018	団体名	NPO地域づくり工房
連絡先 (電話／メール)	0261-22-7601	活動ホームページ (URL)	http://npo.omachi.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	ぐるぐるエコプロジェクト ～市民によるミニ水力発電普及活動～		
寄附額合計	¥342,024		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,670	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)市民によるミニ水力発電の普及と啓発をすすめます。日本では大きな可能性がありながらミニ水力発電の普及はすすんでいません。本会は、全国に先駆けて長野県大町市内に3ヶ所のミニ水力発電所を開設・運営し、この分野で先駆的な役割を果たしてきました。住宅エコポイント寄附を利用して次世代への普及啓発に活かすとともに、寄附金額によっては新たなミニ水力発電所を増設し、「メッカ」としての発信力を高めていきます。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた32,670円と本会の自己資金を併せまして、(1)見学者向けのパンフレット(A4判、2,000冊)とp解説パネル(アルミ板にて制作、計5枚)の整備、(2)見学コース(3ヶ所)の安全対策、(3)ミニ水力発電実践講座の開催(H24.11.23)とそのテキストの整備などに使わせていただきました。</p> <p>(効果)ミニ水力発電に対する関心が高まる中で、本会の取り組みに学ぶエコツアーの来訪者が増えています。これまで、現地での解説用ポスターは紙で作成していたため、劣化が早く、見にくいものとなっていました。前年度本寄附により整備させていただいたパンフレットとともに、有効に利用させていただいています。また、実践講座も好評で定員を大きく上回る受講生があり、来年度以降も実施していく計画です。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥97,608	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)市民によるミニ水力発電の普及と啓発をすすめます。日本では大きな可能性がありながらミニ水力発電の普及はすすんでいません。本会は、全国に先駆けて長野県大町市内に3ヶ所のミニ水力発電所を開設・運営し、この分野で先駆的な役割を果たしてきました。エコポイント寄附を利用して次世代への普及啓発に活かすとともに、寄附金額によっては新たなミニ水力発電所を増設し、「メッカ」としての発信力を高めていきます。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた97,608円と本会の自己資金を併せまして、これからミニ水力発電に挑戦してみたいという方々を対象とした講座「ミニ水力発電実践講座」(平成25年1月20日、松本市)を開催するとともに、そのテキストを土台に、冊子『ミニ水力発電実践講座』(4000部、68頁)を刊行しました。</p> <p>(効果)ミニ水力発電への関心は高まっているものの、制度的な障壁の高さやノウハウの少なさなどから、実践は広がっていません。そこで本会の10年間の実践蓄積を発信することで、こうした関心に具体的に答えることができました。講座には、定員(40名)に対して120名余の申し込みがあり、72名が超満員の会場で受講しました。冊子は、今後関係方面に紹介しながら、こうした講座活動などに活かしていきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥80,761	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)市民によるミニ水力発電の普及と啓発をすすめます。日本では大きな可能性がありながらミニ水力発電の普及はすすんでいません。本会は、全国に先駆けて長野県大町市内に3ヶ所のミニ水力発電所を開設・運営し、この分野で先駆的な役割を果たしてきました。エコポイント寄附を利用して次世代への普及啓発に活かすとともに、寄附金額によっては新たなミニ水力発電所を増設し、「メッカ」としての発信力を高めていきます。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた80,761円と本会の自己資金を併せまして、これからミニ水力発電に挑戦してみたいという方々を対象とした講座「ミニ水力発電実践講座」を立ちあげ、回を重ねています。</p> <p>(効果)ミニ水力発電への関心は高まっているものの、制度的な障壁の高さやノウハウの少なさなどから、実践は広がっていません。そこで本会の10年間の実践蓄積を発信することで、こうした関心に具体的に答えています。こうした活動が評価され、平成25年度は日本水大賞「未来開拓賞」と地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,617	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)本会では全国に先駆けて2003年よりミニ水力発電の普及活動を立ち上げ、全国各地から視察やエコツアーを受入れてきました(年間600～1300人)。エコポイントによりいただいたご寄附は、子ども向けの環境学習としてミニ水力発電の仕組みや意義、可能性について、わかりやすく解説し、体験できる環境学習活動の経費として使わせていただいている。</p> <p>(使途)今年度の寄附金(総額19,617円)に、本会の自己資金を足して、エコツアーの解説資料の増刷に使わせていただきました。</p> <p>(効果)解説資料は「夏休みの宿題にも使える」と好評です。また、本会としても、増刷したことで、今後の持続的なプログラムの実施に有効に使わせていただく所存です。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥111,368	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)市民によるミニ水力発電の普及と啓発をすすめます。日本では大きな可能性がありながらミニ水力発電の普及はすすんでいません。本会は、全国に先駆けて長野県大町市内に3ヶ所のミニ水力発電所を開設・運営し、この分野で先駆的な役割を果たしてきました。エコポイント寄附を利用して次世代への普及啓発に活かします。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた111,368円と本会の自己資金を併せまして、これからミニ水力発電に挑戦してみたいという方々を対象とした視察受入資料を増刷させていただきました。</p> <p>(効果)ミニ水力発電への関心は高まっているものの、制度的な障壁の高さやノウハウの少なさなどから、実践は広がっていません。そこで本会の12年間の実践蓄積を発信することで、こうした関心に具体的に答えています。こうした活動が評価され、平成26年度は、佐野市田中正造記念賞の大賞(佐野市制10周年記念特別賞)を受賞しました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K019	団体名	特定非営利活動法人南信州おひさま進歩
連絡先 (電話／メール)	0265-24-4821	活動ホームページ (URL)	http://www.ohisama-shinpo.or.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	市民共同のおひさま発電所設置事業		
寄附額合計	¥379,055		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,870	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、意志ある全国市民が普及に対して気軽に参加できるような更なる仕組づくりが課題であると考え、全国の市民から出資や寄附によってお金を集め、8人ほどのスタッフで長野県南信州地域を中心に「市民共同おひさま発電所」として太陽光発電システムを設置する事業をしています。</p> <p>(使途)今回いただきました30,870円のご寄附は、2011年12月に飯田市の野底山公園に設置した太陽光発電システム5KWの設置費の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)設置された施設では、太陽光発電で発電される電気の一部が使われるようになりました。そして、本施設は太陽光発電がよく見える位置にあり、南信州おひさま発電所として看板も見えるように設置しました。今後イベントなどもやっていながら、環境学習の場として使っていきたいと考えています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥105,770	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、意志ある全国市民が普及に対して気軽に参加できるような更なる仕組づくりが課題であると考え、全国の市民から出資や寄附によってお金を集め、8人ほどのスタッフで長野県南信州地域を中心に「市民共同おひさま発電所」として太陽光発電システムを設置する事業をしています。</p> <p>(使途)今回いただきました105,770円のご寄附は、2012年8月に喬木村のAコープ喬木店に設置した太陽光発電システム10KWの設置費の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)設置された施設では、太陽光発電で発電される電気の一部が使われるようになります。そして、本施設は地域に親しまれたJAなので施設が多くの人目に見られます。設置と共に、南信州おひさま発電所として看板も見えるように設置しています。今後イベントなどもやっていながら、環境啓発の場として使っていきたいと考えています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥125,761	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、意志ある全国市民が普及に対して気軽に参加できるような更なる仕組づくりが課題であると考え、全国の市民から出資や寄附によってお金を集め、8人ほどのスタッフで長野県南信州地域を中心に「市民共同おひさま発電所」として太陽光発電システムを設置する事業をしています。</p> <p>(使途)今回いただきました125,761円のご寄附は、2013年12月に伊賀良公民館に設置した太陽光発電システム10KWの設置費の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)設置された施設では、太陽光発電で発電される電気の一部が使われるようになります。そして、本施設は地域に親しまれた公民館なので多くの人の目に見られます。設置と共に、我々のキャラクターであるさんぼちゃんを使った看板も見えるように設置しています。今後イベントなどもやっていながら、環境啓発の場として使っていきたいと考えています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥29,567	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、意志ある全国市民が普及に対して気軽に参加できるような更なる仕組づくりが課題であると考え、全国の市民から出資や寄附によってお金を集め、8人ほどのスタッフで長野県南信州地域を中心に「市民共同おひさま発電所」として太陽光発電システムを設置する事業をしています。</p> <p>(使途)今回いただきました29,567円のご寄附は、2015年3月に子供の園保育園に設置した太陽光発電システム9.50KWの設置費の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)設置された施設では、太陽光発電で発電される電気の一部が使われるようになります。そして、本施設は保育園なので子供と御父兄や職員といった多くの人の目に見られます。設置と共に、我々のキャラクターであるさんぼちゃんを使った看板も見えるように設置しています。今後イベントなどもやっていながら、環境啓発の場として使っていきたいと考えています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥87,087	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)環境寄附金は、おひさま発電所として太陽光発電システムを保育園や公共施設、民間施設へ設置する資金の一部や、設置先での環境教育に活用させていただきます。</p> <p>(使途)今回いただきました87,087円のご寄附は、2015年6月に久米会館に設置した太陽光発電システム32.80KWの設置費の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)設置された施設では、隣接する保育園児も参加し当団体のキャラクターであるさんぼちゃんと「点灯式」を行い、終了後には太陽光発電の自立運転コンセンートの講習会も行いました。地域に親しまれ避難所にもなる施設ですので、これから非常時の防災用電源としても太陽光の電気を活用していただき、環境啓発と防災拠点として使っていきたいと考えています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K020	団体名	特定非営利活動法人いびがわみずみずエコステーション
連絡先 (電話／メール)	090-8950-2493	活動ホームページ (URL)	https://www.facebook.com/ibigawamizueco
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	西濃環境NPOネットワーク ギフ・エコライフ推進プロジェクト		
寄附額合計	¥220,013		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥36,178	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ぎふ・エコライフ推進プロジェクトでは、岐阜県内8市12町852の協力店舗におけるレジ袋辞退、マイバッグ持参、割り箸辞退、マイ箸持参、トレイ辞退、マイバック持参、フェアトレード商品購入、ドギーバッグ持参などの環境行動や、120の賛同団体などが行う環境行動への参加をポイント制にし、100ポイント貯まると、植樹やエコグッズと交換できるシステムを構築しています。</p> <p>皆様からいただいた36,178円は、植樹における苗木購入代金とさせていただきます。植樹には、個人で参加される方だけでなく、学校や企業ぐるみでポイントを貯めて参加くださる団体もあります。</p> <p>おかげで平成22年4月～23年3月までに837本を植樹することができ、スタート時からの合計は4,445本となりました。これからも、さらに多くの地域住民の方に環境への関心を高めさせていただくことができるよう、活動に取り組んでいきたいと思ひます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥93,055	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ぎふ・エコライフ推進プロジェクトでは、岐阜県内8市12町850の協力店舗におけるレジ袋辞退、マイバッグ持参、割り箸辞退、マイ箸持参、トレイ辞退、マイバック持参、フェアトレード商品購入、ドギーバッグ持参などの環境行動や、120の賛同団体などが行う環境行動への参加をポイント制にし、100ポイント貯まると、植樹やエコグッズと交換できるシステムを構築しています。</p> <p>皆様からいただいた93,055円は、植樹における苗木購入代金とさせていただきます。植樹には、個人で参加される方だけでなく、学校や企業ぐるみでポイントを貯めて参加くださる団体もあります。</p> <p>おかげで平成23年4月～24年3月までに991本を植樹することができ、スタート時からの合計は5,436本となりました。これからも、さらに多くの地域住民の方に環境への関心を高めさせていただくことができるよう、活動に取り組んでいきたいと思ひます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥59,561	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ぎふ・エコライフ推進プロジェクトでは、岐阜県内8市12町850の協力店舗におけるレジ袋辞退、マイバッグ持参、割り箸辞退、マイ箸持参、トレイ辞退、マイバック持参、フェアトレード商品購入、ドギーバッグ持参などの環境行動や、120の賛同団体などが行う環境行動への参加をポイント制にし、100ポイント貯まると植樹やエコグッズと交換できるシステムを構築しています。</p> <p>皆さまからいただいた、59,561円は、苗木購入などの植樹経費とさせていただきます。</p> <p>おかげさまで期間中100本が植樹でき、スタート時からの合計は6,056本となりました。これからも、さらに多くの地域住民の方に環境への関心を高めさせていただくことができるよう、取り組んでいきたいと思ひます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,852	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ぎふ・エコライフ推進プロジェクトでは、岐阜県内8市12町850の協力店舗におけるレジ袋辞退、マイバッグ持参、割り箸辞退、マイ箸持参、トレイ辞退、マイバック持参、フェアトレード商品購入、ドギーバッグ持参などの環境行動や、120の賛同団体などが行う環境行動への参加をポイント制にし、100ポイント貯まると植樹やエコグッズと交換できるシステムを構築しています。</p> <p>皆さまからいただいた、18,852円は、苗木購入などの植樹経費とさせていただきます。</p> <p>おかげさまで期間中44本が植樹でき、スタート時からの合計は6,100本となりました。これからも、さらに多くの地域住民の方に環境への関心を高めさせていただくことができるよう、取り組んでいきたいと思ひます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥12,367	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>西濃地域2市9町の環境に関わるNPO法人のネットワーク組織として、平成18年に西濃環境NPOネットワークを設立しました。実生活の中でマイバッグ・マイ箸などを使ってもらうことを目的に、ぎふ・エコライフ推進プロジェクトを実践してきました。こうした環境に優しい行動をイベントの中で伝えていこうとはじめたのがアースデイいびがわです。毎年10月に揖斐川町谷汲・ラーニングアーバー横蔵で開催しています。メインは地産地消を広げていくお茶漬け選手権。そのほか、子どもの体験学習講座や地産地消・フェアトレードを推進する青空市場、ステージイベント、パネル展示をしています。</p> <p>今回の寄附金は、アースデイいびがわのチラシ作成費の一部として活用されています。</p> <p>10月25日に開催したこのイベントには、2,000人の参加を得て実施しました。来年以降も開催していきますので、寄附者の皆さんにもぜひ参加していただきたいと思ひます。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K021	団体名	特定非営利活動法人気候ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	03-3263-9210	活動ホームページ (URL)	http://www.kikonet.org/support/example/fukko-jutaku
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	持続可能で低炭素な私達の未来のビジョンづくり		
寄附額合計	¥818,004		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥33,129	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化防止のために、原発に頼らず温室効果ガスの削減に向けた様々な提案を行ってきました。2050年に80%以上削減する社会とはどんな社会で、エネルギーはどうつくり、どんなライフスタイルを送っているのか、多くの人たちとともに具体的なイメージや未来社会を共有していくために研究を行ってまいりました。</p> <p>(使途)「持続可能で低炭素な私達の未来のビジョンづくり」の検討会を行い、その運営費として、33,129円を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部に充てることにより、様々な専門家などの意見を伺いながら検討を進めることができました。</p> <p>(効果)まだ調査研究を可視化するところに至っていませんが、中長期的な新しい社会像のイメージをつくり持続可能な社会像を描く基礎的情報を蓄積することができました。ご寄附をいただいた皆様ともぜひ今後の社会ビジョンを共有できたら幸いです。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,969	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2011年3月の福島原発事故をうけ、原発や気候変動・化石燃料の制約がある中で、わたしたちがどのようなエネルギーを使って、どのように暮らしていくべきなのか、未来の社会ビジョンを示す研究活動を展開しました。</p> <p>(使途)「持続可能で低炭素な私達の未来のビジョンづくり」としてまとめた成果を様々な形で多くの人たちに知ってもらうため、研究会やセミナー開催の交通費や謝金等として91,969円を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部に充てることにより、幅広く社会ビジョンを共有することができたと考えています。</p> <p>(効果)中長期的な新しい社会像のイメージをつくり持続可能な社会像を描いたレポートを数回にわけてまとめ、それを発展させる形で書籍「原発も温暖化もない未来を創る」(出版社:コモンズ 編著:平田仁子)の出版にいたりしました。今後も広く展開できたらと考えています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥53,830	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)原発や化石燃料への依存を強めてきた結果、原発事故や気候変動の甚大なりスクにさらされている。今後、巨大なりスクを回避するために、省エネや再生可能エネルギーを大幅に増やす社会ビジョンを描いていくための研究活動を展開しました。</p> <p>(使途)「持続可能で低炭素な私達の未来のビジョンづくり」としてまとめた成果を様々な形で多くの人たちに知ってもらうため、交通費等として53,830円を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部に充てることにより、幅広く社会ビジョンを共有することができたと考えています。</p> <p>(効果)中長期的な新しい社会像のイメージをつくり持続可能な社会像を描いたレポートを数回にわけてまとめ、それを発展させる形で書籍「原発も温暖化もない未来を創る」の出版やさらにセミナーやシンポジウムなどでの発表をしてきました。今後も広く展開できたらと考えています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥521,715	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>東日本大震災から4年が経過し、東京電力福島第一原子力発電所の悲惨な事故も未だ収束していない中で、日本がいかに脱原発を実施し、気候変動対策を両立させていくかという大きな課題に直面しています。日本のエネルギー政策や気候変動政策に向けた議論は遅滞として進んでいませんが、気候ネットワークでは「脱原発と気候変動対策の両立」をかかげて、「持続可能で低炭素な私たちの未来ビジョンづくり」に向けた検討を進めてきました。</p> <p>その資金には、具体的には、「持続可能で低炭素な私達の未来のビジョンづくり」の検討をすすめ、その運営経費として旅費に10万円弱、2月のシンポジウム資料印刷代で約43万円等を充てることにより、様々な専門家などの意見を伺いながら検討を進めることができました。</p> <p>今後も引き続き多くの人たちとこの議論を共有し、具体的な対策に繋げていくために提言していく予定です。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥117,361	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では「持続可能で低炭素な私たちの未来ビジョンづくり」を行ってきました。2050年に温室効果ガスを80%以上削減する社会とはどんな社会で、エネルギーはどうつくり、どんなライフスタイルを送っているのか、多くの人たちとともに具体的なイメージや未来社会を共有しています。</p> <p>(使途)その資金として、復興・住宅エコポイント制度の環境寄附を活用させていただいています。今回は2040年に再エネ100%を目指す福島のひととともに「ふくしまエネルギーヴェンデ」と題したシンポジウムを開催し、その運営経費の一部(旅費、資料印刷代等)に充てることにより、地域に密着して活動する人たちとともに検討を進めました。</p> <p>(効果)エネルギー大量消費社会から持続可能なエネルギーシステムに大転換するために、世代間・地域間の壁を乗り越えて情報を共有しながら新しい社会のあり方を考えていくことができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K022	団体名	特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド
連絡先 (電話／メール)	075-352-9150	活動ホームページ (URL)	http://www.kyoto-gf.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	市民共同発電所づくりで広げる自然エネルギー		
寄附額合計	¥236,499		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,169	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 次の世代を担う子どもたちに自然エネルギーを大切に使う未来を手渡したいと、幼稚園や保育園に市民参加で太陽光発電設備「おひさま発電所」をつくり、環境学習を進めています。2011年3月までに15ヶ所のおひさま発電所を設置しました。</p> <p>(使途) 今回のご寄附はきょうとグリーンファンド「おひさま基金」に繰り入れ、「自然幼稚園おひさま発電所プロジェクト」(おひさま発電所15号機)の資金の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果) 2011年3月3日に完成し、点灯式の費用の一部とさせていただきます。今後も、持続可能な社会の実現に向けて、自然エネルギー普及活動と環境学習に取り組んでいきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥99,257	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 次の世代を担う子どもたちに自然エネルギーを大切に使う未来を手渡したいと、幼稚園や保育園に市民参加で太陽光発電設備「おひさま発電所」をつくり、環境学習を進めています。16ヶ所のおひさま発電所を設置しました。</p> <p>(使途) 2011、2012年度35回実施した保育園・幼稚園での環境学習の費用の一部として全額(99,257円)使わせていただきました。実施した環境学習は、腹話術、自然観察会、見学会で、内訳は、講師謝礼、資料作成経費、会場費です。</p> <p>(効果) 既設おひさま発電所での環境学習は、職員の意識改革に焦点を当て、施設自らの工夫を促した結果、「見ないテレビのスイッチは消す」など、幼児の具体的な行動に結びついており、多くのエコな子どもたちが育っています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥63,259	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 次の世代を担う子どもたちに自然エネルギーを大切に使う未来を手渡したいと、幼稚園や保育園に市民参加で太陽光発電設備「おひさま発電所」をつくり、環境学習を進めています。16ヶ所のおひさま発電所を設置しました。</p> <p>(使途) 2012、2013年度21回実施した保育園・幼稚園での環境学習の費用の一部として全額(63,259円)使わせていただきました。実施した環境学習は、腹話術、自然観察会、見学会などで、新しい試みとして、既設おひさま発電所同士の情報交換を目的としたエコ会議を開催しました。費用の内訳は、講師謝礼、資料作成経費、会場費です。</p> <p>(効果) 既設おひさま発電所での環境学習は、職員の意識改革に焦点を当て、施設自らの工夫を促した結果、「見ないテレビのスイッチは消す」など、幼児の具体的な行動に結びついており、多くのエコな子どもたちが育っています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,953	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 次の世代を担う子どもたちに自然エネルギーを大切に使う未来を手渡したいと、幼稚園や保育園に市民参加で太陽光発電設備「おひさま発電所」をつくり、環境学習を進めています。17ヶ所のおひさま発電所を設置しました。</p> <p>(使途) 2014年8月に、17カ所目となるおひさま発電所を城陽市立久世保育園に設置しました。8月29日に実施した点灯式の費用の一部として全額(19,953円)使わせていただきました。費用の内訳は、講師謝礼等の一部です。</p> <p>(効果) 点灯式では園児対象に環境腹話術、大人対象には施設見学なども行い、ただ完成を祝うだけでなく、おひさま発電所への理解と地球温暖化防止について考えるよい機会となりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥19,861	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 次の世代を担う子どもたちに自然エネルギーを大切に使う未来を手渡したいと、幼稚園や保育園に市民参加で太陽光発電設備「おひさま発電所」をつくり、環境学習を進めています。18ヶ所のおひさま発電所を設置しました。</p> <p>(使途) 2014年度と15年度で27回実施した保育園・幼稚園での環境学習の費用の一部として全額(19,861円)支出しました。実施した環境学習は、腹話術、自然観察会、見学会などで、新しい環境学習プログラムとして職員向け省エネワークショップを企画、実施しました。費用の内訳は、講師謝礼、資料作成経費、会場費です。</p> <p>(効果) 新しい環境学習プログラムでは、職員の意識改革に焦点を当て、自ら施設の省エネについて考え、行動することを目的に、省エネワークショップ～めざせ！省エネ！エコ保育園！～を実施しました。施設の省エネ、ごみ減量などまだまだ取り組めることに自ら気づき、今後も継続して取り組むきっかけとなりました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K023	団体名	特定非営利活動法人大阪府民環境会議
連絡先 (電話／メール)	06-7172-7016	活動ホームページ (URL)	http://www.npo-open.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	地球をクールに！「現場で学ぶ」地球温暖化		
寄附額合計	¥239,160		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥37,392	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、地球温暖化防止の取組を「地球をクールに！」という呼びかけの下で行っている。多くの人が地球温暖化防止の活動を身近に捉え、行動するために参加・体験型の「現場での学び」に取り組んでおり、平成22年度はごみ減量の現場で学ぶ活動として、大阪市内の2区の区民祭でのごみ(資源)分別を実施し、来場者とブース出展者(74,000人)に分別体験をしてもらった。また、リーダー向きには分別の先進地、志布志市(鹿児島)を訪ねるツアーを行った。</p> <p>(使途)寄附金37,392円は区民祭ごみ分別及び志布志市ツアーの情報発信費(Web発信作業費)に充てた。</p> <p>(効果)ごみ分別の良さを体験した区民祭の主催者がその後も「ごみ分別」を継続することとなった。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,519	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、地球温暖化防止の取組を「地球をクールに！」という呼びかけの下、行っている。多くの人が地球温暖化防止の活動を身近に捉え、行動するために参加・体験型の「現場での学び」に取り組んでおり、平成23年度は地域(大阪市内)のごみ減量の現場で学ぶ活動として、大阪市内の2区の区民祭でのごみ(資源)分別を実施した。</p> <p>(使途)寄附金95,519円の内、60,000円は区民祭ごみ分別の情報発信費(Web発信作業費)年間60,000円に充当し、残り35,519円は、区民祭での資源分別活動50,000円の一部として活用した。</p> <p>◆区民祭分別に使用のごみ箱、ポリ袋等は主催者が準備するが、そのような準備物についてのアドバイスも含め、準備から実施後の業者による資源の回収に至る、すべての工程に関する主催者および業者との打ち合わせが10回に及んだ。それら連絡調整に係る手当@5000×10回の内、35,519円をエコポイント寄附金から充当した。</p> <p>調整内容:(1)実施日時・開催規模の確認。担当者の紹介も含め、3名で対応(2)資源回収業者へ開催日時の連絡 (3)主催者が確保できるボランティアの人数確認(4)不足分のボランティア集め(協力呼びかけ)(4)主催者と実施要領について検討(5)区民祭実行委員会(参加団体全集合)でごみの資源化の意義と手法について説明。2名で対応(6)ファンウェイびんでの飲料販売団体にリサイクル可能な容器への変更をお願い(7)会場への車両進入の要領、車両侵入許可証を業者に連絡・郵送(8)生ごみ計量用電子はかりを業者から預かる(9)区民祭当日に全ブースを回り、資源化の協力および資源取扱いルールに関するチラシを配布。トラブルへの対応。業者引取りまでの資源の管理(10)資源化量を各業者から連絡を受け、集約し、主催者に伝える。</p> <p>実際には2ヶ月後の実行委員会反省会で資源化取組をとりまとめた報告書を配布し、説明を行っている。 このようなとりまとめはWebで発信しているため、以下のような取り組みに拡がった。</p> <p>(効果)Web上で分別の効果を知った都島区から平成24年度区民まつりでのごみ分別(試行)への協力依頼があった。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥70,159	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化防止の活動を身近に捉え、行動するために参加・体験型の「現場での学び」に取り組んでおり、平成24年度は地域(大阪市内)のごみ減量を現場で学ぶ活動として、大阪市内の2区の区民祭でのごみ(資源)分別を実施した。23年度実施した2区の内、1区は自律的に資源回収ができるようになったため、24年度から新たに都島区民祭りでの分別支援を行った。</p> <p>(使途)寄附金70,159円の内、60,000円は区民祭りごみ分別の情報発信費(Web発信作業費)年間60,000円に充当し、残り10,159円は、区民祭での資源分別活動費60,000円の一部として活用した。</p> <p>(効果)新たに平成25年度港区民祭りでの分別への支援依頼があった。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,230	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化防止の活動を身近に捉え、行動するために参加・体験型の「現場での学び」に取り組んでおり、平成25年度は地域(大阪市内)のごみ減量を現場で学ぶ活動として、大阪市天王寺区および港区の区民祭でのごみ(資源)分別支援を行った。特に港区は資源分別については初めての取組みであった。そこで排出者責任の原則に則り、主催者による分別システムの構築を助言し、市民活動で蓄積されたノウハウを提供した。イベント当日とその1ヶ月後に情報収集を行ったところ、関係者の連携の下、スムーズな運営がなされたことが確認できた。</p> <p>(使途)寄附金21,230円は区民祭りごみ分別の情報発信費(Web発信作業費)に充当した。</p> <p>(効果)他の区でも、ゴミゼロリーダーの役割として実施されたり、参加者の分別意識が高まった。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥14,860		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)フェイスブックを活用した動画配信を開始しました。大阪は川のまち。しかし、身近に水辺を親しむことはほとんどなくなりました。温暖化による動植物への影響はどうか、淀川べりの干潟を住処とする野鳥や魚の数や種類、植物などについて、四季折々に撮影します。現在2か所の干潟を撮影編集しました。河口付近から琵琶湖へ続く合流箇所まで遡上していく予定です。また、「地域で進めるごみ減量」活動では、大都会では「分ければ資源」として古紙や古着など資源物を集団回収の拡大版とし、事業組合や行政と連携して支援することで、お金の流れの仕組みを考えていきます。</p> <p>(使途)いただいた寄附金14,860円は、HP等の情報発信費(撮影編集受講費およびweb 発信作業費)に充当いたしました。</p> <p>(効果)動画撮影・編集が自前で行えるようになりました。情報を見たFM箕面からインタビューが放送され、さらなる情報発信ができました。ぜひHPをご覧ください。(http://www.npo-open.org/)</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K024	団体名	社団法人大阪南太平洋協会
連絡先 (電話／メール)	06-6376-1151	活動ホームページ (URL)	http://www.aspa-osaka.com
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	小規模クリーンエネルギー供給装置援助及びエコ住宅建設指導事業		
寄附額合計	¥207,260		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,169	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)1997年、バブアニューギニアアイタペ津波被災地へ救援隊派遣後、活動拠点のソウム村(約300人)にボランティア行動隊を派遣し、クリーンエネルギー供給装置設置・地産地消を温暖化防止の重点と捉え、現地材を使った自作住宅建築の指導を行っています。</p> <p>(使途)この度のご寄附、31,169円は若者育成事業として2011年10月15日に派遣した第10次バブアニューギニアソウム村支援行動隊(専門家及び技師等計5名)の自作住宅建設指導に要する資材費用の一部に充当させていただき、村内住宅の補修工事を実践指導いたしました。</p> <p>(効果)青年達は家作りが大好きで、傾きかけた古い住宅の補修工事を派遣した日本の技師と協力し合い、正確な大工技術を習得しました。来年度も事業を継続していき、村内約50世帯に電灯供給可能な太陽光パネル調達を検討する予定です。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,757	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)1997年、バブアニューギニアアイタペ津波被災地へ救援隊派遣後、活動拠点のソウム村(約300人)にボランティア行動隊を派遣し、クリーンエネルギー供給装置設置・地産地消を温暖化防止の重点課題と捉え、現地材を使った自作住宅建築の指導を行っています。</p> <p>(使途)この度のご寄附、90,757円は若者育成事業として2012年9月15日に派遣した第11次PNGソウム村支援行動隊(専門家及び技師等計7名、女子高生1名)の自作住宅建設指導に要する資材費用の一部及び日本女子学生渡航費の一部に充当させていただき、前年に続き住宅設計図(立面・断面)指導を行いました。</p> <p>(効果)昨年に引き続き青年8名と新たに2名計10名が製図を完成させた。次年度はその製図を基に「ドリームハウス」建築に着手予定です。また若者達はみんな英語が話せるので、簡単な日本語習得により日本の技師との意思疎通が密になりました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥57,259	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)1997年、バブアニューギニアアイタペ津波被災地へ救援隊派遣後、活動拠点のソウム村(約300人)にボランティア行動隊を派遣し、小型太陽光・風力クリーンエネルギー供給装置設置・地産地消を温暖化防止の重点課題と捉え、現地材を使った自作コミュニティハウス(集会所)建築の指導を行っています。また今年度から、炭プロジェクトとして、環境保全、CO2排出削減に一助となる自作エコ燃料としての炭の活用を実践指導をしています。</p> <p>(使途)この度のご寄附、57,259円は、若者育成事業として2013年9月14日に派遣した第12次PNGソウム村支援行動隊(専門家及び技師等計6名)の自作住宅建設指導及び炭焼窯製造に要する資材費用の一部として活用させていただきました。ソウム村では前年に続き、住宅設計指導を行い、加えて本年はソウム村とパラマナ村にて炭焼指導を行いました。</p> <p>(効果)昨年度に引き続き、「ドリームハウス」詳細図をソウム村の若者10名が完成させました。またドラム缶炭焼指導は、パラマナ村の村人約40名が2日間で2連窯製造、炭焼実働4回、ソウム村では約20名が1連窯製造、炭焼4回実働しました。両村の女性達は放置材が燃料となり、浄水効果とまた煙のない調理となるこの炭活用指導は、大歓迎されました。帰国後、駐日ガブリエル大使に報告したところ、バブアニューギニア全土にドラム缶炭焼工法を広めてほしいとの要請があり、来年度も継続することとなっています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,715	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)1997年、バブアニューギニアアイタペ津波被災地へ救援隊派遣後、毎年近隣の無電化村ソウム(約300人)を拠点にボランティア活動を実施しています。小型太陽光・風力クリーンエネルギー供給装置設置・地産地消を温暖化防止の重点課題と捉え、現地材使用の自作コミュニティハウス(集会所)の建築指導を若者に行い、また2年前から、環境保全、CO2排出削減に一助となる炭プロジェクト・自作エコ燃料炭の製造指導をしています。</p> <p>(使途)この度の寄附17,715円は、電動工具使用時に要する変圧器(¥16,608-)及び建築部材の一部購入費(¥1,107-)として活用させていただきました。</p> <p>(効果)村の若者が大工として収入を得ることができ、車両整備指導と炭焼きマイスター育成の結果、2名が炭焼きマイスターに合格し、放置ドラム缶の再利用、ゴミとなっていたヤシガラ等を資材とするリサイクル廃棄物対策が村で可能となりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥10,360	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)バブアニューギニアの無電化村ソウム(約300人)を拠点に自立支援ボランティア活動を実施している。クリーンエネルギー供給装置設置・地産地消を温暖化防止の重点課題と捉え、現地材使用の自作コミュニティハウスの建築指導及び環境保全、CO2排出削減に一助となる炭プロジェクト・自作エコ燃料炭の製造指導を実施している。</p> <p>(使途)この度の寄附10,360円は、調査研究費として、PNG出身若手研究者2人(阪大准教授クラ氏:14年出身村パラマナにて村人に炭焼き指導済、岡大研究助手ワリ氏:炭焼きマイスター3級取得者)の交通費(PNG駐日大使より招聘された独立40周年記念祝賀会出席し、広報活動に従事)、また現地ボイケンダグア政府との通信費として活用しました。</p> <p>(効果)駐日大使や若手在住太平洋島嶼国出身者から事業拡充のサポートを常時得られており、次回事業実施時には、地域政府と炭焼きワークショップを開催する。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K025	団体名	特定非営利活動法人摂津市人材サポート・ビューロー
連絡先 (電話／メール)	06-6388-3409	活動ホームページ (URL)	http://www.npo-ssb.com
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	摂津エコアクション(暮らしを見直そう)		
寄附額合計	¥200,857		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,768	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(使途)東日本大震災の影響もあり市民は省エネ、節電の意識が高まり、みどりのカーテン、ゴーヤ植栽は500本でした。半年間の生育期間を経て収穫祭の後、食育講座の開催しました。調味料と材料費に使わせて頂きました。</p> <p>(効果)全体を通して各家庭にもゴーヤを植えてみよう、育ててみよう、食べてみようが普及しました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,756	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>緑のカーテン作りと並行して教育機関で省エネ対策として研修会の開催、市内小学校10校で開催しました。</p> <p>費用は人件費が含み80,000円でゴーヤの肥料代15,000円になりました。</p> <p>成果としては、緑のカーテンを作成することで、温暖化防止の取り組みの一環としてクーラーの温度設定がさがるなど節電効果がありました。寄附をいただいた金額は全て使わせていただきました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥52,758	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ゴーヤの苗2000本を各家庭、各公共施設に植栽し、みどりのカーテンを作成し温暖化防止の一環として取組み、収穫祭の後、食育講座を開催しました。</p> <p>調味料と材料費に全て寄附していただいたお金を使わせていただきました。</p> <p>効果は全体を通してゴーヤを植えてみよう、育ててみよう、食べてみようが普及し大好評でした。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,715	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>25年5月10日より、緑のカーテン用ゴーヤ2000株植栽した。小学校5校、公共施設8ヶ所に対して、腐葉土代50袋分16,000円、肥料代24袋3,168円。合計19,168円の一部として、ご寄附いただいた17,715円を全額使用させていただきました。</p> <p>効果は小学校のゴーヤ植栽に協力してくださった学校では給食にゴーヤを調理してみんなでたべた学校もありました。市役所をはじめ公共施設では全体にグリーンカーテンの設置した場所としないところでは概ね室温が2度の差がありゴーヤのグリーンカーテンとしての効果は十分あったと言う声を聞いています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,860	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成26年5月振込分から平成27年7月振込分の合計7,860円は、平成27年5月10日から摂津市内の公共施設での地球温暖化対策の一環とした「グリーンカーテン」づくりで約1000本分のゴーヤの苗を提供した際の追加肥料(肥料プロトリーフ、200g×50袋分)の代金に使わせていただきました。</p> <p>公共施設における室内で体感温度はグリーンカーテンを設置した場所としない場所の温度差は-2度～-3度にもなり、温暖化対策の効果は確実に現れました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K026	団体名	特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議
連絡先 (電話／メール)	072-847-2286	活動ホームページ (URL)	http://hirakata-kankyoutai.net/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	枚方市地球温暖化対策事業		
寄附額合計	¥198,863		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,474	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では3年前から“環境に負荷をかけない暮らしは、市民の持続的かつ豊かな社会の形成に繋がる”との思いで、地球温暖化対策事業に取り組んでいます。その一つとして市民に対し、地球温暖化対策に取り組むことの大切さの気づきの機会や、温暖化対策行動についての情報提供を行うことを目的に、ひらかたエコチェックDAYを行い、チェックシートを5万枚配布し約1万2千枚を回収することが出来ました。</p> <p>(使途)今年度頂いた寄附金はチェックシート回収費用(59,985円)の一部に使わせて頂きました。</p> <p>(効果)経年と共に参加者が増え、喜んでいるのですが、それに伴い回収費用もかさんでいましたが、寄附金をいただいたおかげで、費用面の心配が軽減されました。回収シートから、温暖化や、エネルギーに対する意識が進んだことがうかがえました。引き続き温暖化対策事業に取り組み、CO2排出抑制行動へと繋げていける手ごたえを感じることが出来ました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,056	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は大阪府枚方市において2009年から、一人一人から取り組む温暖化対策として「ひらかたエコチェックDAY」を実施しています。日常の行動をチェックすることで温暖化対策行動につなげていこうと「エコチェックシート」を市内全域に5万枚配布しています。</p> <p>(使途)頂いた寄附金はエコチェックシートの回収費用(70,109円:エコチェックシートは、料金後納郵便として当法人の負担、総回収数の内郵送によるもの1,078枚分)及びエコチェックDAY中間結果報告会(エコフォーラムにて実施)の開催費用の一部に使わせていただき全額執行しました。</p> <p>(効果)H24年度の回収枚数は9,788枚でした。回収の多くは取りまとめて回収という形でボランティアの手で行っているのですが、“取りまとめ”の枠に入らない市民もいるなか、回収費用を確保できたことでより多くの市民に参加してもらうことが出来ました。新年度は更に一歩進んだ形での温暖化対策事業に取り組んでいきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥52,758	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では2009年より、温暖化対策の一環として枚方市全域で毎年1回、11月、12月をひらかたエコチェック期間とし「ひらかたエコチェックDAY」を展開してきました。これは、日常の何気ない行動を少し意識することが、温暖化防止行動につながっているということに気づき、自身のライフスタイルを見直してもらうために実施しているものです。</p> <p>(使途)頂いた寄附金¥52,758は、エコチェックDAYのエコチェックシート回収費用の一部に充てさせていただきました。シートの回収は、団体で取りまとめて頂いたものを受け取りに行く方法と、各自が郵送する方法をとっているのですが、郵送分については受取人払いとなっており、そうすることによって、気軽に参加してもらえることが出来ています。</p> <p>(効果)今回で5回目を迎えたエコチェックDAYですが、延べ参加人数は4万7千人超(今回の参加者は約1万1千人)を数え、大きな成果となっています。一つ一つの行動により削減できるCO2は僅かであっても、積み重なると大きなものになることを実感してもらう事が出来ました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,715	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>市内一斉エコチャレンジデーとして取り組んできた「ひらかたエコチェックDAY」の取り組みを2013年度を以って終了し、2014年度からは新たに環境家計簿「我が家のエコノート」の取り組みをスタートさせました。5年間の「ひらかたエコチェックDAY」の取り組みの成果は前回の報告書に記載の通り、延べ参加人数:4万7千人超、CO2総削減量は6.1tになりました。</p> <p>頂いた寄附金17,715円は当該事業の報告書作成費(1,000部作成印刷費:22,500円)に遣わせて頂きました。</p> <p>5年間の成果をまとめた報告書は、会員をはじめ各関係機関やこの間協力して頂いた団体・事業者等に配布しましたが、改めて取り組んだ事への高評価を頂くことができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,860	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>地球温暖化対策の一環として、家庭での省エネの取り組みを推進するため、昨年6月より環境家計簿「我が家のエコノート」を配布および診断を行っております。</p> <p>広報、市民のイベント、学校を通じて配布し、10月末現在参加人数140名、延べ提出枚数391枚となっております。一年間継続して取組まれている方も多く、省エネの励みになるという感想を頂いております。また、上記のエコノートの取り組みのきっかけづくりと夏の電力消費のピークカット対策併せてガスや水道の利用も意識した省エネ行動喚起を目的として、7、8、9の3ヵ月間に重点をおき「ひらかた夏の省エネコンテスト」を行いました。こちらは、参加者数118名となりました。</p> <p>頂いた寄附金6,860円は、当該事業の印刷代(13500部 29970円)の一部に遣わせていただきました。</p> <p>1月には、この取り組みの結果の報告書を作成し、2月に表彰を行いました。その様子をHPIにて公開しております。 http://hirakata-kankyoutai.net/report/エコフォーラム2016終了しました！！</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K027	団体名	特定非営利活動法人グリーンアライアンス 海外支援事業部 NGO. 緑の騎士団
連絡先 (電話／メール)	090-1138-7832	活動ホームページ (URL)	http://www.greenalliance.or.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	非食用植物による「緑の油田」づくり		
寄附額合計	¥224,826		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥36,637	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	寄附金額が植林実施のための最低金額(1,000,000円)に達しないため、計画を延期することとする。平成23年度実施予定を平成24年度に計画を延期する。 ※計画については平成25年夏頃の実施を予定しております。 その場合、インドネシア北スラウェシ州マナド又はヌサ・トゥンガラ州スンバウ島にて、334本(1,100円/10本×334≒36,637円)の種子調達及び植林実施の一部の費用に充当させる。 植林3年経過後、約390LのBDF及び910KgCO2の削減に寄与すると共に、地元農民の貧困格差解消プログラムの一助となる。	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,656	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	寄附金額が植林実施のための最低金額(100万円)に達しないため、計画を延長することとする。 平成24年度実施予定を25年度に計画を延長する。その場合、インドネシア北スラウェシ州マナド又は、ヌサ・トゥンガラ州スンバウ島にて、1,450本(1,100円/10本×1,450≒159,524)の種子調達及び植林実施の一部の費用に充当させる。 植林3年後、1,700LのBDF及び4,190kgのCO2の削減に寄与すると共に、地元農民の貧困格差解消プログラムの一助となる。 ※2013年2月末の寄附積立金 合計132,293円は種子調達及び植林実施の一部の費用として充当させる。	
	平成25年度		
	寄附額	¥59,458	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	寄附金額が植林実施のための最低金額(1000万円)に達しないため、計画を延長することとする。 平成25年度実施予定を26年に計画を延長する。その場合インドネシア北スラウェシ州マナドまたは、ヌサ・トゥンガラ州スンバウ島にて540本(1100円/10本×540≒59,458円)の種子調達及び植林実施の一部の費用に充当させる。 植林3年後640LBDF及び1,560kgの二酸化炭素の削減にきよするとともに地元農民の貧困格差解消プログラムの一助となる。 ※2014年2月末の寄附積立金額合計191,751円は種子調達及び植林実施の一部の費用として充当させる。	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,715	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	寄附金額が植林実施のための最低金額(1000万円)に達しないため、計画を延長することとする。 平成26年度実施予定を27年に計画を延長する。その場合インドネシア北スラウェシ州マナドまたは、ヌサ・トゥンガラ州スンバウ島にて190本(1100円/10本×19≒21,715円)の種子調達及び植林実施の一部に充当させる。 植林3年後240LBDF及び540kgの二酸化炭素の削減に寄与するとともに地元農民の貧困格差解消プログラムの一助となる。 ※2015年2月末の寄附積立金額合計213,466円は種子調達及び植林実施の一部の費用として充当させる。	
	平成27年度		
	寄附額	¥11,360	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	(概要)当法人は「非食用植物による緑の油田づくり」というプロジェクトで乾燥地、荒地に最適な非食用植物(ジャトロファ、トウゴマ等)の植林を実施しています。収穫物からバイオ燃料を抽出し、地球温暖化防止及び持続可能な村落を目指します。インドネシアでは90年代後半から、熱帯林の伐採や森林火災が急速に拡大し生態系が破壊されCO2排出量が激増しています。 (使途)植林実施のための最低金額(1000万円)に達しないため、当初予定の平成27年度事業ではなく平成28年度自主事業の一部に充当させる事といたしました。インドネシアのスンバウ島又はロンボック島等での植林を計画し、100本の種子調達や植林実施の一部の費用に充当いたします。 ※現在までの寄附積立金額は224,826円となり、全額使用予定です。 (効果)植林3年後には11LBDF及び26kgの二酸化炭素の削減に寄与するとともに、地元住民の貧困格差解消プログラムの一助となります。		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K028	団体名	特定非営利活動法人わかやま環境ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	073-499-4734	活動ホームページ (URL)	http://wenet.info/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	地球温暖化防止にかかる普及啓発事業他		
寄附額合計	¥252,821		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥47,380	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>○ご寄附ありがとうございました。当団体は脱化石燃料・低炭素の地域社会づくり、食とエネルギーの自立・循環による地域活性化、生命あふれる美しい地球とふるさとの継承をめざして、より広範な市民・団体を巻き込んだ地球温暖化防止の啓発イベントや実践普及活動を行っています。</p> <p>○今回ご寄附いただきました47,380円は、「わかやま環境フォーラム2010」の成功のため、会場費やブース設備等に活用させていただきました。おかげをもちまして、このフォーラムには81団体、約1,700人が参加し大成功させることができました。</p> <p>○今後、再生可能エネルギーの導入事業へ力を入れて行きます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥117,612	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体は、脱化石燃料・低炭素の地域社会づくり、食とエネルギーの地域自立・循環による地域活性化、生命あふれる美しい地球とふるさとの継承をめざして、より広範な市民・団体をまきこんだ地球温暖化防止の啓発イベントや実践普及活動を行っています。</p> <p>この度ご寄附いただきました117,612円につきまして、「和歌山環境検定」実施、「きのかわ環境フェア」(300人参加)実施、親子で学ぶ「海ホテル観察会」4回実施や、キャンドルを廃食油でつくってゆっくりクリスマスを過ごそうというイベント(「エコキャンドルでゆっくりクリスマス」)等、合計100名近くの親子が環境とエコ生活について楽しく学ぶことができました。これらの事業実施にあたり、講師謝金・交通費・会場(設営)費・スタッフ人件費・消耗品購入費・印刷費等に活用させて頂きました。ありがとうございました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥60,140	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体は、脱化石燃料・低炭素の地域社会づくり、食とエネルギーの地域自立・循環による地域活性化、生命あふれる美しい地球とふるさとの継承をめざして、より広範な市民・団体をまきこんだ地球温暖化防止の啓発イベントや実践普及活動を行っています。</p> <p>この度ご寄附いただきました60,140円につきまして、イベント用ソーラーキットなど環境啓発教材・ツールの作成用に材料を購入(約2万円)。学習会などの講座資料作成費(約1万円)。環境情報誌作成、発送費の一部(約3万円)として活用させていただきました。ありがとうございました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,127	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体の活動に、子ども向け環境学習があります。主に地球温暖化防止に向けたエネルギー対策がテーマで、危機的な現状と持続可能な暮らし方の工夫を学ぶ機会を提供しています。</p> <p>今回、温暖化のメカニズムをわかりやすく伝える「おんだんかまっぷ」と温暖化に関する全7問の3択クイズのセットを制作。ご寄附の19,127円も活用し、より身近に感じられるプログラムに仕上がりました。</p> <p>県内の小学校6年生32人から授業依頼があり、プログラムを実施。児童らはすでに温暖化の基礎を学んでおり、クイズからスタート。問題用紙を読み上げると3択の答えと連動する名刺サイズの色カードを各々掲げていきます。次に「おんだんかまっぷ」で現状を伝え、ワークショップ形式でアイデアを出し合う時間をつくりました。児童らは「いろいろな工夫について友達と話し合えた。これからも自分のこととして考えたい」との感想でした。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,562	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)今年度は、子どもを対象とした学びの機会を提供するため、夏休み期間中の出前講座を実施しました。内容は温暖化の実情と再生可能エネルギー、足元から取り組める省エネについて子どもたちが率先して家庭のリーダーとして行動できる取り組みを実施しました。</p> <p>(使途)気象という目に見えにくい内容を取り扱うために、ペットボトル内で雲を作れるツールなど遊びながら学べるアイテムの購入費として、頂いた8,562円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)県内の学童保育施設に、のべ12クラス174人の子どもたちへの提供を行うことができ大変喜ばれました。ありがとうございました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K029	団体名	特定非営利活動法人おかやまエネルギーの未来を考える会
連絡先 (電話／メール)	086-232-0363	活動ホームページ (URL)	http://enemira.sakura.ne.jp/enemira/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	太陽エネルギーで温暖化防止事業		
寄附額合計	¥228,225		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥35,165	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では地球温暖化を防止し持続可能な地域づくりをしていくために、省エネの推進や自然エネルギーの導入拡大を進めている。その1つとして岡山市と協働して、岡山市立保育園等に太陽光発電システムを設置しており、平成23年度は岡山市立瀬戸町図書館に4号機を設置した。</p> <p>(使途)太陽光発電システム設置費用3,150,000円のうち、1/3は岡山市補助金を使用し、住宅エコポイント寄附金35,165円を支出した。不足分は家電エコポイント寄附金、市民の寄附金及び自己資金でまかかった。</p> <p>(効果)平成24年2月27日に工事が完了、図書館の電気は大部分をこれでまかかっており、地域住民の方の関心も高くなってきて、入り口前に設置した発電出力表示器を興味深くみている姿も多くなっている。マスコミでも取り上げられて、多くの関心を持っている。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥94,432	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では地球温暖化を防止し持続可能な地域づくりを進めて行く為に、省エネの推進や自然エネルギーの導入拡大を推進している。その1つとして岡山市と協働し、市有施設に太陽光発電システムを設置する市民共同発電所づくりを行っている。H23年度は岡山市立瀬戸町図書館に4号機を設置し、H24年度は岡山市立建部保育園に5号機を設置した。</p> <p>(使途)4号機(4kw)の設置費315万のうち、住宅エコポイントを昨年度35,162円(報告済)今年度37,830円を充て、不足分は市の補助金・市民寄附等で賄った。5号機(10kw)は520万かかり、住宅エコポイント56,602円を充て、不足は市民・企業の寄附、会員へのエネミラおひさま5号債発行で賄った。</p> <p>(効果)両施設では発電量を液晶モニターでチェックし太陽エネルギーへの関心を高めてもらっている。当法人の市民共同発電所は県外視察も多く自然エネルギー普及に貢献している。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥67,919	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では地球温暖化を防止し持続可能な地域づくりを進めて行く為に、省エネの推進や自然エネルギーの導入拡大を推進している。その1つとして岡山市と協働し、市有施設に太陽光発電システムを設置する市民共同発電所づくりを行ってきた。</p> <p>(使途)24年度は岡山市立建部保育園に5号機を設置し、住宅エコポイント17,312円を充て、不足分は疑似私募債で賄った。今年度は、西粟倉村と連携し村有のコンベンションホールに50kWの発電所を設置、事業費は村民からの借入金や銀行からの融資とともに住宅エコポイント50,607円を充てた。</p> <p>(効果)両施設とも人の出入りが多く、太陽エネルギーへの関心を高めてもらっている。市民共同発電所への県外視察も多く自然エネルギーの普及拡大に貢献している。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,299	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は地球温暖化を防止し持続可能な地域作りを進めて行く為、省エネや自然エネルギーの導入拡大を推進している。その1つとして公共施設に太陽光発電システムを設置する市民共同発電所作りを行ってきた。</p> <p>(使途)25年度～26年度にかけ、西粟倉村有のコンベンションホールに48.64kWの市民共同発電所を設置し、事業費は住宅エコポイントの7,094円を充てると共に村民からの借入金等で賄った。26年度は倉敷市の児島市民交流センターの屋根を借用し21.6kWの発電所を設置し、事業費は住宅エコポイント14,205円を充てると共に市民ファンド等で賄った。</p> <p>(効果)両施設とも住民や来場者に太陽エネルギーの関心を高めて貰っている。また、余剰収益は普及啓発に活用したり、災害時には非常用電源として施設で使用していただくなど地域貢献にも努めている。市民共同発電所は倉敷市の設置で7基となる。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥9,410	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は地球温暖化を防止し持続可能な地域作りを進めて行く為、省エネや自然エネルギーの導入拡大を推進している。主な事業として公共施設に太陽光発電システムを設置する市民共同発電所づくりを行ってきた。</p> <p>(使途)そのうち倉敷市の児島市民交流センターへの設置は事業費の一部に住宅エコポイント6,622円を充てた。さらに2,788円は環境教育グッズの材料費に充てた。</p> <p>(効果)市民共同発電所は住民や来場者に太陽エネルギーの関心を高め、余剰収益は普及啓発に活用したり、災害時には非常用電源として施設で使用していただくなど地域貢献にも努めている。環境教育グッズは小学校への出前授業やイベントでの出展などで活用している。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K030	団体名	財団法人おかやま環境ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	086-256-2565	活動ホームページ (URL)	http://okayama.coop/kankyounet/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	家庭で排出するCO2を計算し省エネ効果を上げる環境家計簿活動		
寄附額合計	¥252,004		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,019	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では2002年から環境家計簿活動を実施し、生活の工夫でエネルギーの節約に努め、その効果を確認しています。どの家庭でもできる簡単な取り組みです。多くの人々が関心を寄せ、それぞれの家庭でくらし方の工夫や省エネに取り組む家族を増やすことにより、未来の地球を救うことにつながります。</p> <p>(使途)募集チラシや集計結果をまとめた環境家計簿レポートの印刷費の一部として、34,019円を使わせていただきました。ご寄附により、チラシが作成でき、モニター数が大きく増えました。</p> <p>(効果)モニター登録数は昨年303名だったのに対して、今年は602名の方に倍増しました。また、2012年7月には報告データをまとめたレポートの作成を予定しており、以後いただくご寄附の一部を使用させていただく予定です。ご寄附をいただいた皆様にも是非ご参加いただければ幸いです。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,558	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では2002年から環境家計簿活動を実施し、生活の工夫でエネルギーの節約に努め、その効果を確認しています。どの家庭でもできる簡単な取り組みです。多くの人々が関心を寄せ、それぞれの家庭でくらし方の工夫や省エネに取り組む家族を増やすことにより、未来の地球を救うことにつながります。</p> <p>(使途)募集チラシや集計結果をまとめた環境家計簿レポートの印刷費の一部として、92,558円を使わせていただきました。ご寄附により、チラシが作成でき、モニター数が大きく増えました。</p> <p>(効果)モニター登録数は2010年303名、2011年570名、2012年は814名と順調に増加しています。また、2012年7月に、2011年のモニター実績をまとめた「環境家計簿レポート」を発行しました。二酸化炭素の排出量は前年比で5.8%削減、総量で46,774-CO2kg削減につながりました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥93,519	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では2002年から環境家計簿活動を実施し、生活の工夫でエネルギーの節約に努め、その効果を確認しています。どの家庭でもできる簡単な取り組みです。多くの人々が関心を寄せ、それぞれの家庭でくらし方の工夫や省エネに取り組む家族を増やすことにより、未来の地球を救うことにつながります。</p> <p>(使途)各種報告フォーマットの作成や集計結果をまとめた環境家計簿レポートの印刷費・郵送料の一部として、93,519円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)モニターから2012年は393名からご報告をいただき、その実績をまとめた「環境家計簿レポート」を発行しました。二酸化炭素の排出量は前年比で6.3%削減、総量で79,376-CO2kgの削減につながりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,999	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では2002年から環境家計簿活動を実施し、生活の工夫でエネルギーの節約に努め、その効果を確認しています。どの家庭でもできる簡単な取り組みです。多くの人々が関心を寄せ、それぞれの家庭でくらし方の工夫や省エネに取り組む家族を増やすことにより、未来の地球を救うことにつながります。</p> <p>(使途)集計結果をまとめる集計表の印刷費・郵便代の一部として、21,999円を使わせていただきました。ご寄附を印刷費・郵便代の一部に充てることにより、報告数を前年並みに確保できました。</p> <p>(効果)モニター登録数は2010年303名、2011年570名、2012年は719名、2013年は825名と順調に増加しています。また、2014年7月に、2013年のモニター実績をまとめた「環境家計簿レポート」を発行しました。二酸化炭素の排出量は前年比で7.6%削減、総量で74,704-CO2kgの削減につながりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥9,909	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では2002年から環境家計簿活動を実施し、生活の工夫でエネルギーの節約に努め、その効果を確認しています。どの家庭でもできる簡単な取り組みです。多くの人々が関心を寄せ、それぞれの家庭でくらし方の工夫や省エネに取り組む家族を増やすことにより、未来の地球を救うことにつながります。</p> <p>(使途)各種報告フォーマットの作成や集計結果をまとめた環境家計簿レポートの印刷費・郵送料の一部として、9,909円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)モニターから2014年は482世帯からご報告をいただき、その実績をまとめた「環境家計簿レポート」を発行しました。二酸化炭素の排出量は前年比で3.3%削減の削減につながりました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K031	団体名	特定非営利活動法人INE OASA (い〜ね！おおあさ)
連絡先 (電話／メール)	0826-82-3950	活動ホームページ (URL)	http://www.e-jyan.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	菜の花プロジェクト《農村からの低炭素社会の実現》		
寄附額合計	¥393,418		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥39,875	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、菜の花プロジェクトを中心とした、地球温暖化防止の活動を行っています。日本の将来を救うのは、中山間地域の活力だと自負し、資源循環型の社会を目標としています。</p> <p>(使途)中山間地域では、竹林の保全が課題となっています。人の営みの変化により利用されなくなった竹の有効利用と、竹林の整備を目的として、伐採・粉砕して堆肥化する実験を行いました。その作業の経費、竹チップターのレンタル料56,000円の一部として使用しました。</p> <p>(効果)中山間地域の資源を有効に活用していくことで、資源循環型の社会の実現へと繋がるり、農村の美しい里山風景を残していくことが、日本の未来が明るくなることでしょう。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,874	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、2001年の設立から今まで、地域資源循環型の町づくりを掲げ、中山間地域を中心に活動を行っています。少子高齢化や過疎化によって衰退していく地域を、如何にして元気にしていくかを菜の花プロジェクトを中心に様々な分野での活動を繰り返しています。</p> <p>(使途)廃食油回収車及びタンクローリーのメンテナンス費用に308,100円の経費に充当させていただきました。</p> <p>(効果)廃食油の回収が北広島町に隣接する安芸高田市まで広がりました。初年度の回収量は、約1,000リットルですが、今後の回収量の増加に期待が出します。これにより、BDF燃料も安定的に精製することができます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥61,655	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、2001年の設立から今まで、地域資源循環型の町づくりを掲げ、中山間地域を中心に活動を行っています。少子高齢化や過疎化によって衰退していく地域を、如何にして元気にしていくかを菜の花プロジェクトを中心に様々な分野での活動を繰り返しています。</p> <p>(使途)ノートパソコンの入れ替え費用83,210円に充当させていただきました。</p> <p>(効果)出張先や講演先で、とても活躍しています。事務所外での打合せや仕事も増えてきていたので、とても便利になりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥29,655	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)NPO法人い〜ね！おおあさは、これまで菜の花プロジェクトを中心に、環境保全や資源循環型社会を実現し、地域を活性化していこうと努力してきました。地元北広島町を中心に、地域住民に対する普及啓発や環境教育に力を注ぎ、廃食油のリサイクル活動、小学校での環境学習を実施し、設立から今まで、成果をあげてきました。</p> <p>(使途)この一年は、これまで培ってきた地域での活動と、人々との繋がりがから、新たな取り組みが生まれるようになりました。この事業費98,666円の一部として活用しました。</p> <p>(効果)古民家を使った田舎体験プログラムを実施、人材育成研修、大学や海外研修生のフィールドワークの場として活用、他のNPOや団体とも協力、年間延べ300人を超える人たちが、都市部からこの事業に足を運んでくれました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥166,359	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>わさ環境農業公園は、NPO法人INE OASAが、BDF(バイオディーゼル燃料)の精製基地として利用している場所であり、その敷地に平成26年10月にメガソーラーが建設されました。その完成を記念したシンポジウム「北広島島の未来を語る」を主催、町内外から約200名が参加し、中山間地域でのエネルギー供給と持続可能な地域に向けた、取り組みや構想について、リレートークとディスカッション形式で行いました。また、シンポジウムのエクスカージョンに、エコツーリズムを募集定員40名で催行し、薪を使ったバイオマスの取り組みやメガソーラー施設の見学は大変好評でした。</p> <p>開催費用の一部、会場使用料・講師謝金・エコロジーツアー管理費を寄附金から充当させていただきました。</p> <p>平成27年度は引き続きエコツーリズムを展開していきます。そしてシンポジウム開催により、学校機関からの連携などの依頼もいただくようになりました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K032	団体名	特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進市民フォーラム西日本
連絡先 (電話／メール)	092-573-1400	活動ホームページ (URL)	http://www.repw.net/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	「市民共同おひさま発電所」設置活動		
寄附額合計	¥5,143,532		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥1,443,588	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民から寄附を集めて太陽光発電を設置する「市民共同おひさま発電所」運動を10年ほど前から九州地域で実施しています。学習会や点灯式を実施し、多くの方に環境問題に対する意識をもってもらうことで、波及効果を高めることができます。</p> <p>(使途)寄附金1,443,588(円)は、エスタスカーサ、南ヶ丘幼稚園、敬愛幼稚園、宅老所第三ほのぼのおひさま発電所への寄附と、その建設運動を支援するための経費(振込手数料や送料など)として使用しました。</p> <p>(効果)寄附式、学習会、には延べ300人以上の参加がありました。2012年度も引き続きおひさま発電所の建設運動を行います。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥2,683,681	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民から寄附を集めて太陽光発電を設置する「市民共同おひさま発電所」運動を1999年から九州地域で実施しています。学習会や点灯式を実施し、多くの方に環境問題に対する意識をもってもらうことで、波及効果を高めることができます。</p> <p>(使途)寄附金103,655円は、循環生活研究所の「じゅんなま研おひさま発電所」への寄附として使用しました。株式会社ベスト電器からの寄附金2,580,026円の一部は、循環生活研究所おひさま発電所(3.94kW)への寄附と点灯式開催費用、事務経費(チラシ作製、交通費等)に使用しました。</p> <p>(効果)点灯式には約15名、じゅんなま研主催イベントの中でのおひさま発電所を説明する展示には延べ3,500人以上の参加がありました。2012年度も引き続きおひさま発電所の建設運動を行う予定であり、今回頂いたご寄附の一部を使用させていただきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥825,509	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民から寄附を集めて太陽光発電を設置する「市民共同おひさま発電所」運動を1999年から九州地域で実施しています。学習会や点灯式を実施し、多くの方に環境問題に対する意識をもってもらうことで、波及効果を高めることができます。</p> <p>(使途)寄附金825,509円は、当団体が市民と共に設置した「市民共同やどかりおひさま発電所in三瀬」(10.23kW)に使用しました。太陽光発電設備やお披露目式開催費、事務経費(看板作製、交通費等)に使用しました。また、2010年度に発電所を設置したNPO法人エスタスカーサでの普及啓発活動にも一部利用しています。</p> <p>(効果)おひさま発電所自体には34名の市民が参加し、お披露目式には約36名が集まり完成を祝いました。佐賀新聞(約14万部)や朝日新聞西部エリア(約68万部)への掲載で問い合わせも多くなりました。2013年度も引き続きおひさま発電所の建設運動を行う予定であり、今回頂いたご寄附の一部を使用させていただきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥154,708	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民から資金を集めて太陽光発電を設置する「市民共同おひさま発電所」運動を、1999年から九州地域で実施しています。設置時の点灯式、設置後も学習会を実施することで、多くの方々に環境問題に対しての意識を高めてもらい、波及効果を高めることができます。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた合計154,708円は、おひさま発電所設置先の循環生活研究所(福岡市東区)やエスタスカーサ(福岡市南区)で学習会を実施する際の費用(材料代、交通費等)に使用しました。</p> <p>(効果)循環生活研究所主催のイベントでおひさま発電について説明をする展示では、3000人程の来場があり、子どもから大人まで多くの方に興味をもっていただきました。エスタスカーサの学習会では30名程の参加があり、環境について幅広く意識を高めることができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥36,046	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、市民から資金を集めて太陽光発電を設置する「市民共同おひさま発電所」運動を、1999年から九州全域で実施しています。設置時の点灯式、設置後も学習会を実施することで多くの方々に環境問題に対しての意識を高めてもらい、波及効果を高めることができます。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた合計36,046円は、おひさま発電所設置先の循環生活研究所(福岡市東区)やエスタスカーサ(福岡市南区)で学習会を実施する際の費用(材料代、交通費等)に使用しました。</p> <p>(効果)循環生活研究所主催のイベントでは約3000名の来場があり、おひさま発電等に関連する展示・実演に多くの方に興味を持っていただきました。小学生対象の学習会の時間も、皆興味津々の様子でした。また、エスタスカーサの学習会では延べ25名の参加があり、親子連れや初参加者も多く、環境について幅広く意識を高めることができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K033	団体名	特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム
連絡先 (電話／メール)	0967-22-1013	活動ホームページ (URL)	http://qmaki.com/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	薪と木質ペレットを使ってCO2を削減しよう		
寄附額合計	¥408,146		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,265	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、昨年より薪や木質ペレットを主とした木質バイオマスの利用を促進するために、「九州薪・木質ペレット活用協議会」を発足させ、その事務局を行っています。協議会の活動を通じて、薪・木質ペレット及び薪・ペレットストーブの普及拡大を図り、CO2の排出抑制や森林の適正管理、ひいては循環型社会の実現に貢献することを目指しています。</p> <p>(使途)薪・ペレットストーブ関係のセミナー開催運営費に使わせて頂きました。今回頂いた寄附金は、セミナー7回と体験型を3回開催した運営費として、経費の一部(会場借料、資料印刷代、講師謝金、交通費など)に充てることにより開催することが出来ました。</p> <p>(効果)セミナー開催で合計約160名、体験型の開催で約350名の参加者でした。参加者の方々に、薪と木質ペレットを身近に感じて頂けることができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,555	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、薪や木質ペレットを主とした木質バイオマスの利用を促進するために「九州薪・木質ペレット活用協議会」の事務局を行っています。協議会の活動を通じて、薪・木質ペレット及び薪・ペレットストーブの普及拡大を図り、CO2の排出抑制や森林の適正管理、ひいては循環型社会の実現に貢献することを目指しています。</p> <p>(使途)環境をテーマにした展示会での「薪・木質ペレットストーブ展示・薪割り体験」を開催し、ご寄附いただいた全額の91,555円を運営費として使わせて頂きました。また、熊本市内の小学校に木質ペレットストーブを1台設置することが出来ました。またその小学校で出前講座を実施しました。</p> <p>(効果)展示会の来場者は約500名でした。参加者の方々に薪・木質ペレットを身近に感じて頂けることができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥53,253	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、薪や木質ペレットを主とした木質バイオマスの利用を促進するために「九州薪・木質ペレット活用協議会」の事務局を行っています。協議会の活動を通じて、薪・木質ペレット及び薪・ペレットストーブの普及拡大を図り、CO2の排出抑制や森林の適正管理、ひいては循環型社会の実現に貢献することを目指しています。</p> <p>(使途)環境をテーマにした展示会での「薪・木質ペレットストーブ展示・薪割り体験やセミナー」を開催し、ご寄附いただいた全額の53,253円を運営費として使わせて頂きました。また、前回熊本市内の小学校に木質ペレットストーブを1台設置することができ、今回もその小学校で出前講座を実施しました。</p> <p>(効果)展示会やセミナーの来場者は約800名でした。参加者の方々に薪・木質ペレットを身近に感じて頂けることができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,214	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、薪や木質ペレットを主とした木質バイオマスの利用を促進するために「九州薪・木質ペレット活用協議会」の事務局を行っています。協議会の活動を通じて、薪・木質ペレット及び薪・ペレットストーブの普及拡大を図り、CO2の排出抑制や森林の適正管理、ひいては循環型社会の実現に貢献することを目指しています。</p> <p>(使途)環境をテーマにした展示会での「薪・木質ペレットストーブ展示・薪割り体験やセミナー」を開催し、ご寄附いただいた全額の21,214円を運営費として使わせて頂きました。また、薪ストーブを1台設置することができた熊本県立高校の演習材にて、薪づくりのワークショップを実施しました。</p> <p>(効果)展示会の来場者は約600名、ワークショップの参加者は約50名でした。参加者の方々に薪・木質ペレットを身近に感じて頂けることができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥210,859	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、薪や木質ペレットを主とした木質バイオマスの利用を促進するために「九州薪・木質ペレット活用協議会」の事務局を行っています。協議会の活動を通じて、薪・木質ペレット及び薪・ペレットストーブの普及拡大を図り、CO2の排出抑制や森林の適正管理、ひいては循環型社会の実現に貢献することを目指しています。</p> <p>(使途)平成27年度は、木質バイオマスの活用をテーマにした「木質バイオマスセミナー(6月・11月)」「九州木の駅サミット(9月)」を開催し、ご寄附いただいた全額の210,859円を運営費として使わせて頂きました。また、阿蘇市の山林にて薪づくりのワークショップを実施しました。</p> <p>(効果)セミナー・ワークショップの参加者は合計約110名でした。参加者の方々に薪・木質ペレットをはじめ、木質バイオマスについて学んで頂く機会を提供することが出来ました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K034	団体名	おきなわアジェンダ21県民会議
連絡先 (電話／メール)	098-945-2686	活動ホームページ (URL)	http://www.koeikyo.com/agenda21/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	県民環境フェアの開催		
寄附額合計	¥268,585		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥45,405	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「環境教育の日」を制定している南城市で、おきなわアジェンダ21県民環境フェアin南城を平成23年11月20日に開催。県内外から環境関連団体の出展やステージで、来場者に対し環境保全の啓発を行いました。体験型ブースも多く、楽しみながらライフスタイルを見直すきっかけとなるイベントとなりました。</p> <p>(使途) 皆さまからのご寄附は、子供達の発表の場となったステージなど会場設営等、「食・環境・命」をコンセプトに活動しているヒーロー「ハルサーエイカー」の出演料の一部として活用させて頂きました。</p> <p>(効果)「環境教育の日」の波及も目的に開催し、ステージ等で市内小中学校の活動報告を行い来場者へPR。エコの種をまく事が出来た。「食」「命」「環境」の大切さもヒーローショー等を通して伝える事が出来た。フェアの開催に向けてご寄附を賜った皆さまへ感謝申し上げます。次年度のフェアでお会いできる事を楽しみにしています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥121,374	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)沖縄本島北部域での初開催となった「おきなわアジェンダ21県民環境フェアinなご」は、県内外から環境保全活動に係る企業や市民団体等の参加の元、県民一人ひとりが自らのライフスタイルを見直し、環境保全に向けて主体的に取り組む契機とする事を目的に子どもから大人まで楽しく参加体験できるイベントとして開催。テーマを～あけみおのまちで未来を語る3R～とした。</p> <p>(使途)ご寄附頂いた121,374円は、屋外開催の会場設営費総額1,822,829円に組み込まさせて頂きました。</p> <p>(効果)午後からは大雨となってしまう来場者は1,200名。ステージイベントや環境展示会は最後まで開催できた形となった。ゴミについて考える講演会や粗大ごみリユース市、リメイクファッションショーの開催、会場内の食事処では食器のリユースで食事を提供するなど来場者へゴミについて考えてもらおうきっかけとした。全体から出たゴミは少量で評価頂いた。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥69,053	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)本県民会議では、毎年、沖縄県内で地球温暖化対策及び環境保全の普及啓発を目的に「県民環境フェア」を開催しています。フェアではNPO・市民団体及び、企業による活動紹介ブースや、小中学生による環境活動発表等により足元から環境を見直すきっかけづくりの場となっています。</p> <p>(使途)毎年秋に開催する「県民環境フェア」の運営費として、69,053円を活用させて頂きました。ご寄附を経費の一部(会場借料)に充てることにより、NPO・市民団体の出展料を抑えることができました。</p> <p>(効果)昨年度は雨により約2,000名の来客だったのに対し、今年度は天気に恵まれ家族連れ約3,600名の方に来場いただきました。会場アンケートしたところ、「家庭からすぐできる温暖化対策があることがわかった。」「環境問題は私達一人ひとりの意識が大切だということがわかった。」等、大勢の方に普及啓発を図ることができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥23,894	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)本県民会議では、毎年、沖縄県内で地球温暖化対策及び環境保全の普及啓発を目的に「県民環境フェア」を開催しています。フェアではNPO・市民団体及び、企業による活動紹介ブースや、小中高生による環境活動発表等により足元から環境を見直すきっかけづくりの場となっています。</p> <p>(使途)平成27年1月18日に開催した「県民環境フェア」の運営費として、23,894円を活用させて頂きました。ご寄附を経費の一部(会場借料)に当てることにより、NPO・市民団体の出展料を抑えることができました。</p> <p>(効果)家族連れ約1,500名の方に来場いただきました。会場アンケートしたところ、「日常生活のためになるものばかりでよかったです。」「廃材をリサイクルしてつくるビーズはエコにもなるし、子供に対してエコを教えるのにも役立つと思います。」など、親子連れに体験しながら楽しく学び、普及啓発を図ることができました。</p>	
	平成27年度		
寄附額	¥8,859		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)県民環境フェアの開催目的は、沖縄県の環境保全を図ることを目的に策定した「みんなで作る清(ちゆ)ら島ーおきなわアジェンダ21ー」計画の進捗管理結果や取り組みを県民に伝えることであり、来場者に成果の印刷物(以下、成果物という)の配布も必要だが、経費が不十分な状況である。</p> <p>(使途)この度の寄附金をフェア広報費に充当し、進捗管理を伝えるための成果物印刷費として使わせていただいた。成果物を構成団体や県民に手にしてもらうことで、現状を知ることができ、市民の意識変化と実際の行動に結びつけるという普及啓発に大いに貢献するものである。</p> <p>(効果)成果物を全構成団体148団体に郵送するとともに、11月22日に開催したイオンモール沖縄ライカムでの県民環境フェアや、12月の地球温暖化防止月間に沖縄県庁、那覇市役所、浦添市役所で開催された「地球温暖化防止展」の会場にて県民に300部無料配布することができた。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K182	団体名	矢祭町商工会青年部
連絡先 (電話／メール)	0247-46-2126	活動ホームページ (URL)	https://ja-jp.facebook.com/yamaturimachi
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	矢祭型フードマイレージによる循環型社会形成事業		
寄附額合計	¥410,359		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥39,252	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、福島県矢祭町を中心に、食と二酸化炭素の関係を表す、フードマイレージの出前講座を地元小学校で開催してきました。地産地消を採り入れることで、食品の輸送に係る二酸化炭素の排出量を考えるきっかけづくりを実施。さらにCO2削減量をポイント化した「ポコポイント事業」を展開し、矢祭町滝川溪谷入り口に植樹活動をしました。</p> <p>(使途)平成23年3月12日に植樹活動を1回実施し、植樹費用として 山つつじ・春一番・えぞむらさき を計240本分の苗木、腐葉土に39,252円使わせていただきました。東日本大震災直後の植樹活動となりました。いまでは多くの方を魅了する「復興シンボル」として咲き続けています。</p> <p>(効果)震災後「ポコポイント事業」は展開を見合わせておりますが、今後も、フードマイレージの啓発活動を行うとともに寄附金を活用した矢祭山等へ植樹するなど環境向上活動を実施していきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥122,113	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、食と二酸化炭素の関係を表す「フードマイレージ」の概念を福島県矢祭町を中心に浸透させ、地産地消や、食品の輸送に係る二酸化炭素の排出量を考えるきっかけを与えることができました。さらにCO2削減量をポイント化した「ポコポイント事業」を展開し、矢祭町滝川溪谷入り口に植樹活動を行ってまいりました。現在はエコポイントによる環境寄附を活用し、町内に植樹を行っております。</p> <p>(使途)当該期間中に植樹を2011年5月11日、9月13日、2012年4月20日の計3回行い、ツツジ、サツキを計680本分の苗木や腐葉土等を購入。また植栽地へ訪れた方々へ当該事業の趣旨や環境向上への意識を高めることを目的として記念看板を設置。それらの費用へ今回の寄附金122,113円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)植樹したつつじやさつきは多くの方々に親しまれ、環境向上の意識を高めるきっかけとなっています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥206,800	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、福島県矢祭町を中心に地元産の食材を利用する地産地消を採り入れることで、食品輸送に係る燃料費(フードマイレージ)の概念を浸透させCO2削減、温暖化防止につとめてまいりました。さらにCO2削減量をポイント化した「ポコポイント事業」を展開し、町内に植樹活動を行ってまいりました。現在はエコポイントによる環境寄附を活用し、植樹活動を行っております。</p> <p>(使途)植樹用のツツジ、サツキの苗木を50本分と腐葉土等を購入。また町協力のもとユキヤナギやレンギョウなど110本の苗木の提供を受け、植樹を行いました。それらの費用として133,900円を使用いたしました。残金72,900円につきましても植樹活動に充てさせていただきます。</p> <p>(効果)植樹したつつじやさつきは多くの方々に親しまれ、環境向上の意識を高めるきっかけとなっています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥30,493	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、福島県矢祭町を中心に地元産の食材を利用する地産地消を採り入れることで、食品輸送に係る燃料費(フードマイレージ)の概念を浸透させCO2削減、温暖化防止につとめてまいりました。さらにCO2削減量をポイント化した「ポコポイント事業」を展開し、町内に植樹活動を行ってまいりました。現在はエコポイントによる環境寄附を活用し、植樹活動を行っております。</p> <p>(使途)エコポイントによる寄附金はツツジやサツキ等の苗代、植樹費用、植栽地の管理、環境向上の意識を高めるための周知活動に使用いたします。今年度は草刈等植栽地の管理を行いましたが、都合により植樹活動を実施致しませんでした。残金103,393円は次年度の植樹活動に充てさせていただきます。</p> <p>(効果)植樹したつつじやさつきは多くの方々に親しまれ、環境向上の意識を高めるきっかけとなっています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥11,701	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、福島県矢祭町を中心に地元産の食材を利用する地産地消を採り入れることで、食品輸送に係る燃料費(フードマイレージ)の概念を浸透させCO2削減、温暖化防止につとめてまいりました。さらにCO2削減量をポイント化した「ポコポイント事業」を展開し、町内に植樹活動を行ってまいりました。現在はエコポイントによる環境寄附を活用し、植樹活動を行っております。</p> <p>(使途)エコポイントによる寄附金はツツジやサツキ等の苗代、植樹費用、植栽地の管理、環境向上の意識を高めるための周知活動に使用いたします。今年度は草刈等植栽地の管理を行いましたが、都合により植樹活動を実施致しませんでした。残金115,094円は次年度の植樹活動に充てさせていただきます。</p> <p>(効果)植樹したつつじやさつきは多くの方々に親しまれ、環境向上の意識を高めるきっかけとなっています。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K183	団体名	特定非営利活動法人地球温暖化防止ぐんま県民会議
連絡先 (電話／メール)	027-237-1103	活動ホームページ (URL)	http://www.gccca.jp/eco-gunma/images/ecopoint_report.pdf
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	地球温暖化防止普及啓発事業		
寄附額合計	¥467,354		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,677	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、地球温暖化防止の普及啓発の県内の拠点として活動しており、その中で人類にとってこれほど重要で緊急な課題であるにも関わらず、これから多を学び、今後の地球環境を守っていく子供に対しての、地球温暖化防止についての学習資料が少なく、特に、幼児に対してのものは、ほとんどない事に危惧しておりました。</p> <p>(用途)そこで、皆様よりご寄附いただきました、31,677円は「CO2CO2くまさんのストップ！おんだんか！だいさくせん！おうちでチャレンジ！」の絵本作成の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)資料として配布したところ、子供だけでなく、大人からもわかりやすいと評判をいただきました。また、県内で読み聞かせを行っている団体や児童クラブなどで積極的に利用していただいています。ご寄附をいただきました皆様ご興味がありましたら、当法人にご連絡下さい。お送りいたします。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,366	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>絵本作成をつづけるためには活動する場所、活動ツールが重要であることから、家電エコポイントの寄附は、絵本作成を続けるための活動ツールを更新しました。いただいた718,794円で、パソコンを1台ずつ(ソフト込み15万円)2期に分けて2台購入、プリンター(設置費込み10万円)と、毎月2回PCインストラクター(月2万5千円)に来てもらう費用、出前講座活動のためにスクリーンとプロジェクターを購入(計15万円)に寄附金を使用しました。</p> <p>住宅エコポイント寄附は、活動する場所の修繕に使用しました。いただいた92,366円は当団体の入居する施設が老朽化していることから、冬の暖房対策として間仕切り(ビニールの間仕切りカーテン)をつける費用の一部にあてました。</p> <p>これにより、パソコンとソフトが新しくなり、インストラクターに定期的に来てもらったおかげで、行動できる会員が増え活動の幅が広がった。また出前講座に出かける際にも、自前イベントをする際にも、プロジェクターとスクリーンは大変役に立っている。パソコンのインストラクターとも良い交流ができ、他団体とのつながりを得るきっかけにもなった。間仕切りをつけたことにより、うたっている節電対策(エアコン消費を抑える)ができた。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥63,750	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>いただいたエコポイント寄附金63,750円で、絵本作成のための材料を購入し、また普及啓発・広報の為送付する送料に使わせていただきました。具体的には、希望のあった団体等への絵本の送料および、平成25年度の委嘱式であらたに温暖化防止活動推進員となられた205名に対し普及啓発・広報ツールとして使用するために絵本を送付しました。</p> <p>作成した絵本は、県内各地のイベント等で、子供対象のお絵かきの題材にもなり、CO2CO2(コソコソ)くまさんは温暖化防止のキャラクターとして定着してきました。自分で作るお絵かきエコバック作りではコソコソくまさんをモデルに描く子供も多く、絵本から広がる意識啓発が出来ているように思います。</p> <p>さらに絵本を普及させるために、幼稚園での出前講座でも使えるような最新資料を作成・配布するなどして、子供でもわかりやすい資料作成にも使わせていただきました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,208	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>いただいたエコポイント寄附金19,208円で、絵本作成のための材料を購入し、また普及啓発・広報の為送付する送料に使わせていただきました。</p> <p>希望のあった団体等へ絵本を送付しました。作成した絵本は、県内各地のイベント等で、子供対象のお絵かきの題材にもなり、CO2CO2(コソコソ)くまさんは温暖化防止のキャラクターとして定着してきました。自分で作るお絵かきエコバック作りではコソコソくまさんをモデルに描く子供も多く、絵本から広がる意識啓発が出来ているように思います。</p> <p>さらに絵本を普及させるために、幼稚園での出前講座でも使えるような最新資料を作成・配布するなどして、子供でもわかりやすい資料作成にも使わせていただきました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥260,353	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では、地球温暖化防止普及啓発資料としての絵本を子供向けに作成しています。地球温暖化について家族で絵本を通じ、地球はどうなっているのか？何をしたらいいのか？を考えるきっかけの絵本を作成したいと思っています。</p> <p>いただいたエコポイント寄附金260,353円で、新しい絵本を作成するためのデザイン・内容等の検討をする資料購入および作業費用にあてました。今まで使用していた絵本の内容を見直し新たに作成をするにあたり、調査や勉強の為の費用と資料を購入しました。</p> <p>作成者もスキルアップしました。新しい絵本については現在作成中です。現在の絵本よりもっと具体的な説明や何をしたらいいのか分かりやすい表現となる予定です。これまで作成した絵本より更に伝わりやすくなる事が期待できます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K184	団体名	特定非営利活動法人川口市環境会議
連絡先 (電話／メール)	048-222-9050	活動ホームページ (URL)	http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・プロジェクト名	川口市内における地球温暖化防止対策事業		
寄附額合計	¥254,487		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥69,677	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ご寄附いただいた5万円と当法人の資金を合わせ、市民・事業者・行政・学校の取組みを発表し、情報共有する場「環境フォーラムinかわぐち」を、川口市役所との共催で11月19日に開催することができました。ご寄附いただいたお金は、このイベントの経費(参加者募集チラシ印刷費、交通費等)に全額使わせていただきました。</p> <p>「環境フォーラムinかわぐち」では、6月に実施した「エコライフDAY」及びその実践版として8月に実施した「チャレンジ・エコライフ」の結果をご報告し、自然エネルギー・エコ住宅に関する情報提供や、これらを自宅に取り入れている市内ご家庭の様子を参加者の皆さんにお伝えしました。約200名集まった参加者からは、「身近な取組みを知る事ができ、大変参考になった」との感想がよせられました。今後も引き続き、生活の中で身近にできるエコ情報を、市民の皆さんにお伝えする機会を作っていきたいと考えています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥103,561	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回ご寄附いただいた全額と、前回ご寄附いただき残っていた金額(19,677円)、それに当法人の資金、川口市役所からの助成金を合わせ、自然エネルギー普及促進を目的とした場「かわぐち自然エネルギー学校」を、10月から1月にかけて全3回開催することができました。ご寄附いただいたお金は、この事業の経費(交通費、人件費等)に使わせていただきました。</p> <p>「かわぐち自然エネルギー学校」では、約90名の参加者が、自然エネルギーを活用したスマートシティについての知識を学び、先進的な取組みを実践している「柏の葉キャンパス」を現地視察し、ワークショップを通して自分たちの街の将来を描き、最後に再生可能エネルギー普及の世界的な動きを紹介した映画「第4の革命」を見、これから何をしていこうか各自が考える場となりました。今後も引き続き、自然エネルギーの普及につながる機会を作っていきたいと考えています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥55,688	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回ご寄附いただいた全額と、当法人の資金を合わせ、川口市民みんなで地球温暖化防止に取り組む事業「エコライフDAY」を、川口市役所・川口市教育委員会と協働で6月に実施することができました。ご寄附いただいたお金は、この事業の経費(印刷費、通信費等)に使わせていただきました。</p> <p>「エコライフDAY」では、102,858名の参加者(市民の17.7%に相当)が、6月9日(日曜日)、エコライフを意識した一日を過ごしました。その結果、二酸化炭素を約101トン減らすことができました。今後も引き続き、エコライフの輪を広げる取り組みを実施していきたいと考えています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,708	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回ご寄附いただいた全額と、当法人の資金を合わせ、川口市民みんなで地球温暖化防止に取り組む事業「エコライフDAY」を川口市役所・川口市教育委員会と協働で6月に実施し、さらに自然エネルギーについて学ぶ「かわぐち自然エネルギー学校」(全3回)を秋に開催することができました。ご寄附いただいたお金は、これら事業の経費(印刷費、通信費等)に使わせていただきました。</p> <p>「エコライフDAY」では、102,284名の参加者(市民の17.4%に相当)が、6月8日(日曜日)、エコライフを意識した一日を過ごしました。その結果、二酸化炭素を約102トン減らすことができました。「かわぐち自然エネルギー学校」では、バイオマスに関する講演やエコクッキング・生ごみたい肥化実習を行いました。今後も引き続き、エコライフの輪を広げる取り組みを実施していきたいと考えています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,853	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>今回ご寄附いただいた全額と、当法人の資金を合わせ、川口市民みんなで地球温暖化防止に取り組む事業「エコライフDAY」を川口市役所・川口市教育委員会と協働で2015年6月14日(日曜日)に実施し、ご寄附いただいたお金はこの事業の経費(印刷費、通信費等)に使わせていただきました。</p> <p>エコライフDAY当日は、100,561名の市民がエコライフを意識した一日を過ごし(市民の17%、6人にひとりが参加)、二酸化炭素を約107トン減らすことができました。今後も引き続き、エコライフの輪を広げる取り組みを実施していきたいと考えています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K185	団体名	特定非営利活動法人「環境・持続社会」研究センター(JACSES)
連絡先 (電話／メール)	03-3556-7323	活動ホームページ (URL)	http://www.jacsces.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	生活者のCO2削減の包括的支援		
寄附額合計	¥986,880		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,877	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、生活者に向けて実施可能なCO2削減取組に関する情報発信と、それらの取組みを支援する仕組み構築に向けた提言活動を実施しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた29,877円と、当法人の資金を合わせ、生活者に実施可能なCO2削減取組みの選択肢や製品情報・支援制度に関する最新情報を提供するウェブページを作成しました。また、CO2削減を実行する生活者が経済的に得になる仕組み強化のための国内政策(税制のグリーン化)や国際政策の提言活動及びそれに関連するセミナー・シンポジウム開催(通訳料の一部等)にもご寄附頂いた資金を活用させて頂きました。</p> <p>(効果)今回のウェブページ作成により、CO2削減に努力したい生活者向けの情報を発信する土台を構築できました。また、CO2削減に向けた国内外への政策提言活動により、CO2削減への関心の低い生活者や海外諸国のCO2削減取組み推進にも貢献することが出来ました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,749	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、生活者に向けて実施可能なCO2削減取組に関する情報発信と、それらの取組みを支援する仕組み構築に向けた提言活動を実施しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた90,749円と、当法人の資金を合わせ、生活者に実施可能なCO2削減取組みの選択肢や製品情報・支援制度に関する最新情報を提供するウェブページを作成・改訂しました。また、CO2削減を実行する生活者が経済的に得になる仕組み強化のための国内政策(税制のグリーン化)や国際政策(2013年以降の気候変動国際枠組構築)の提言活動(国際会議参加費の一部等)及びそれに関連するシンポジウム開催にもご寄附頂いた資金を活用させて頂きました。</p> <p>(効果)ウェブページ作成により、CO2削減に努力したい生活者向けの情報を発信できるとともに、CO2削減に向けた国内外への政策提言活動により、CO2削減への関心の低い生活者や海外諸国のCO2削減取組み推進にも貢献することが出来ました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥52,747	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、生活者に向けて実施可能なCO2削減取組に関する情報発信と、それらの取組みを支援する仕組み構築に向けた提言活動を実施しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた52,747円と、当法人の資金を合わせ、生活者に実施可能なCO2削減取組みの選択肢や製品情報・支援制度に関する最新情報を提供するウェブページを作成しました。また、CO2削減を実行する生活者が経済的に得になる仕組み強化のための国内政策(税制のグリーン化)や国際政策の提言活動及びそれに関連するセミナー・シンポジウム開催にもご寄附頂いた資金を活用させて頂きました。寄附は全額使用致しました。</p> <p>(効果)今回のウェブページ作成により、CO2削減に努力したい生活者向けの情報を発信する土台を構築できました。また、CO2削減に向けた国内外への政策提言活動により、CO2削減への関心の低い生活者や海外諸国のCO2削減取組み推進にも貢献することが出来ました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥733,918	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、生活者に向けて実施可能なCO2削減取組みを支援する仕組み構築に向けた提言活動と普及啓発活動を実施しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた733,918円と、当法人の資金を合わせ、CO2削減を実行する生活者が経済的に得になる仕組み強化のための国内政策や国際政策の提言活動(2020年以降の国際枠組を決めるCOP21に向けた提言活動や日本の約束草案・二国間クレジット制度(JCM)/J-クレジット制度/カーボンオフセット制度/どんぐりポイント制度のあり方に関する提言活動等)及びそれに関連するセミナー・シンポジウム開催に、ご寄附頂いた資金を活用させて頂きました。</p> <p>(効果)今回のCO2削減に向けた国内外への政策提言活動により、CO2削減に努力したい生活者の取組み支援を行うとともに、CO2削減への関心の低い生活者や海外諸国のCO2削減取組み推進にも貢献することが出来ました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥79,589	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、生活者に向けて実施可能なCO2削減取組みを支援する仕組み構築に向けた提言活動と普及啓発活動を実施しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた79,589円と、当法人の資金を合わせ、CO2削減を実行する生活者が経済的に得になる仕組み強化のための国内政策や国際政策の提言活動(2020年以降の国際枠組を決めるCOP21に向けた提言活動や日本の約束草案・二国間クレジット制度(JCM)/気候技術センターネットワーク(CTCN)/グリーン気候基金(GCF)に関する提言活動等)及びそれに関連するセミナー・シンポジウム開催に、ご寄附頂いた資金を活用させて頂きました。</p> <p>(効果)今回のCO2削減に向けた国内外への政策提言活動により、CO2削減に努力したい生活者・企業の取組み支援を行うとともに、CO2削減への関心の低い生活者・企業や海外諸国のCO2削減取組み推進にも貢献することが出来ました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K186	団体名	特定非営利活動法人エコ・リーグ
連絡先 (電話／メール)	03-5225-7206	活動ホームページ (URL)	http://el.eco-2000.net/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	Campus Climate Challenge		
寄附額合計	¥206,297		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,942	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、温暖化への取り組みを中心とし、大学の環境対策を調査し、公表することにより、大学の環境対策のより一層の推進を図っています。</p> <p>(使途) このたび、住宅エコポイント事業から30,942円をご寄附頂き、調査票の送付や「エコ大学白書」の印刷費用として使用させていただきました。</p> <p>(効果) 寄附を得たことにより、回答大学の数も平成22年に151校、平成23年に166校と着実に伸びています。また、ランキング結果は、新聞やWebニュース、テレビ番組など各年約20のメディア媒体に掲載されました。さらに取材・調査を通して得た情報、分析結果などの知見を、大学の環境対策担当者等へ広く普及させるために「全国エコ大学白書2010・2011」を作成し、大学関係者に配布することができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,549	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 平成23年及び平成24年に全国約750校の大学へ調査票を送付し、第3回・第4回エコ大学ランキングを作成・発表いたしました。また、調査からわかった先進的な取り組みを行っている大学14校に対して取材を行い、「全国エコ大学白書2011・2012」に記事を執筆・発表致しました。</p> <p>(使途) 今回ご寄附いただいた91,549円を、調査票の作成及び集計、ランキング結果の公表や「全国エコ大学白書」執筆関連取材に関わる旅費として充てさせて頂きました。他に調達した財源と合わせ、概要に述べる活動を実施いたしました。</p> <p>(効果) 先進的な大学14校を訪問し、取材を行うことで、調査票による調査だけでは分からなかった具体的な詳細な内容の調査が可能となりました。成果は「全国エコ大学白書」にまとめ、多くの大学関係者や環境分野関係者に参考にして頂いています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥56,745	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 平成23・24・25年に全国約750校の大学へ調査票を送付し、第3・4・5回エコ大学ランキングを作成・発表いたしました。また、先進的な取り組みを取材し、「全国エコ大学白書2011・2012」「Campus Climate Challenge 2013報告書」に記事を執筆・掲載致しました。</p> <p>(使途) 今回ご寄附いただいた56,745円を、調査票の作成及び集計、ランキング結果の公表や「全国エコ大学白書」執筆関連取材に関わる旅費、エコ大学ランキングの公表や広報物・展示物の作成、その他事務管理費として充てさせて頂きました。他に当団体で独自に調達した財源と合わせ、概要に述べる活動を実施いたしました。</p> <p>(効果) 平成22年の調査回答数は151校であったのに対し、平成23年は166校、24年は182校、25年は200校から回答を得ることができました。ご寄附のおかげで調査対象が拡大し、プロジェクトの発展に大きく寄与しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,208	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 平成25年及び平成26年に全国約750校の大学へ調査票を送付し、第5回エコ大学ランキングを作成・発表いたしました。また、調査からわかった先進的な取り組みを行っている大学6校に対して表彰と取材を行い、海外の先進事例を調査し、「Campus Climate Challenge 報告書2013」及び「全国エコ大学白書2013」に記事を執筆・発表致しました。</p> <p>(使途) 今回ご寄附いただいた20,208円を、調査票の作成及び集計、ランキング結果の公表や「全国エコ大学白書」執筆関連取材に関わる旅費として充てさせて頂きました。他に調達した財源と合わせ、概要に述べる活動を実施いたしました。</p> <p>(効果) 先進的な大学に対する調査・取材及び分析を行うことで、他大学が参考になる事例を抽出することができました。成果は「全国エコ大学白書」にまとめ、多くの大学関係者や環境分野関係者に参考にして頂いています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,853	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 全国約750の大学を対象とし、「大学における環境対策等に関する全国調査」を行いました。調査に基いたエコ大学ランキング作成、事例をまとめたエコ大学白書作成、省エネワークブックを作成し大学で使用しています。</p> <p>(使途) 調査実施、第6回エコ大学ランキング表彰式開催、省エネワークブック作成に使用いたしました。</p> <p>(効果) 表彰式に各校代表者をお呼びし、情報交換・交流を図ると同時に、調査では知り得なかった情報を取材しデータベースの充実を図りました。事例・ランキング調査の結果をまとめた「全国エコ大学白書2014」を作成し、大学や学生環境団体へ配布いたしました。また、直接的に大学での環境活動をサポートするための省エネワークブックを各大学の事例に基づき作成し、立命館大学・千葉商科大学などで活用し省エネ活動を推進しています。千葉商科大学では自然エネルギー100%を目指すことを宣言しています。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K187	団体名	特定非営利活動法人 アース・エコ
連絡先 (電話／メール)	090-3247-6647	活動ホームページ (URL)	http://www.npo-earth-eco.com
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	子どもたちと地球の未来のための環境学習事業		
寄附額合計	¥289,332		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,277	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は毎年、神奈川県内で環境教育・環境学習に関する事業を行っており、小学校に出向いて環境出前授業を実施したり、地域の公共施設の協力を得て小学生・市民を対象に地域環境学習の講座を開催したり、イベントに参加するなどして、子どもたちと市民に地球温暖化防止と省エネ・節電への取り組みを促す活動を行っています。</p> <p>(使途)平成22年5月から平成23年4月までにご寄附いただいた34,277円は、小学校に出向いて実施する環境出前授業で使用する実験器具の購入費用の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)購入した実験器具は、平成23年7月から平成24年2月に神奈川県内の小学校11校で延べ42回実施した環境出前講座で使用し、小学生延べ約1,500名に実験を体験してもらいました。来年度も今回同様の活動を予定しており、今回頂いたご寄附の一部を活用させていただきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,049	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は毎年、神奈川県内で環境教育・環境学習に関する事業を行っており、小学校に出向いて環境出前授業を実施したり、地域の公共施設の協力を得て小学生・市民を対象に地域環境学習の講座を開催したり、イベントに参加するなどして、子どもたちと市民に地球温暖化防止と省エネ・節電への取り組みを促す活動を行っています。</p> <p>(使途)平成23年5月から平成24年4月までにご寄附いただいた95,049円は、平成24年2月から11月に横浜市緑区および相模原市中央区の2箇所の施設で「親子工作教室」を2回開催するためのスタッフ交通費、機材輸送費、工作材料費、印刷費の一部として全額を使わせていただきました。</p> <p>(効果)2回の教室に、小学生を中心とする子どもとその保護者、合わせて約60名に参加していただき、工作を体験するとともに、地球温暖化問題と省エネ・節電の実践に関心を寄せていただきました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥116,445	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は毎年、神奈川県内で環境教育・環境学習に関する事業を行っており、小学校に出向いて環境出前授業を実施したり、地域の公共施設の協力を得て小学生・市民を対象に地域環境学習の講座を開催したり、イベントに参加するなどして、子どもたちと市民に地球温暖化防止と省エネ・節電への取り組みを促す活動を行っています。</p> <p>(使途)平成24年5月から平成25年4月までにご寄附いただいた116,445円は、平成25年6月に「さがみはら環境まつり」に出展、および7月に相模原市南区の施設で「親子工作教室」を開催するためのスタッフ交通費、機材輸送費、工作材料費の一部として全額を使わせていただきました。</p> <p>(効果)「さがみはら環境まつり」の出展ブースには親子70組にご来場、「親子工作教室」には親子20組にご参加いただき、体験コーナーや工作を通して地球温暖化問題と省エネの実践に関心を寄せていただきました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥22,708	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は毎年、神奈川県内で環境教育・環境学習に関する事業を行っており、小学校に出向いて環境出前授業を実施したり、地域の公共施設の協力を得て小学生・市民を対象に地域環境学習の講座を開催したり、イベントに参加するなどして、子どもたちと市民に地球温暖化防止と省エネ・節電への取り組みを促す活動を行っています。</p> <p>(使途)平成25年5月から平成26年4月までにご寄附いただいた22,708円は、省エネ実験に使用するデジタル温度計、スターリングエンジン実験装置、ドライヤー、ワークショップで使用するポストイット、マーカーペンの購入に全額を使わせていただきました。</p> <p>(効果)購入した機材は平成26年7月から平成27年1月の間に小学校11校で実施した環境出前授業の中で省エネ実験およびワークショップで使用し、延べ1,300名の小学校児童に地球温暖化や省エネについて学ぶ機会を提供することができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥20,853	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)アース・エコは毎年、神奈川県内で環境教育・環境学習に関する事業を行っており、小学校で環境出前授業を実施したり、地域の公共施設の協力を得て小学生・市民を対象に地域環境学習の講座を開催したり、イベントに参加して、子どもたちと市民に地球温暖化防止と省エネ・節電への取り組みを促す活動を行っています。</p> <p>(使途)平成26年5月から平成27年7月までにご寄附いただいた20,853円は、平成27年6月に「さがみはら環境まつり」に出展、および7月に相模原市南区で「親子工作教室」を開催するためのスタッフ交通費、機材輸送費、工作材料費の一部として全額を使わせていただきました。</p> <p>(効果)「さがみはら環境まつり」の出展ブースには子どもを中心に約100名の来場、「親子工作教室」には小学生28名とその保護者の参加があり、体験コーナーや工作を通して地球温暖化問題と省エネの実践に関心を寄せていただきました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K188	団体名	特定非営利活動法人CO2バンク推進機構
連絡先 (電話／メール)	026-285-5370	活動ホームページ (URL)	http://www.co2bank.org/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	信州発！「森とまちをつなぎCO2を削減！」プロジェクト		
寄附額合計	¥205,630		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,277	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)長野市内(篠ノ井地区)において市街地を眼下に望む茶臼山公園において、市民参加の植樹イベント『里山での森づくり』を1回実施した。</p> <p>(使途)ご寄附頂いた30,277円を使い、地滑り跡地である茶臼山公園に里山を創出することで地球温暖化防止に寄与する植樹イベントを開催(苗6本、堆肥、ショベル、軍手、バケツ、一輪車購入)。</p> <p>(効果)延べ80名を超える参加があり(家電エコポイント事業と共同開催)、植樹を通じて市民の都市緑化と地球温暖化防止についての関心を高めた。公園に来訪する年間30万人にも波及効果が期待できる。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,948	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)長野市内(篠ノ井地区)において市街地を眼下に望む茶臼山公園において、市民参加の植樹イベント『里山での森づくり』を2回実施した。</p> <p>第1回:平成24年6月10日(参加者117名、植樹木50本)※家電エコポイントと共同開催 第2回:平成24年11月23日(参加者41名、植樹木30本)</p> <p>(使途)ご寄附頂いた92,948円(全額)を使い、地滑り跡地である茶臼山公園に里山を創出することで地球温暖化防止に寄与する植樹イベントを開催。その苗(ヤマザクラなど里山に適した樹種80本)を購入した。</p> <p>(効果)延べ158名の参加があり、植樹を通じて市民の都市緑化と地球温暖化防止についての関心を高めた。公園に来訪する年間30万人にも波及効果が期待できる。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥57,345	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ペレットストーブを導入している学校(信州大学志賀自然教育園)に木質ペレット燃料128袋(57,600円分)を寄附した。 実施日:平成25年12月25日</p> <p>(使途)ご寄附頂いた57,345円(全額)を使い、長野県産の木質ペレット燃料を学校に寄附することで地球温暖化防止に寄与した。</p> <p>(効果)信州大学志賀自然教育園で学ぶ学生や、施設を訪れた一般利用者に対して、ペレットストーブを通じて地域循環型社会や地球温暖化防止についての関心を高めた。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,707	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ペレットストーブを導入している学校(信州大学志賀自然教育園)に木質ペレット燃料36袋(17,820円分)を寄附した。 実施日:平成26年3月25日</p> <p>(使途)ご寄附頂いた17,707円(全額)を使い、長野県産の木質ペレット燃料を学校に寄附することで地球温暖化防止に寄与した。</p> <p>(効果)信州大学志賀自然教育園で学ぶ学生や、施設を訪れた一般利用者に対して、ペレットストーブを通じて地域循環型社会や地球温暖化防止についての関心を高めた。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,353	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)大学生の森林づくり体験や環境学習のツールとして、信州大学教育学部へ木質ペレット燃料15袋(7,425円分)を寄附した。 実施日:平成27年12月18日</p> <p>(使途)ご寄附頂いた7,353円(全額)を使い、長野県産の木質ペレット燃料を学校に寄附することで地球温暖化防止に寄与した。</p> <p>(効果)信州大学教育学部で学ぶ学生に対して、ペレットストーブやペレットグリルヒーターを通じて地域循環型社会や地球温暖化防止についての関心を高めた。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K189	団体名	特定非営利活動法人五環生活
連絡先 (電話／メール)	0749-26-1463	活動ホームページ (URL)	http://gokan-seikatsu.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	人と地球にやさしい自転車タクシー(彦根リキシャ)の普及・運行事業		
寄附額合計	¥308,790		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥35,577	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2006年7月から彦根市で環境に優しい自転車タクシーを運行しており、観光客・地域の方にエコな交通の足として利用していただいております。また、彦根の町並みに合う和風のオリジナル自転車タクシー「リキシャ」を開発・製作しております。</p> <p>(使途)住宅・家電エコポイントでご寄附いただいた786,851円を利用し、下記のイベント3件を安価でお受けしました。また、イベントで使用する備品(テント等)を購入いたしました。 2011年10月鳥居本宿場祭り 2011年11月三雲城跡 戦国のろしと東海道ウォーク 2011年12月滋賀県・能登川えびす講</p> <p>(効果)リキシャを安価でイベントにて使っていただくことで、費用の面でイベントでの利用を断念されていたお客様にも利用して頂けました。今年度使い切らなかった寄附金は、次回リキシャ出張依頼があった際の補填金として使用します。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,408	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)エコでヘルシーな自転車生活を推進し、滋賀を自転車先進地域「輪の国」にするための活動を行っています。びわ湖一周や自転車観光の方、自転車生活やエコスタイルが好きな人が集まる場、情報の集積と提供ができる交流と情報発信の場として、彦根に「サイクルカフェ(エイドステーション)」を整備、自転車生活と滋賀のエコ観光をサポートします。</p> <p>(使途)住宅エコポイントでご寄附頂いた91,408円を利用し、琵琶湖一周のレンタサイクルを借りるお客様や自転車好きな方、また地域の方が集まるサイクルカフェ(エイドステーション)の拠点整備費、また主催する自転車イベントの運営費の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)来年度は整備したスペースで自転車に関するワークショップやイベントを企画し、自転車に興味を持っていただける機会と場所を作って行く予定です。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥57,245	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、環境に優しく五感を刺激する自転車を用いた生活提案を中心に自転車タクシーや、サイクルカフェ、リサイクルキャンドル、五感を再確認・再認識するイベントの実施などを展開しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた57,245円と、当団体の資金を合わせまして、2013年4月にサイクルカフェをオープンし、高性能コーヒーメーカー1台の購入費用やキッチン改装費用に充てることができました。また、滋賀県守山市のルシオール アート キッズフェスティバル2013へ出展し、自転車相談コーナーと、フランスと自転車にちなんだ洋菓子パリの作体験を行いました。自転車相談コーナーへは、約250名の方にお越しいただきました。</p> <p>(効果)購入したコーヒーメーカーで淹れるフェアトレードコーヒーは当店の人気ナンバーワンメニューとなっております。4月から半年間でホットコーヒー295杯、アイスコーヒー236杯のご利用をいただきました。ご寄附をいただいた皆さまのご来店もお待ちしております。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,707	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、滋賀県琵琶湖一円および彦根市において、自転車タクシーの運行やレンタサイクル貸出しなど、自転車を用いた生活提案を中心とした活動や、五感を刺激するイベントや地域情報を発信するサイクルカフェの運営など幅広い活動を展開しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた17,707円と、当団体の資金を合わせまして、サイクルカフェ整備(イベント用看板)費用に充てることができました。サイクルカフェでは、飲食のご提供とあわせて、クルマ生活では見落としがちな当該地域の魅力などを発信するイベントを開催しています。</p> <p>(効果)今年度は、地域関係者とともに特産物や手作りのマルシェを2回実施することができました。これからも、地域や自転車の情報発信の場として、環境配慮のライフスタイルに興味を持つ人たちの交流の場になるよう取り組んでいきます。ご寄附いただいた皆様も是非ご来店いただければ幸いです。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥106,853		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、滋賀県琵琶湖一円および彦根市において、自転車タクシーの運行やレンタサイクル貸出しなど、自転車を用いた生活提案を中心とした活動や、五感を刺激するイベントや地域情報を発信するサイクルカフェの運営など幅広い活動を展開しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた106,853円と他の補助金とを合わせて、彦根駅周辺の商店街の観光マップを作成しました。自転車や徒歩を想定し、お土産や食事が出来るところを中心とした地図は、ガイドブックに載ることの少ないお店や、商店街のメインロードにないお店などを紹介するなど住民目線で作成しました。</p> <p>(効果)完成したマップを配布し、自転車や徒歩での彦根を発信することができました。これからも、地域や自転車の情報発信の場として、環境配慮のライフスタイルに興味を持つ人たちの交流の場になるよう取り組んでいきます。ご寄附いただいた皆様も是非ご来店ください。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K190	団体名	一般社団法人あだーじよ
連絡先 (電話／メール)	06-6222-3261	活動ホームページ (URL)	http://www.adagio.ne.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	『カーボン・オフセット』を市民目線ととらえよう！		
寄附額合計	¥288,110		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,877	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、カーボン・オフセット手法による具体的な地球温暖化対策、低炭素社会づくりに向けた施策・実践事例、カーボン・オフセット制度を使ったCO2削減と吸収源である森づくり等の情報収集、実習調査を行っています。地球温暖化防止のための国民的運動「チャレンジ25」キャンペーンや「国際森林年2011」キャンペーンに参加し、大阪府域における具体的な地球温暖化防止対策を大阪から発信しています。</p> <p>(使途)環境的に経済的にも有効なカーボン・オフセットのしくみをいれた催事は、どうすれば普及し、継続的に開催可能となるのか、先進事例の調査(取材、視察交通費等)にご寄附の一部を充てさせて頂きました。</p> <p>(効果)成功事例だけでなく課題点も学ぶことができ、活かしていきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,748	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、カーボン・オフセット手法による具体的な地球温暖化対策、低炭素社会づくりに向けた施策・実践事例、カーボン・オフセット制度を使ったCO2削減と吸収源である森づくり等の情報収集、実習調査を行っています。地球温暖化防止のための国民的運動「チャレンジ25」キャンペーンや大阪府域における具体的な地球温暖化防止対策を大阪から発信しています。</p> <p>(使途)環境的に経済的にも有効なカーボン・オフセットのしくみや、地球温暖化対策には欠かせない、森の活性化・森林保全をキーワードに取り入れた都市地域と森林地域を結び、紡ぐ催事について模索し、企画立案のための視察や調査(取材、視察交通費、資料印刷費等)の一部に今回の寄附金全額(90,748円)を充てさせて頂きました。</p> <p>(効果)今年度は特に団体ホームページに加え、新たにブログやフェイスブック等を立ち上げ、活用し、随時情報を発信し、貴重な寄附金の使い途を公表しています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥52,745	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、カーボン・オフセット手法による具体的な地球温暖化対策、低炭素社会づくりに向けた施策・実践事例、カーボン・オフセット制度を使ったCO2削減と吸収源である森づくり等の情報収集、実習調査を行っています。地球温暖化防止のための国民的運動「みんなで節電アクション」キャンペーンや大阪府域における具体的な地球温暖化防止対策を大阪から発信しています。</p> <p>(使途)環境的に経済的にも有効なカーボン・オフセットのしくみや、地球温暖化対策には欠かせない、森の活性化・森林保全をキーワードに取り入れた都市地域と森林地域を結び、紡ぐ催事について模索し、企画立案のための視察や調査(取材、視察交通費、資料印刷費等)の一部に今回の寄附金全額(52,745円)を充てさせて頂きました。</p> <p>(効果)団体ホームページ、ブログやフェイスブック等により、随時、活発な情報発信を行うことができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,707	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、カーボン・オフセット手法による具体的な地球温暖化対策、低炭素社会づくりに向けた施策・実践事例、カーボン・オフセット制度を使ったCO2削減と吸収源である森づくり等の情報収集、実習調査を行っています。地球温暖化防止のための国民的運動「みんなで節電アクション」キャンペーンや大阪府域における具体的な地球温暖化防止対策を大阪から発信しています。</p> <p>(使途)『カーボン・オフセット』の普及啓発を目的とした活動に活用しました。まだ市民の生活レベルにとっては遠い存在の『カーボン・オフセット』をどう身近なものに捉え、地球温暖化防止を実現するために行動につなげていくかを模索し、企画立案のための視察(取材、視察交通費等)の一部に今回の寄附金全額(17,707円)を充てさせて頂きました。</p> <p>(効果)団体ホームページ、ブログやフェイスブック等により、随時、活発な情報発信を行うことができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥97,033	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、カーボン・オフセット手法による具体的な地球温暖化対策、低炭素社会づくりに向けた施策・実践事例、カーボン・オフセット制度を使ったCO2削減と吸収源である森づくり等の情報収集、実習調査を行っています。地球温暖化防止のための国民的運動「みんなで節電アクション」キャンペーンや大阪府域における具体的な地球温暖化防止対策を大阪から発信しています。</p> <p>(使途)まだ市民の生活レベルにとっては遠い存在の『カーボン・オフセット』をどう身近なものに捉え、地球温暖化防止を実現するために行動につなげていくかを模索し、日本の森(木の文化、木の恵み)を考える勉強会を行い、運営費(資料印刷代、講師往復交通費等)の一部に今回の寄附金全額(97,033円)を充てさせて頂きました。</p> <p>(効果)団体ホームページ、ブログやフェイスブック等により、随時、活発な情報発信を行うことができました。皆様もぜひご覧ください。(http://www.adagio.ne.jp/)</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K191	団体名	特定非営利活動法人 地球環境市民会議(CASA)
連絡先 (電話／メール)	06-6910-6301	活動ホームページ (URL)	http://www.bnet.jp/casa/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	地球温暖化に関するCD-ROM資料集の更新		
寄附額合計	¥514,338		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,077	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)完成間際の2011年3月11日に東日本大震災、福島原発事故が発生し、急遽原発事故を加筆したため完成が2011年5月となり、「地球温暖化資料集2011」として発行しました。前回数より99項目を追加して全263項目となり、また、原子力発電と地球温暖化懐疑論を特集として収録しました。</p> <p>(使途)CD-ROM資料集のデータ収集やCDプレス費、案内チラシの製作などに全額を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部に充てることにより、より内容の充実したものとなりました。</p> <p>(効果)大学や高校の先生、また企業の環境担当者からもプレゼンに使用しているなど好評をいただき、約500枚を普及しました。来年度は新たなデータ収集を行う予定です。サンプル画像を当会ホームページで公開しておりますので、ご寄附を頂いた皆様にも是非ご覧いただければ幸いです。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,746	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2011年5月に「地球温暖化資料集2011」を発行しました。2009年版より99項目を追加して全263項目となり、また、原子力発電と地球温暖化懐疑論を特集として収録しました。2012年夏より2013年版の発行準備をすすめており、2013年4月に発行予定です。</p> <p>(使途)2013年版のデータ収集等に全額を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部に充てることにより、より内容の充実したものとなりました。</p> <p>(効果)2011年版は大学や高校の先生、また企業の環境担当者からプレゼンに使用しているなど好評をいただき、約500枚を普及しました。2013年版はさらに活用いただけるように再生可能エネルギーの特集も行っています。2011年版のサンプル画像を当会ホームページで公開しておりますので、ご寄附を頂いた皆様にも是非ご覧いただければ幸いです。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥54,045	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化に関するCD-ROM資料集は、2009年版、2011年版と発行し、2013年4月に2013年版を発行しました。収録項目は当初の99項目から2013年版では327項目に増加しています。再生可能エネルギーや原子力発電の問題も特集しました。</p> <p>(使途)2013年版のデータ収集等に全額を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部に充てることにより、より内容の充実したものとなりました。</p> <p>(効果)大学や高校の先生、また企業の環境担当者、環境NGOなどからプレゼンに使用しているなど好評をいただき、約400枚を普及しました。2013年版のサンプル画像を当会ホームページで公開しておりますので、ご寄附を頂いた皆様にも是非ご覧いただければ幸いです。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥232,917	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化に関するCD-ROM資料集は、2009年版、2011年版と発行し、2013年4月に2013年版を発行しました。収録項目は当初の99項目から2013年版では327項目に増加しています。再生可能エネルギーや原子力発電の問題も特集しました。</p> <p>(使途)2013年版のデータ収集と2015年版のデータ収集、加工費等に全額を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部に充てることにより、より内容の充実したものとなりました。</p> <p>(効果)大学や高校の先生、また企業の環境担当者、環境NGOなどからプレゼンに使用しているなど好評をいただき、約400枚を普及しました。2013年版のサンプル画像を当会ホームページで公開しておりますので、ご寄附を頂いた皆様にも是非ご覧いただければ幸いです。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥106,553		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化資料集CD-ROM版は、2009年度、2011年度、2013年度と発行し、2015年度版を2015年9月に発行致しました。地球温暖化の幅広いテーマを352項目にして収録しております。今回は原発問題、再生可能エネルギーなどの情報も充実しております。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただきました¥106,553につきましては、チラシとCD-ROMを作成する印刷製本費として充当させていただきました。おかげさまで、チラシは分かり易く、カラフルな良いものを作成することが出来ました。</p> <p>(効果)2013年度版と同様、大学や高校、企業の環境担当の方などからお申込みいただき、授業やプレゼン等で使用していただいております。今年度は早くも発行2ヶ月で330件ものお申し込みを頂いております。また団体ホームページにも一部ご案内させていただいており、今後も幅広い方々にご覧いただけたらと考えております。 (http://www.bnet.jp/casa/)</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K192	団体名	特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21
連絡先 (電話／メール)	06-6844-8611	活動ホームページ (URL)	http://toyonaka-agenda21.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	豊中市内の地球温暖化対策の推進		
寄附額合計	¥233,927		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,877	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ●当団体は、とよなか市民環境展を毎年12月の金・土(2日間)に開催し、市民や小学生が地球温暖化をはじめとする環境問題を学ぶ場を作っています。 ●いただいたご寄附のうち、H22年9月分までの265円は環境展2010にて、H23年3月分までと交換商品提供事業者からの29,612円は環境展2011にて、それぞれ開催費用(会場費・設営代・小学生バス代等)の一部として利用させていただきました。 ●両年とも金曜にバスを手配して、小学生を授業の一環で来場させることができたため、子どもたちの環境問題の理解向上がはかれました。特に、環境展2010は、1,100人の小学生が来場し、参加者全体でも前年より約800人多い、約4,100人の参加となりました。また、環境展2011では、金曜に授業で来た小学生が土曜に家族で来場するなど、土曜の子どもの参加が前年より約150人多い、約350人となりました。 	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,746	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ●当団体は、とよなか市民環境展を毎年12月の金・土(2日間)に開催し、市民や小学生が地球温暖化をはじめとする環境問題を学ぶ場を作っています。 ●いただいたご寄附のうち、H24年3月分までの34,144円は環境展2011にて、交換商品提供事業者からの56,602円は環境展2012にて、それぞれ開催費用(会場費・設営代・小学生バス代等)の一部として利用させていただきました。 ●両年とも金曜にバスを手配して、小学生を授業の一環で来場させることができたため、子どもたちの環境問題の理解向上がはかれました。特に、環境展2011では、金曜に授業で来た小学生が土曜に家族で来場するなど、土曜の子どもの参加が前年より約150人多い、約350人となりました。また、環境展2012では、金曜に授業で来た小学生は前年より減ったものの、土曜の子どもの参加は前年より約70人多い、約420人となりました。 	
	平成25年度		
	寄附額	¥85,744	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ●とよなか市民環境展を毎年11月または12月の金・土(2日間)に開催し、市民や小学生が地球温暖化防止をはじめとした環境問題を学ぶ場を作っています。 ●いただいたご寄附のうち、H24年9月分までの40,306円は環境展2012にて、H24年10月以降分の6,903円と交換商品提供事業者からの38,535円は環境展2013にて、それぞれ開催費用(会場費・設営代・小学生バス代等)の一部として利用しました。 ●両年とも金曜に小学生がバスを使って授業の一環で来場できたため、環境展2012では9校681人、環境展2013では8校797人に対し、環境問題の理解向上をはかることができました。また、金曜に授業で来た小学生が土曜に家族で来場する傾向もあり、土曜の子どもの参加が、環境展2012では前年より70人多い420人に、環境展2013では同じく前年より107人多い527人となりました。 	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,707	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ●とよなか市民環境展を毎年11月の金・土(2日間)に開催し、市民や小学生が地球温暖化防止をはじめとした環境問題を学ぶ場を作っています。 ●いただいたご寄附のうち、H25年9月分までの3,339円は環境展2013にて、H25年10月以降分の1,163円と交換商品提供事業者からの14,205円は環境展2014にて、それぞれ開催費用(設営代・印刷費・小学生来場費用等)の一部として利用しました。 ●両年とも金曜に小学生が授業の一環で来場できたため、環境展2013では8校797人、環境展2014では7校658人に対し、環境問題の理解向上をはかることができました。また、金曜に授業で来た小学生が土曜に家族で来場する傾向もあり、環境展2013では土曜の子どもの参加が前年より107人多い527人になりました。環境展2014では全体の来場者数が前年より426人多い3,107人となりました。 	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,853	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<ul style="list-style-type: none"> ●とよなか市民環境展を毎年11月の金・土(2日間)に開催し、市民や小学生が地球温暖化防止をはじめとした環境問題を学ぶ場を作っています。 ●いただいたご寄附のうち、H26年9月分までの1,315円と交換商品提供事業者からの1,590円は環境展2014にて、H26年10月以降分の3,160円と交換商品提供事業者からの2,788円は環境展2015にて、開催費用(設営代・印刷費等)の一部として利用しました。 ●両年とも金曜に小学生が授業の一環で来場したため、環境展2014では7校658人、環境展2015では7校506人に対し、環境問題の理解向上をはかることができました。また、金曜に授業で来た小学生が土曜に家族で来場する傾向もあり、土曜の子どもの参加が環境展2014では810人、環境展2015では793人と、環境展2013の527人と比べても、かなり多い参加を得ることができました。 	

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K193	団体名	宇部市地球温暖化対策ネットワーク
連絡先 (電話/メール)	050-1298-4065	活動ホームページ (URL)	http://ubeondanka.net/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	小中学生を対象にした地球温暖化対策環境講座		
寄附額合計	¥237,931		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥34,282	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化対策として小中学生にできる省エネについて等をテーマに、環境教育出前教材や自転車発電機等の体験器具を用いる講座を開催し、子どもから家庭への省エネ意識の拡大を目指す。</p> <p>(使途)太陽光で動くおもちゃ(5種類各1個)、手廻し発電器2台、ミニソーラーカー工作教室の部品や材料を購入</p> <p>(効果) 環境講座:5回(7/23、8/1・19×各2のべ200名参加 工作教室:2回(10/31、11/7(エコフェアinUBE2010、第59回宇部まつり)のべ84名参加 【今後の予定】 随時、出前講座開催 エコフェアinUBE2011、宇部まつりに出展 他</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥94,545	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2006年から山口県宇部市内の小中学生を対象にエコバンク(環境省貸与品)等を用いて、地球温暖化対策・省エネの教育活動を行ってきたが、頂いた寄附金を用いて更に実感しやすく、また楽しめるイベント・講座を行うこととした。地球温暖化対策として小中学生にできる省エネについて等をテーマに、環境教育出前教材や自転車発電機等の体験器具を用いる講座を開催し、子どもから家庭への省エネ意識の拡大を目指す。</p> <p>(使途)環境講座及びセミナー・ミニソーラーカー工作教室・イベント等への出展 物品購入:材料・消耗品、自転車発電量見える化設備(自転車を漕ぐことで発電し、その発電量をパソコンに取り込み大型モニターに数値・グラフで示すことで発電量が見える。また、点灯した電球の数でも漕ぐ労力と発電量を実感・体感できる設備)購入</p> <p>(効果)環境講座・セミナー:7回(2011/7/28×2、8/21×2、10/29×2、2012/1/15)のべ195名 工作教室:3回(2011/10/29・30、11/6)のべ73名 その他参加イベントを加えた自転車発電体験者:のべ約500名 FMきらら放送:3回</p> <p>上記の物品購入や広報費、会場費等で、ご寄附頂いた全額を使用いたしました。 今後もイベント等で積極的に啓発活動等行っていく予定です。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥79,544	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2006年から山口県宇部市内の小中学生を対象にエコバンク(環境省貸与品)等を用いて、地球温暖化対策・省エネの教育活動を行ってきた。頂いた寄附金により更に実感しやすく、また楽しめるイベント・講座を行うことができた。地球温暖化対策として小中学生にできる省エネについて等をテーマに、環境教育出前教材や自転車発電機等の体験器具を用いる講座、ソーラーパネルを用いた工作教室を開催し、子どもから家庭への省エネ意識の拡大を目指す。</p> <p>(使途)環境講座・ミニソーラーカー工作教室・イベント等への出展とラジオ放送 ミニソーラーカー材料・環境教材の消耗品等:67,994円 放送費:11,550円</p> <p>(効果)環境講座:5回 参加者225名 工作教室:4回 参加者95名 自転車発電体験者:約600名 FMきらら放送:1回</p> <p>寄附頂いた全額を使用しました。今後もイベント等で積極的に啓発活動等行っていく予定です。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,706	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2006年から山口県宇部市内の小中学生を対象にエコバンク(環境省貸与品)等を用いて、地球温暖化対策・省エネの教育活動を行ってきました。頂いた寄附金により更に実感しやすく、また楽しめるイベント・講座を行うことができました。地球温暖化対策として小中学生にできる省エネについて等をテーマに、環境教育出前教材や自転車発電機等の体験器具を用いる講座、ソーラーパネルを用いた工作教室を開催し、子どもから家庭への省エネ意識の拡大を目指します。</p> <p>(使途)環境講座・ミニソーラーカー工作教室・イベント等への出展 ミニソーラーカー材料・環境教材の消耗品等:18,706円</p> <p>(効果)環境講座:1回 参加者16名 工作教室:2回 参加者49名 自転車発電体験者:約210名</p> <p>寄附頂いた全額を使用しました。今後もイベント等で積極的に啓発活動等行っていく予定です。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥10,854		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2006年から山口県宇部市内の小中学生を対象にエコバンク(環境省貸与品)等を用いて、地球温暖化対策・省エネの教育活動を行ってきました。頂いた寄附金により更に実感しやすく、また楽しめるイベント・講座を行うことができました。地球温暖化対策として小中学生にできる省エネについて等をテーマに、環境教育出前教材や自転車発電機等の体験器具を用いる講座、ソーラーパネルを用いた工作教室を開催し、子どもから家庭への省エネ意識の拡大を目指します。</p> <p>(使途)環境講座・イベントへの出展 ミニソーラーカー材料・環境教材の消耗品等:10,854円</p> <p>(効果)環境講座:H27.7.21 45名 工作教室:H27.10.25・11.1 計52名 自転車発電体験:H27.10.25・11.1 計約150名</p> <p>寄附頂いた全額を使用しました。今後もイベント等で積極的に啓発活動等行っていく予定です。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K194	団体名	特定非営利活動法人温暖化防止ネット
連絡先 (電話／メール)	0952-37-9192	活動ホームページ (URL)	http://ondanka-boushi.net
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	温暖化防止普及啓発事業		
寄附額合計	¥207,822		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,475	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)近年、温暖化に対する意識は向上しているものの、実際のCO2削減効果には結びついていないのが現状です。そこで当法人では、2年前から家庭のCO2排出状況に応じたきめ細やかなアドバイスを行い、実際の行動に移してもらうために「家庭エコ診断員の募集と養成、受診希望者の募集、家庭エコ診断の実施」を行っています。</p> <p>(使途)いただいたご寄附31,475円を使って、家庭エコ診断を受診された家庭へのアンケート配布および回収・集計を行いました。</p> <p>(効果)101件の家庭をエコ診断し、アンケートの結果「省エネに役立つか」「診断員の説明や提案はよく理解できたか」等の問いに9割以上の家庭から肯定的な回答をいただきました。また、提案後の取組状況における調査では、「実行CO2削減量」として-80.9t/年が得られました。今後はより充実した診断の実施に向けたアンケート結果の活用役に役立てまいります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥98,045	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では佐賀県内各地で環境イベントや環境出前講座を開催し、省エネ住宅の普及啓発活動を行っております。その際、啓発パネルを展示し、写真や図を示して効果を数値で表したり、断熱、蓄熱と室内の温熱環境の関わりについて実験を通して学ぶことができるように工夫しました。</p> <p>(使途)いただいたご寄附を省エネ住宅の必要性啓発用品の購入費(啓発用のパネル、建物の外皮と熱のふるまいを学ぶ箱模型実験キット)及び啓発活動の運営費の一部に充てさせていただきました。</p> <p>(効果)今年度24回(延べ日数30日)開催した環境イベント等において延べ約4,000人の方が来場されました。そのうち多くの方に住宅の構造による省エネの効果をお伝えし、快適に住まうためのご提案をすることができました。来年度もこうした活動を続けていく予定です。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥52,744	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)近年、温暖化に対する意識は向上しているものの、実際のCO2削減効果には結びついていないのが現状です。そこで当法人では、家庭のCO2排出状況を調査し、各家庭の実情に合わせた省エネ対策のご提案を行っております。</p> <p>(使途)いただいたご寄附全額を使って、エコチェックアンケートを作成・配布いたしました。そのうち約134世帯からアンケートを回収し、住まいの省エネに関する関心度、取り組み度合いの調査を行いました。また、得られた情報から、個別具体的な省エネ対策のご提案を行い、事後アンケートでは実践度合いを調査いたしました。その後、結果を集計し、効果的な取り組みを啓発するパネルを作成いたしました。</p> <p>(効果)個別提案を行った134世帯が、その後実際に取り組んだもしくは今後取り組む予定のある内容を集計した結果、134世帯合計のみなし削減量は、12,180kg-co2(年間)という効果が得られました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,704	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)近年、温暖化に対する意識は向上しているものの、実際のCO2削減効果には結びついていないのが現状です。そこで当法人では、家庭のCO2排出状況を調査し、各家庭の実情に合わせた省エネ対策のご提案を行っております。</p> <p>(使途)いただいたご寄附全額を使って、エコチェックアンケートの作成・配布及び省エネ診断アドバイスをを行いました。約20世帯からアンケートを回収し、住まいの省エネに関する関心度、取り組み度合いを調査を行いました。また、得られた情報から、個別具体的な省エネ対策のご提案を行いました。</p> <p>(効果)提案した個別具体的な省エネ対策が各家庭での実践につながり、二酸化炭素排出量を削減できました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,854	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)近年、温暖化に対する意識は向上しているものの、実際のCO2削減効果には結びついていないのが現状です。そこで当法人では、家庭のCO2排出状況を調査し、各家庭の実情に合わせた省エネ対策のご提案を行っております。</p> <p>(使途)いただいたご寄附全額を使って、エコチェックアンケートの作成・配布及び省エネ診断アドバイスをを行いました。約10世帯からアンケートを回収し、住まいの省エネに関する関心度、取り組み度合いを調査を行いました。また、得られた情報から、個別具体的な省エネ対策のご提案を行いました。</p> <p>(効果)提案した個別具体的な省エネ対策が各家庭での実践につながり、二酸化炭素排出量を削減できました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K195	団体名	特定非営利活動法人環境ネットワークくまもと
連絡先 (電話／メール)	096-362-3776	活動ホームページ (URL)	http://www.kankuma.jp/
対象分野	地球温暖化防止		
事業・ プロジェクト名	かんくまおひさまプロジェクト		
寄附額合計	¥220,520		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥46,674	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化を防止し低炭素社会づくりを進めるには、地域における自然エネルギーづくりを早急に広める必要があります。当法人は2004年度より、持続可能な社会づくりの一環として、熊本県内の公共性のある施設の屋根に市民共同発電所として太陽光発電施設の設置推進に取り組んでいます。</p> <p>(使途)この度、ご寄附いただいた46,674円は、熊本県内の私立幼稚園の太陽光発電設備設置工事費の一部として充てさせていただきました。</p> <p>(効果)太陽光発電施設(10kW)の設置により、年間発電量は約12,000kWh/年、年間CO2削減量は約7,900kg-CO2/年になる予定であり、地球温暖化防止への取り組みを一步前進することができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥93,045	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)地球温暖化を防止し、低炭素社会づくりを進めるには、地域における自然エネルギーづくりを早急に広める必要があります。当法人は2004年より、持続可能な社会づくりの一環として、熊本県内の公共性のある施設の屋根に市民共同発電所として、太陽光発電施設の設置推進に取り組んでいます。</p> <p>(使途)この度、ご寄附いただきました93,045円は、熊本県内の私立幼稚園の太陽光発電設置費用と学習会開催費(学習会で使用するパネルや資料作成代)に全額使用しました。</p> <p>(効果)太陽光発電施設(10kw)の設置により、年間発電量は約12,000kwh/年、年間CO2削減量は約7,900kg-CO2/年になる予定であり、地球温暖化防止への取り組みを一步前進することができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥54,244	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、自然エネルギーの普及促進に向けた市民共同太陽光発電事業を実施しています。現在(2014年3月末)までに第7号機まで設置することができました(第6号機は建設準備中)。また、環境教育にも力を入れており次世代を担うことも～若者への環境教育活動を実施しています。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた54,244円は、中学生を対象とした環境教育プログラムの教材費など(資料印刷費、ワークショップ備品費等)として使わせていただきました。</p> <p>(効果)生徒たちは、エネルギーについての基礎知識やエネルギーの変遷などについて学習するとともに、メガソーラー施設などの見学なども行いました。ワークショップでは、太陽光パネルから生産した電気の蓄電とパネル製作時のCO2発生について(ライフサイクルアセスメント)についての質問などができました。また、これから自分たちが出来るアクションプランについても話し合うことができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,203	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、自然エネルギーの普及促進に向けた市民共同太陽光発電事業を実施しています。現在までに第8号機まで設置することができました(第6号機は準備中)。また、環境教育にも力を入れており次世代を担う和解世代への環境教育活動を実施しています。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた19,203円は、くまもと環境フェア2014(熊本市主催:2014年5月17日～18日)において「かんくまおひさまプロジェクト」の紹介パネルの展示、再生可能エネルギーについて学べるエネルギークイズ、エコ宣言にかかる資料印刷費、展示品制作費に使わせていただきました。</p> <p>(効果)2日間でのブース来場者は約600名。多くの方々に「かんくまおひさまプロジェクト」の取り組みを知ってもらいきっかけとなりました。また、エネルギークイズとエコ宣言には親子での参加が多く、親子でエネルギーについて学んだり考えたりする機会となりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,354	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、自然エネルギーの普及促進に向けた市民共同太陽光発電事業を実施しています。現在までに第8号機まで設置することができ順調に稼働中です。また、環境教育にも力を入れており次世代を担うことも～若者への環境教育活動を実施しています。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた7,354円は、第8号機の広報資料として使わせていただきました。</p> <p>(効果)地域の皆様へ、その地域に降り注ぐ太陽光が持続可能な再生可能自然エネルギーであり、温暖化防止対策としての地域資源として活用されていること、発電した電気の売電益は地域活動にもつながっていくことなど、幅広い世代に向けてお知らせすることができました。</p>		